

## 第2部

### 調査の結果



## 第2部 調査の結果

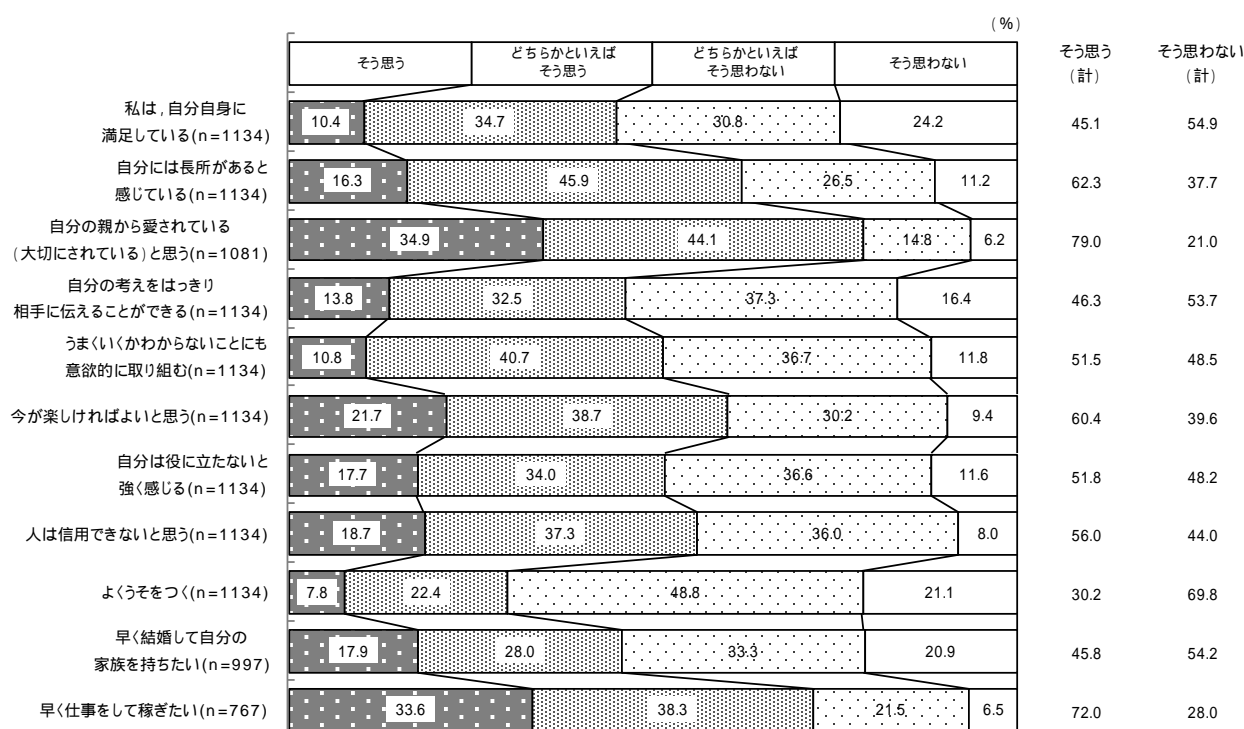
### 第1章 人生観関係

#### 1 自己認識

##### (1) 自分自身のイメージ

Q1 次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。以下のそれぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

自分自身のイメージを日本の若者に聞いたところ、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と答えた割合は、「自分の親から愛されている(大切にされている)と思う」(79.0%)が最も高い。次いで、「早く仕事をして稼ぎたい」(72.0%)、「自分には長所があると感じている」(62.3%)となっている。



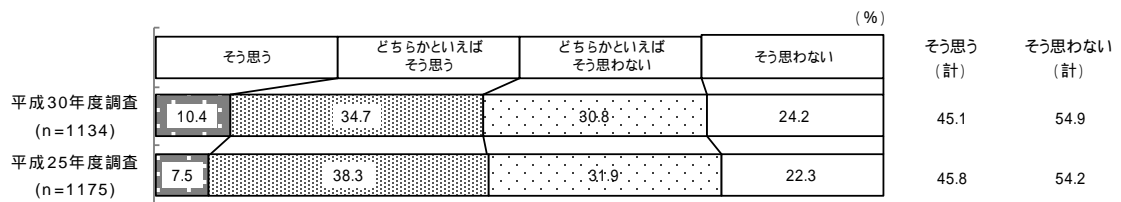
「自分の親から愛されている(大切にされている)と思う」は、父親又は母親が健在の人が対象

「早く結婚して自分の家族を持ちたい」は、未婚者が対象

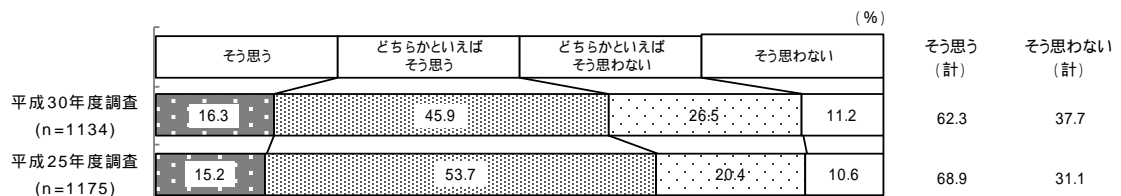
「早く仕事をして稼ぎたい」は、「学校には通わず、現在フルタイムやパートアルバイトの仕事をしている人」以外と「学校に通いながらフルタイムで働いている人」以外が対象

日本について平成25年度調査と比較すると、「人は信用できないと思う」では『そう思う』と答えた割合は7.1ポイント高くなっている。また、「自分には長所があると感じている」では『そう思う』と答えた割合は6.6ポイント低くなっている。

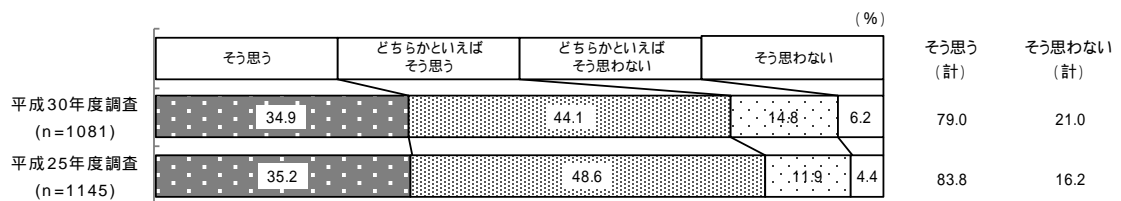
Q1 (a) 私は、自分自身に満足している



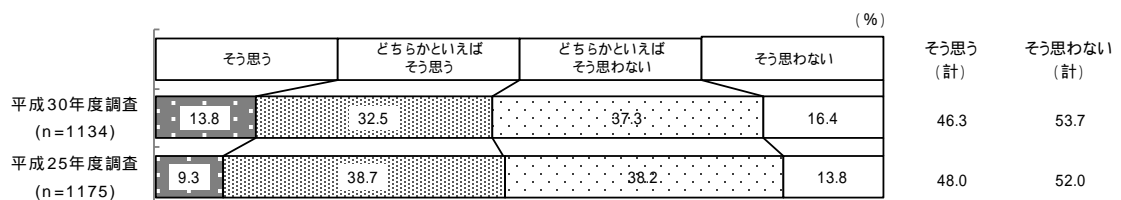
Q1 (b) 自分には長所があると感じている



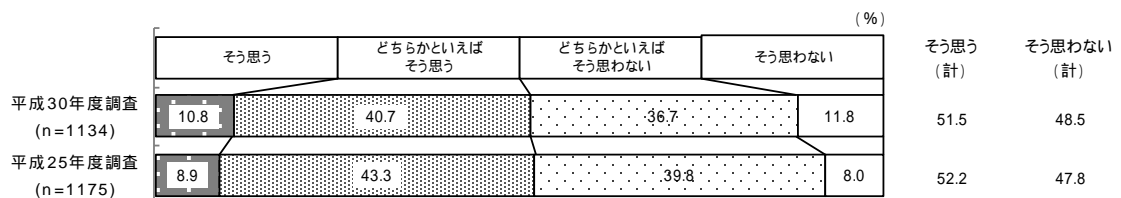
Q1 (c) 自分の親から愛されている(大切にされている)と思う



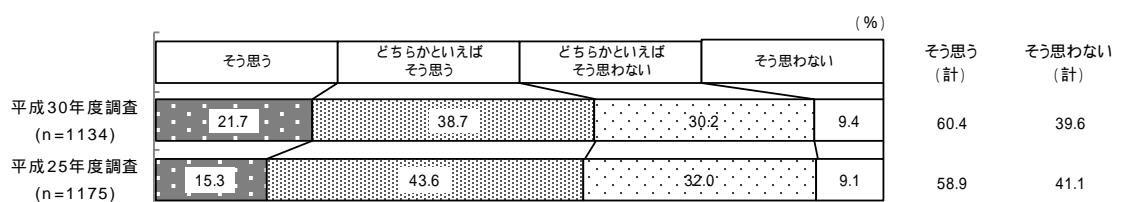
Q1 (d) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



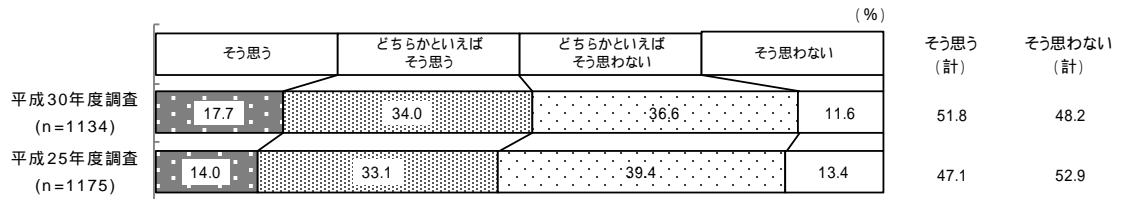
Q1 (e) うまくいかなかったことにも意欲的に取り組む



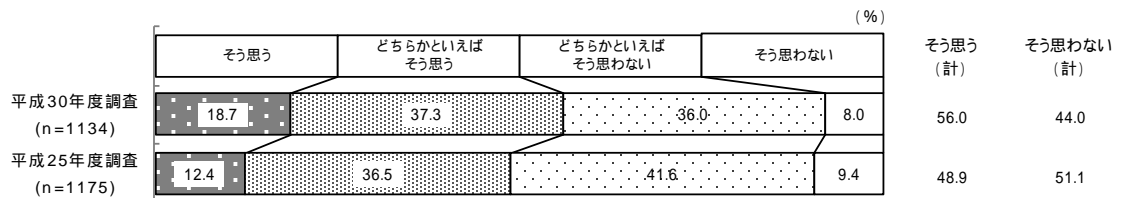
Q1 (f) 今が楽しければよいと思う



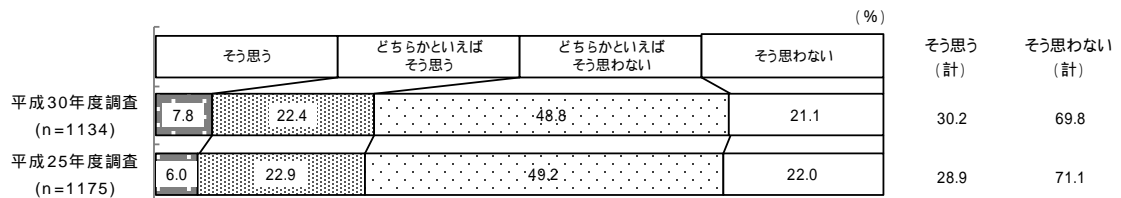
Q1 (g) 自分は役に立たないと強く感じる



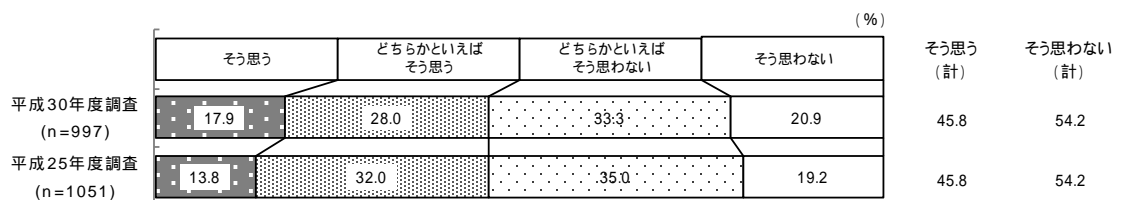
Q1 (h) 人は信用できないと思う



Q1 (i) よくうそをつく



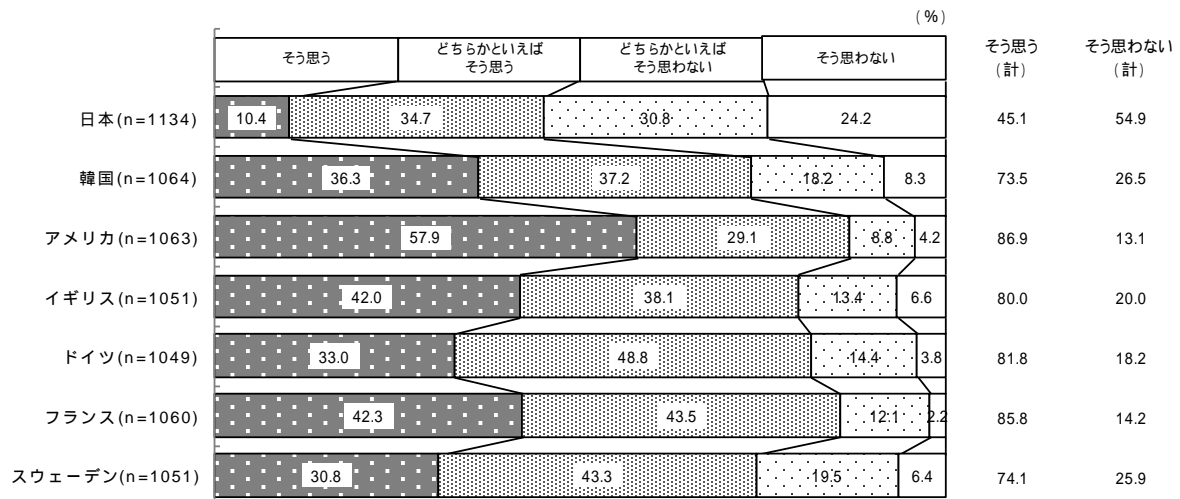
Q1 (j) 早く結婚して自分の家庭を持ちたい



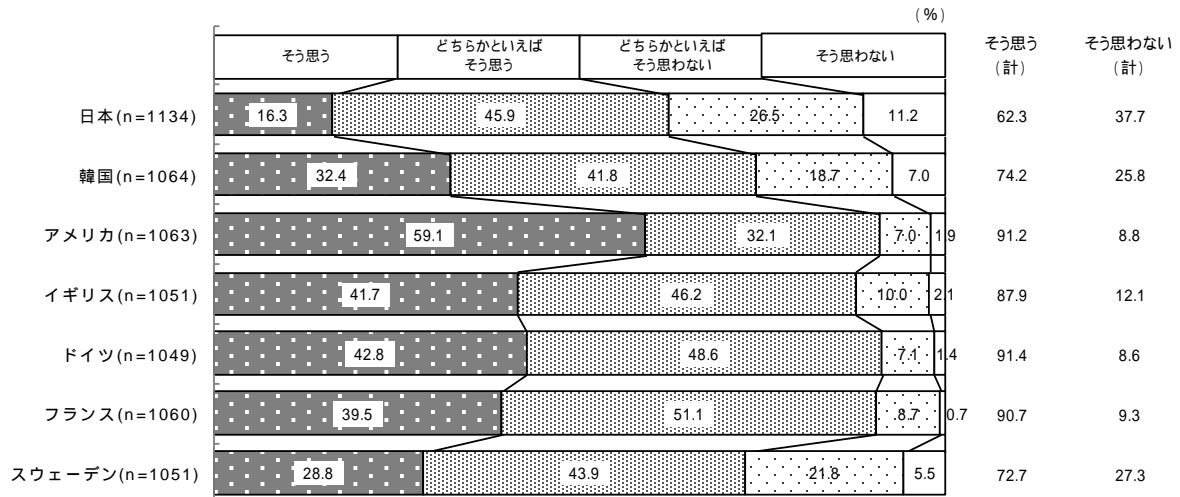
「Q1 (k) 早く仕事をして稼ぎたい」は新規項目のため、平成25年度調査との比較はない

【国別】

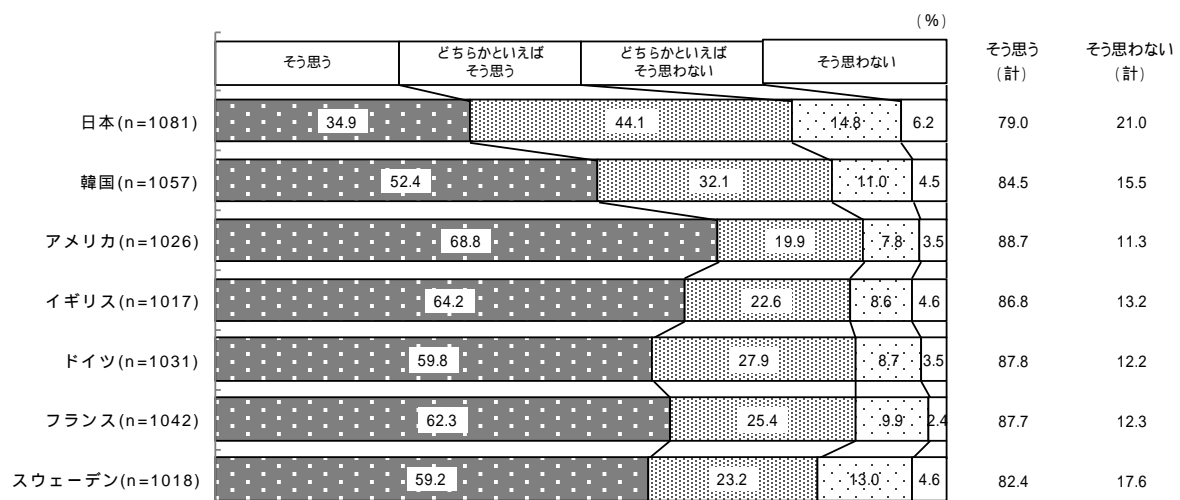
Q1 (a) 私は、自分自身に満足している



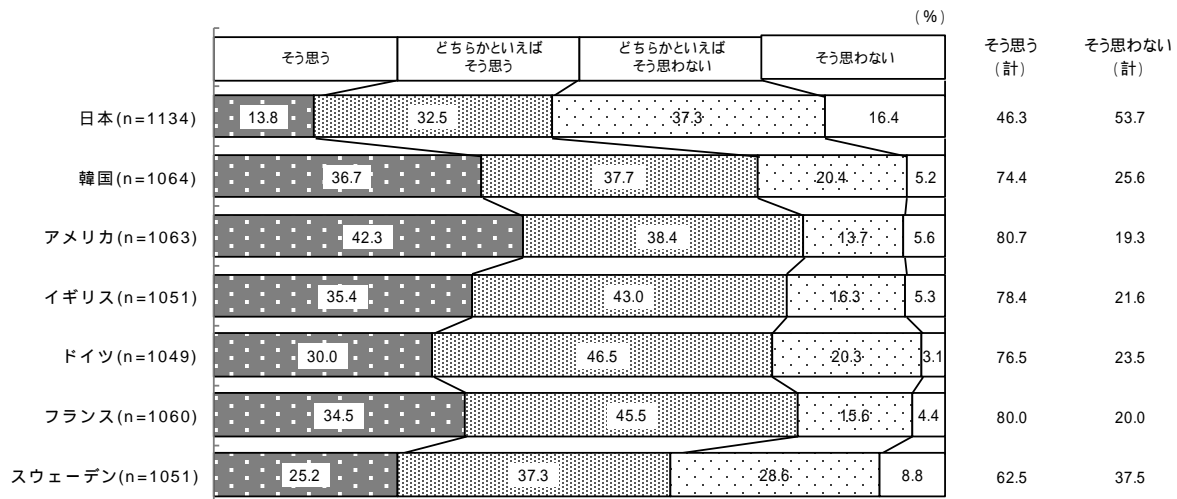
Q1 (b) 自分には長所があると感じている



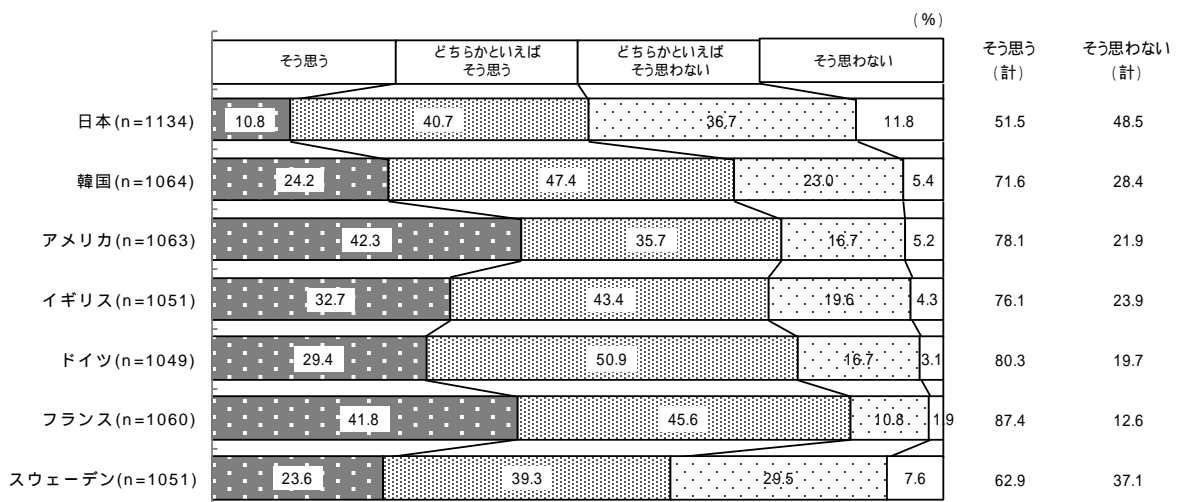
Q1 (c) 自分の親から愛されている (大切にされている) と思う



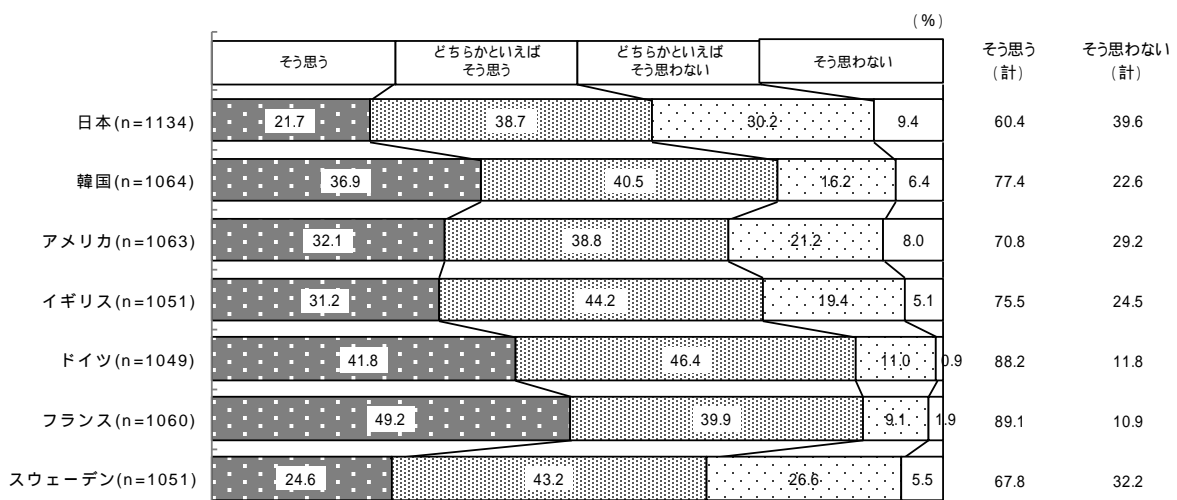
Q1 (d) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる



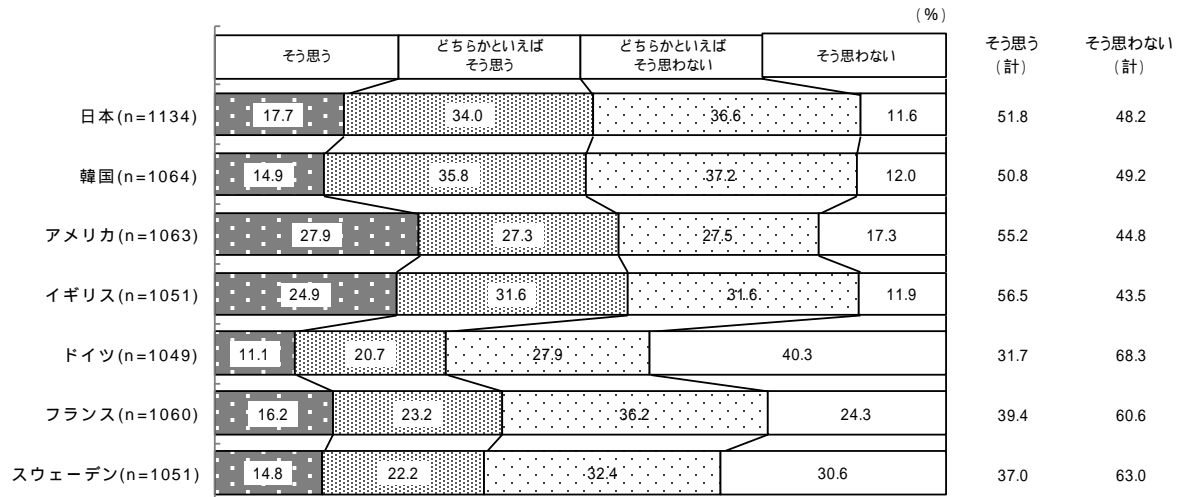
Q1 (e) うまくいかなかったことにも意欲的に取り組む



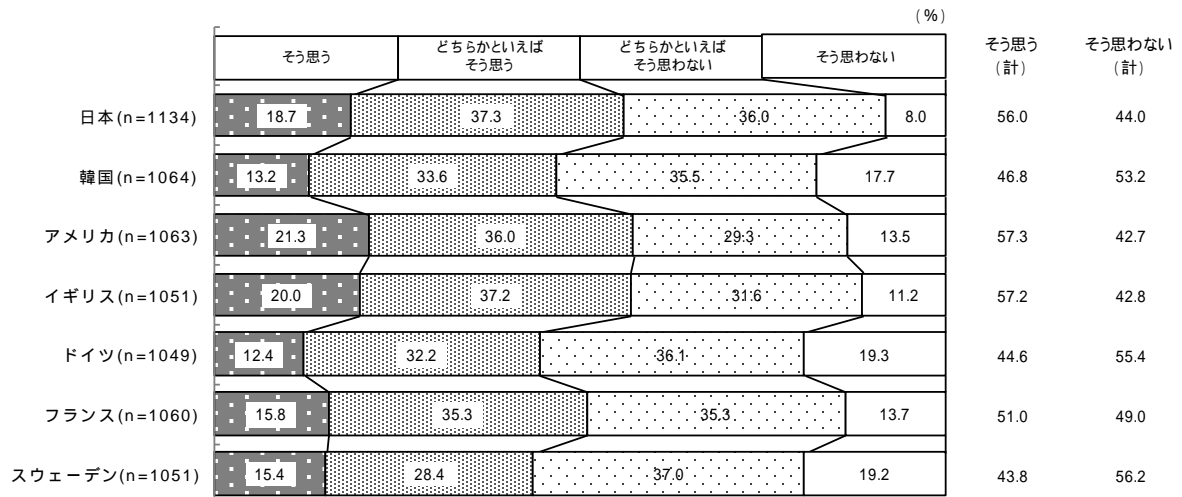
Q1 (f) 今が楽しければよいと思う



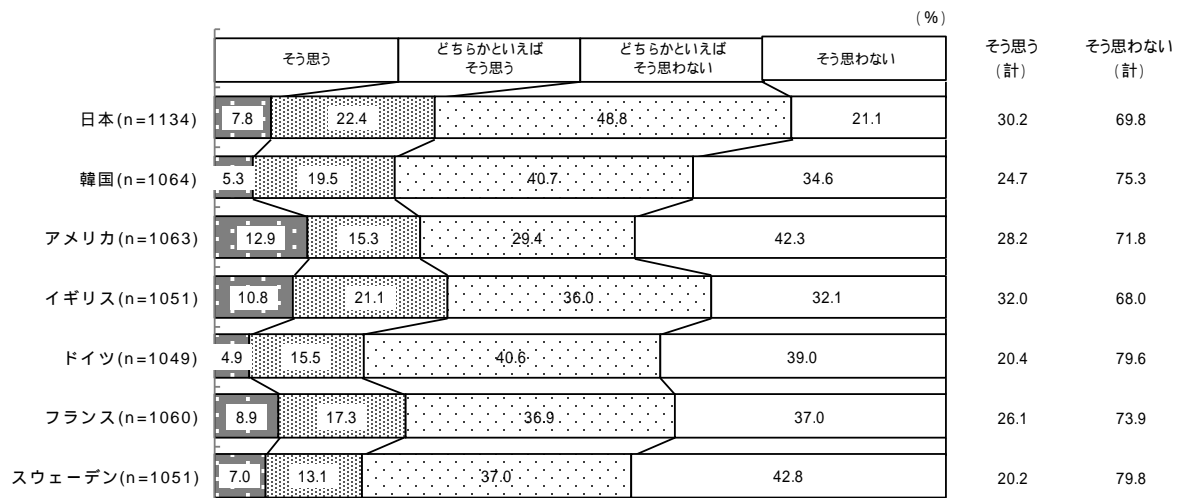
Q1 (g) 自分は役に立たないと強く感じる



Q1 (h) 人は信用できないと思う

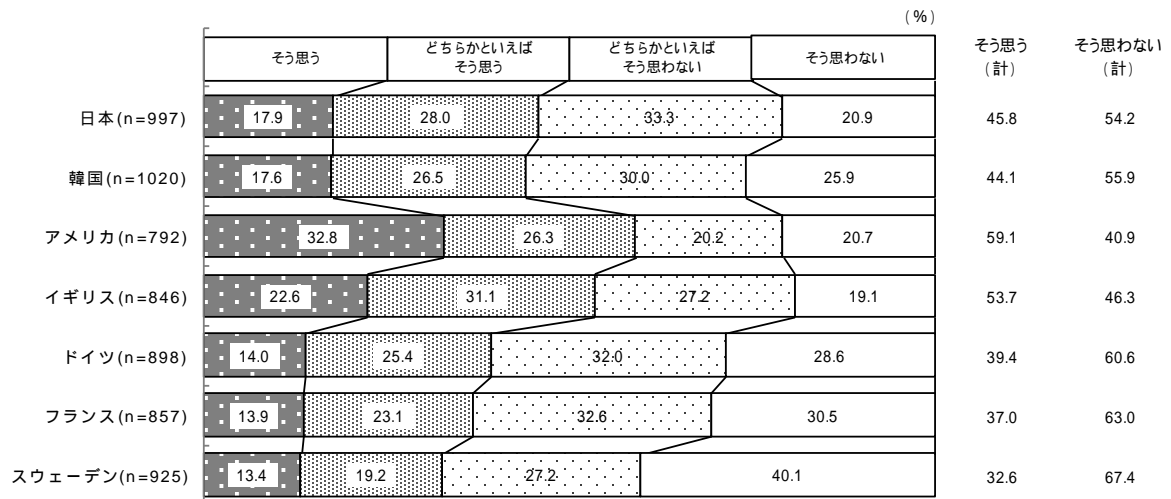


Q1 (i) よくうそをつく

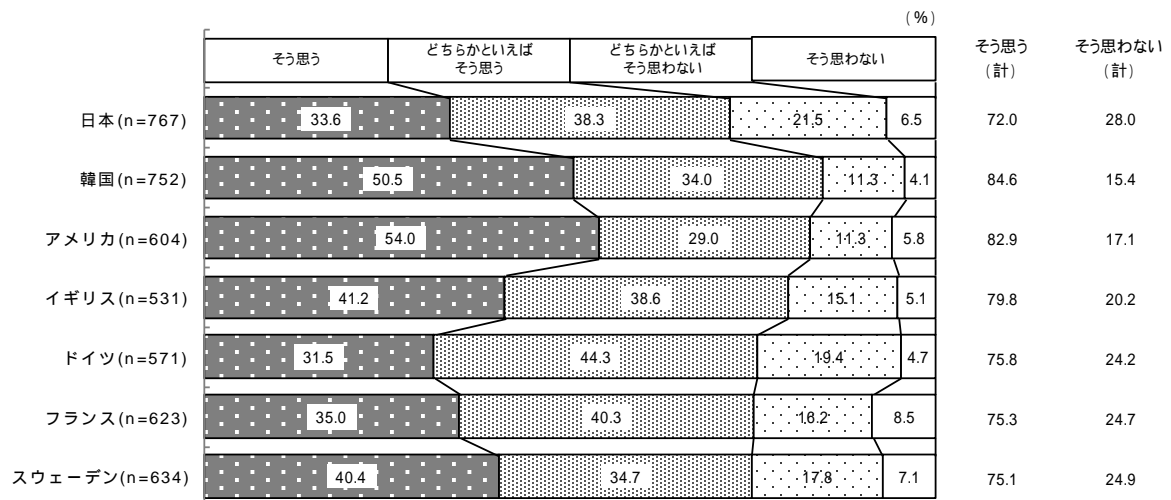




Q1 (j) 早く結婚して自分の家庭を持ちたい



Q1 (k) 早く仕事をして稼ぎたい

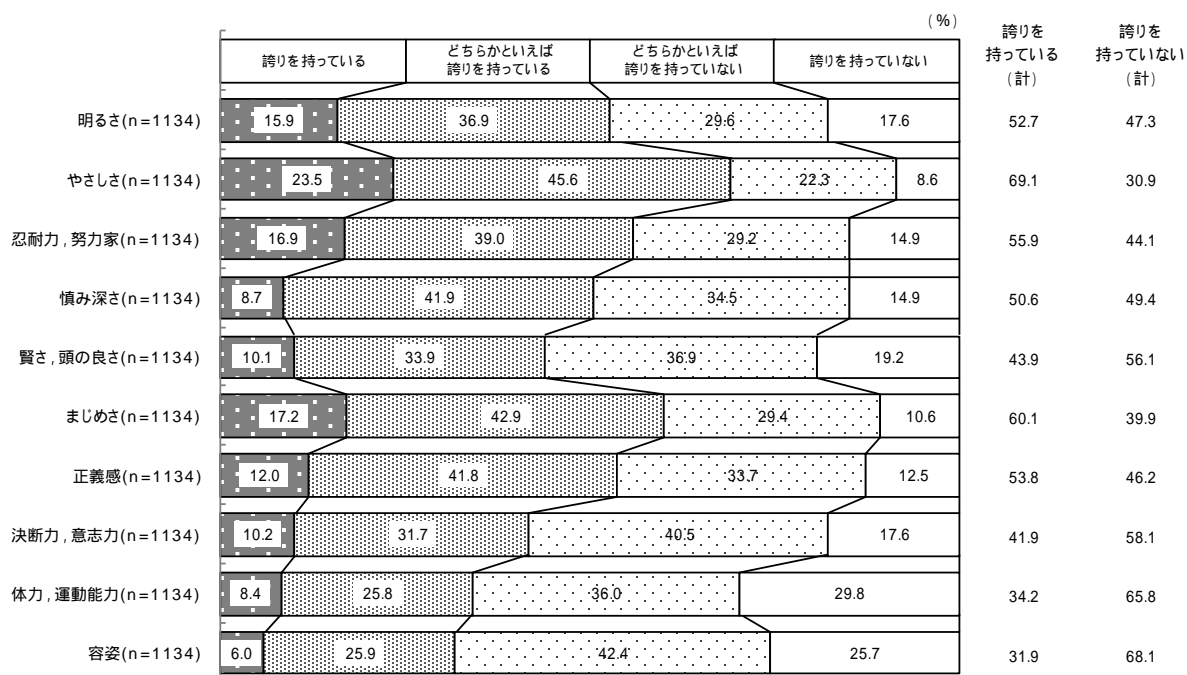


(2) 自分についての誇り

Q2 あなた自身のことについてうかがいます。あなたは、以下のそれぞれについて、誇りを持っていますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

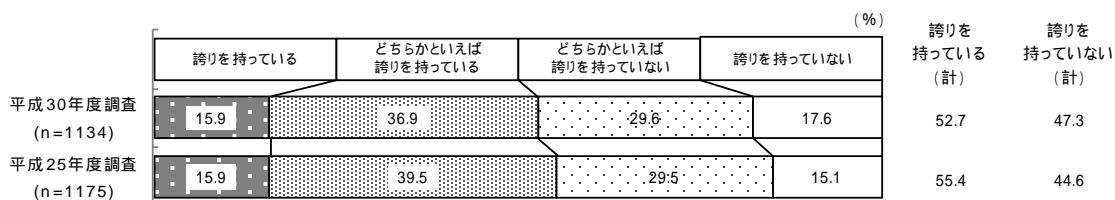
自分についての誇りを日本の若者に聞いたところ、『誇りを持っている』(「誇りを持っている」と「どちらかといえば誇りを持っている」の合計)と答えた割合は「やさしさ」(69.1%)が最も高い。次いで、「まじめさ」(60.1%)、「忍耐力、努力家」(55.9%)となっている。

一方、『誇りを持っている』と答えた割合が最も低いのは「容姿」(31.9%)であり、「体力、運動能力」(34.2%)とともに3割台である。

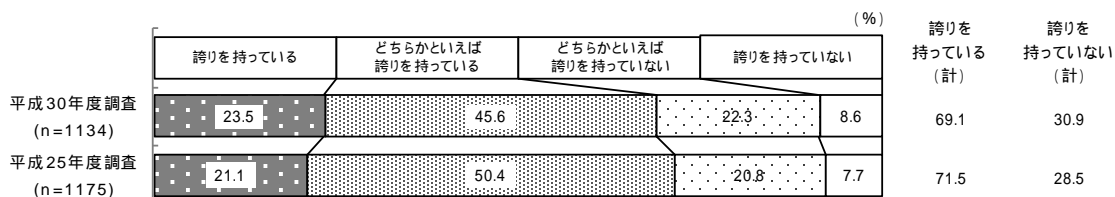


日本について平成25年度調査と比較すると、『誇りを持っている』と答えた割合は「まじめさ」で9.1ポイント、「忍耐力、努力家」で5.2ポイント低くなっている。

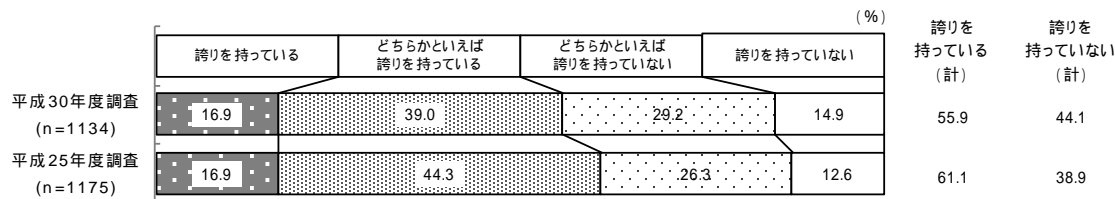
Q2(a) 明るさ



Q2(b) やさしさ



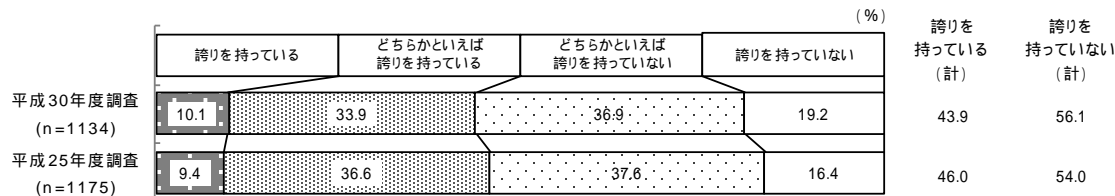
### Q2(c) 忍耐力、努力家



### Q2(d) 慎しみ深さ



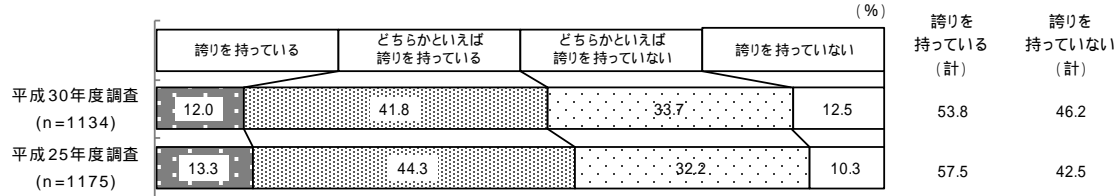
### Q2(e) 賢さ、頭の良さ



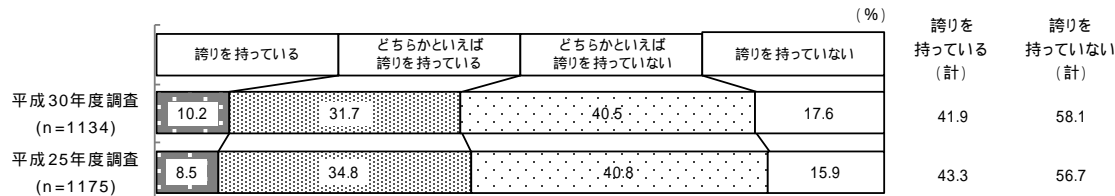
### Q2(f) まじめさ



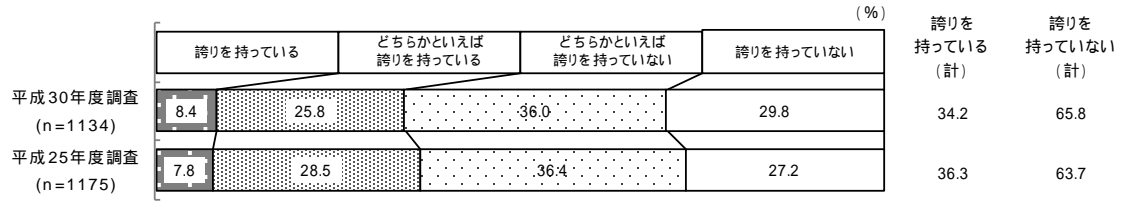
### Q2(g) 正義感



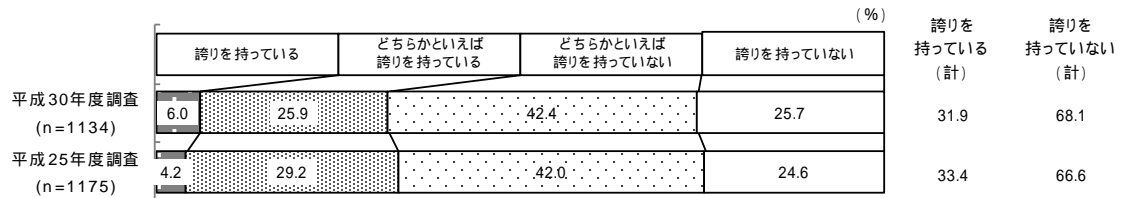
### Q2(h) 決断力、意志力



Q2 (i) 体力、運動能力

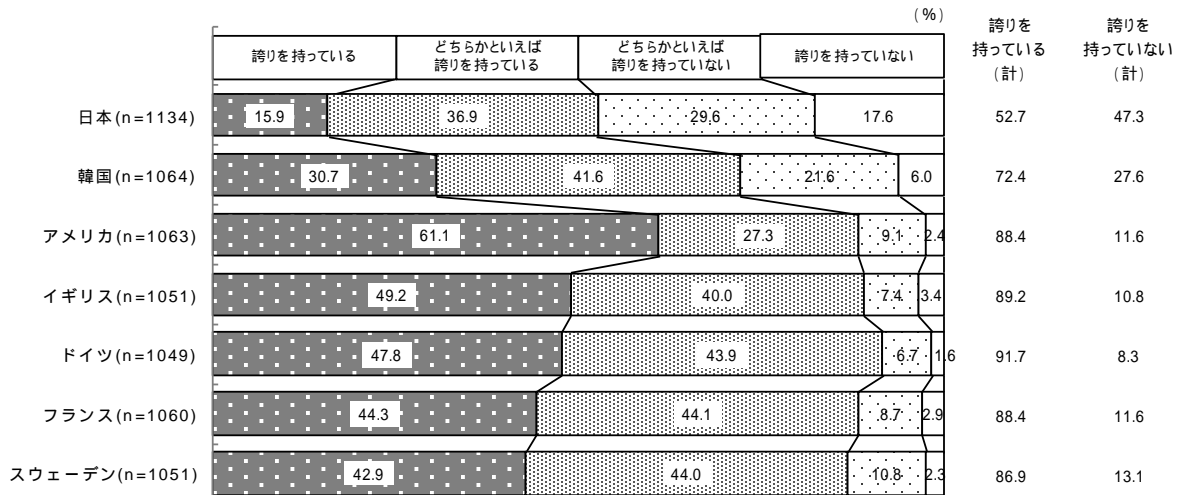


Q2 (j) 容姿

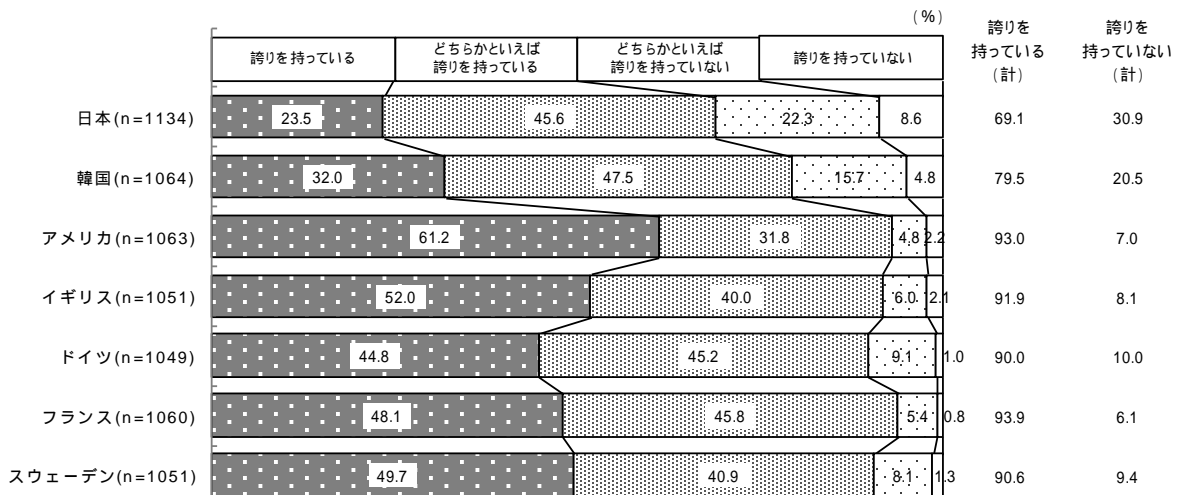


【国別】

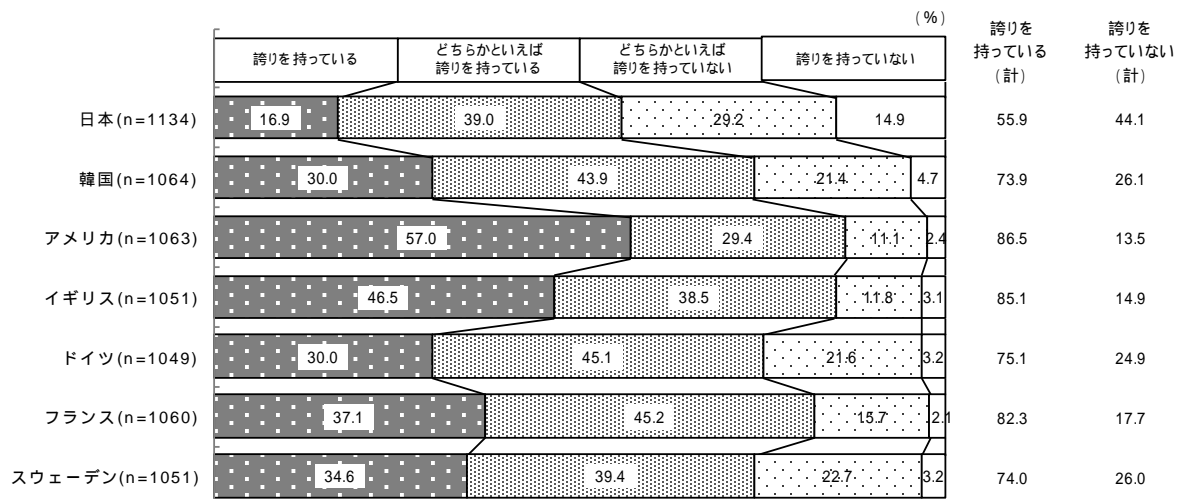
Q2 (a) 明るさ



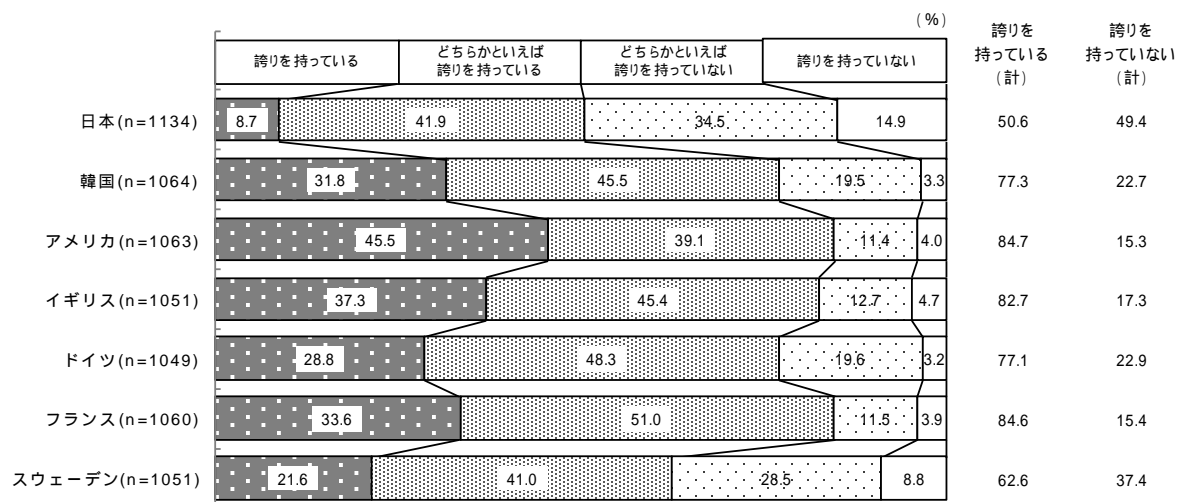
Q2 (b) やさしさ



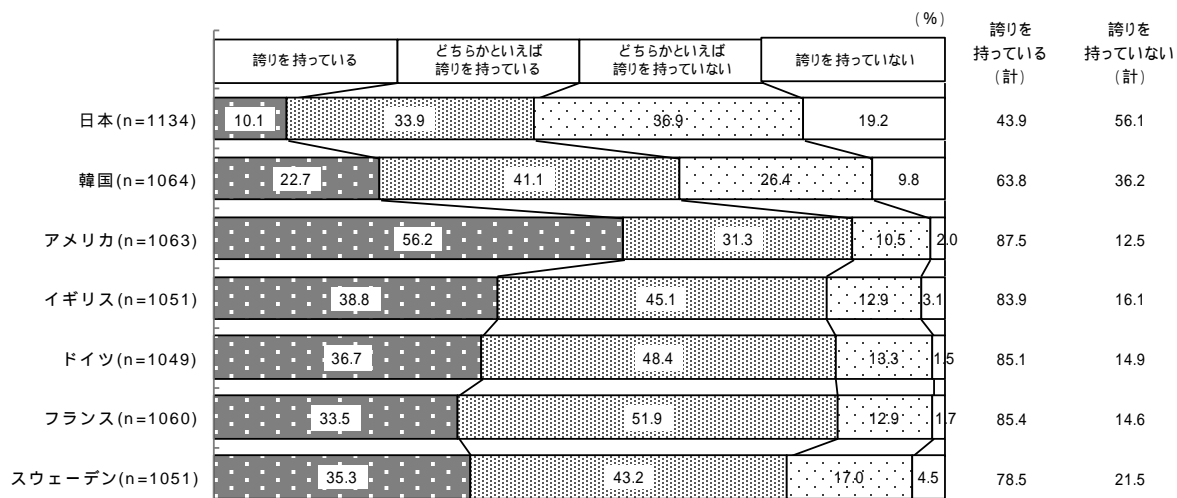
### Q2 (c) 忍耐力、努力家



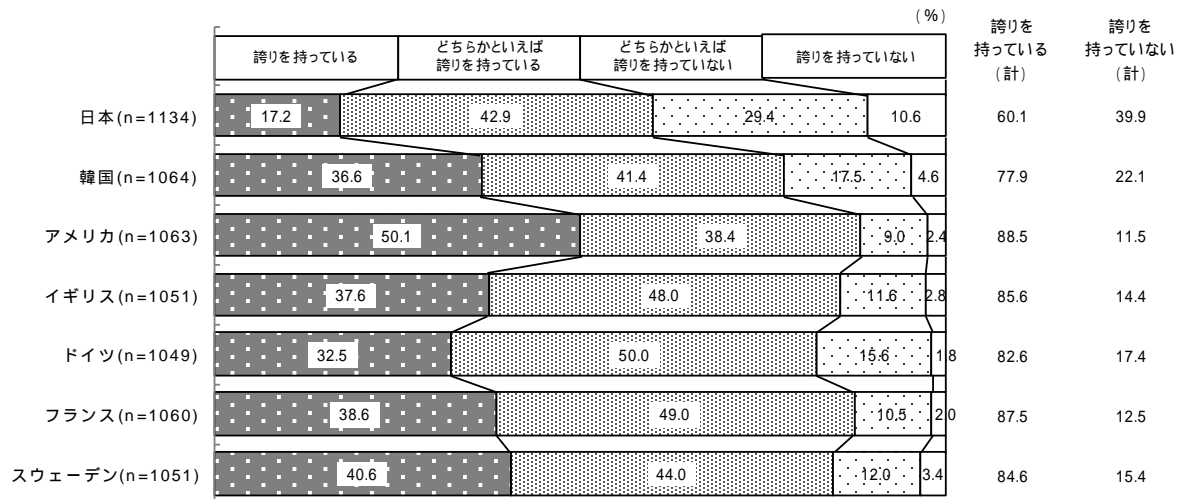
### Q2 (d) 慎しみ深さ



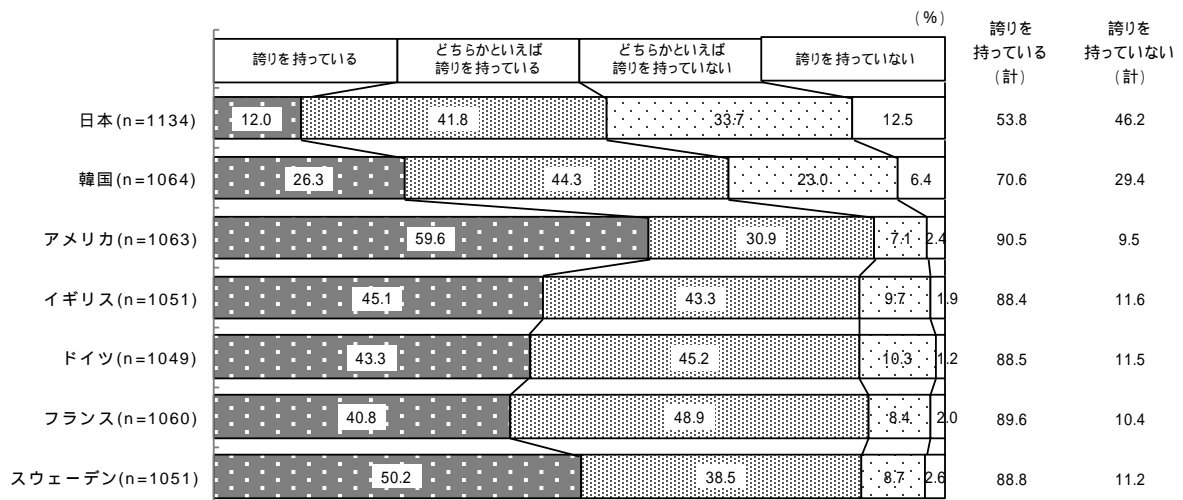
### Q2 (e) 賢さ、頭の良さ



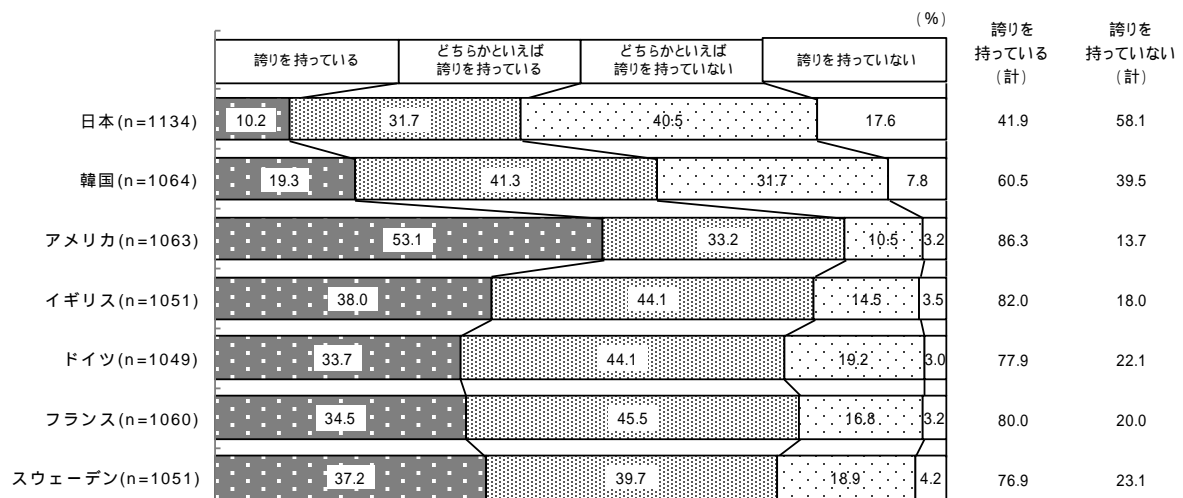
### Q2 (f) まじめさ



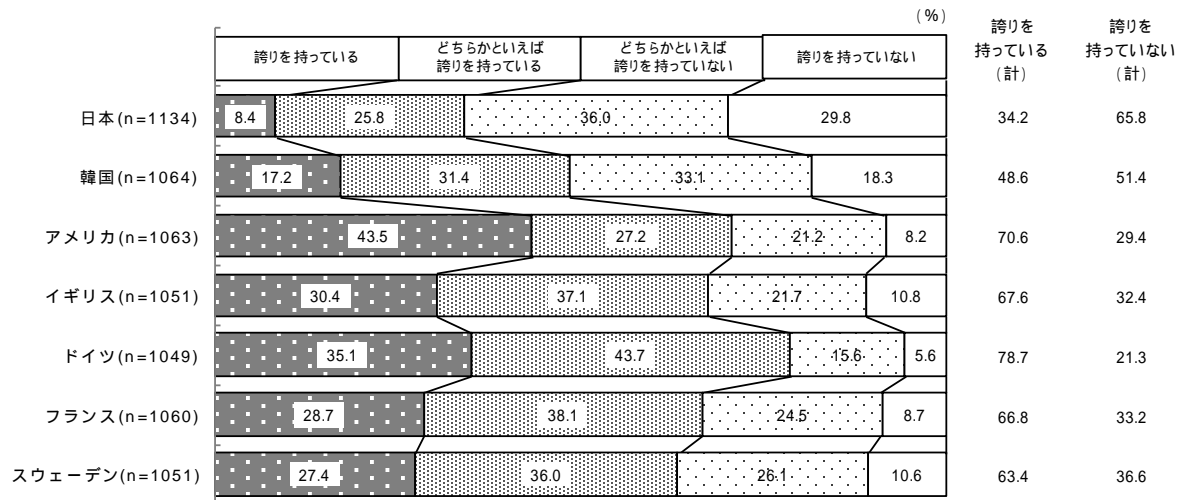
### Q2 (g) 正義感



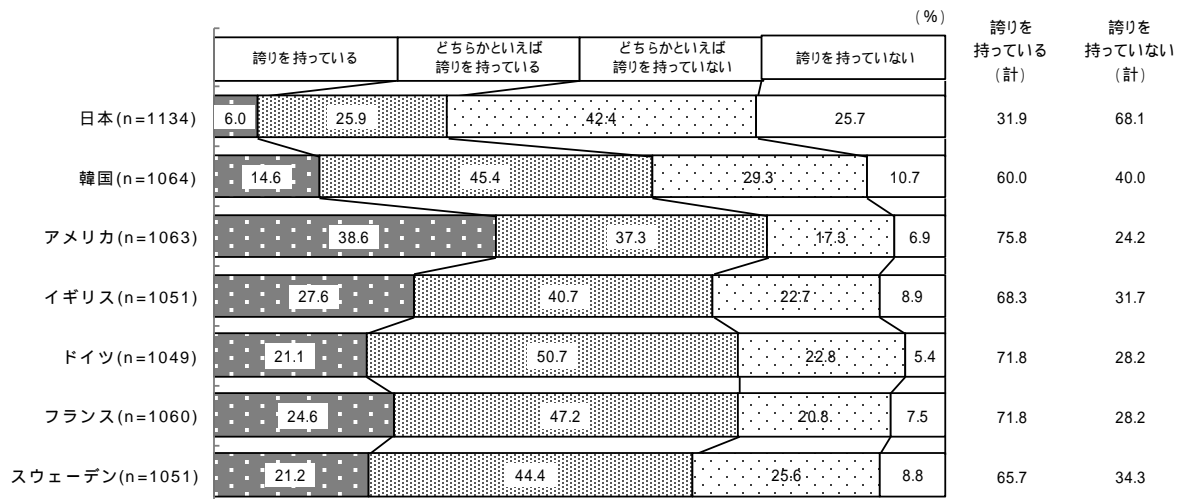
### Q2 (h) 決断力、意志力



Q2 (i) 体力、運動能力

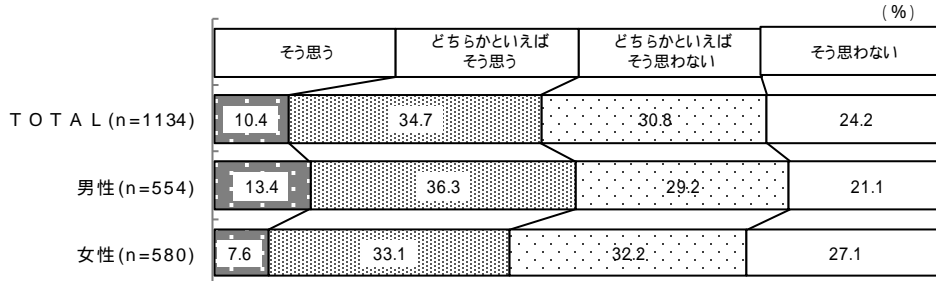


Q2 (j) 容姿



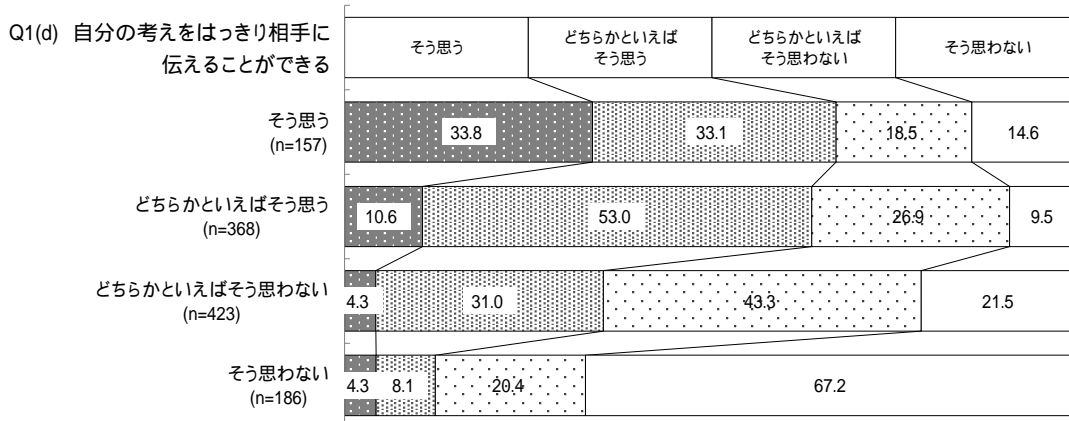
【分析】 自己肯定感の要因

日本の若者は、「私は、自分自身に満足している」に『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）と答えた割合は45.1%であり、他の調査対象国の若者に比べ「自分への満足感」が低い（8ページ参照）。日本の若者について男女別にみると、男性の方が『そう思う』と回答した割合は高い。

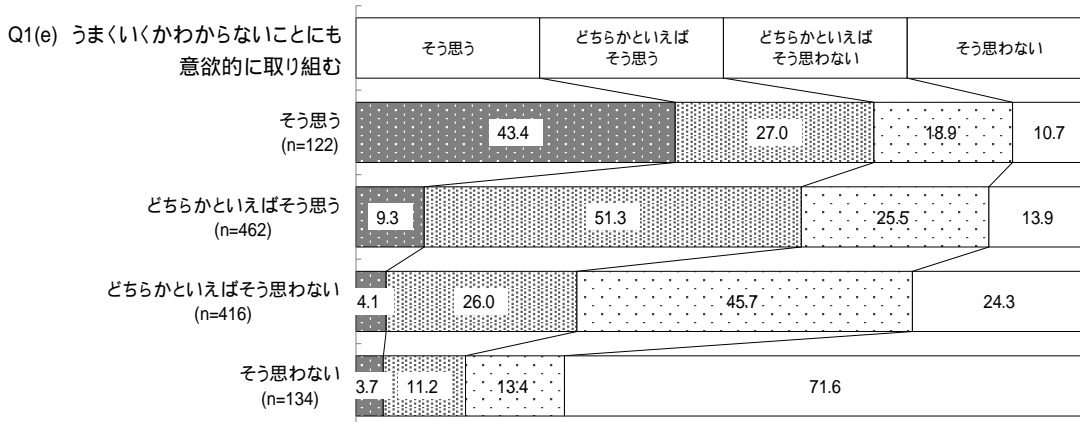


ここでは「自分への満足感」に関連する要因について考察する。まず、「自分への満足感」とその他の自分自身へのイメージについてクロス集計を行う。

Q1(a) 私は、自分自身に満足している

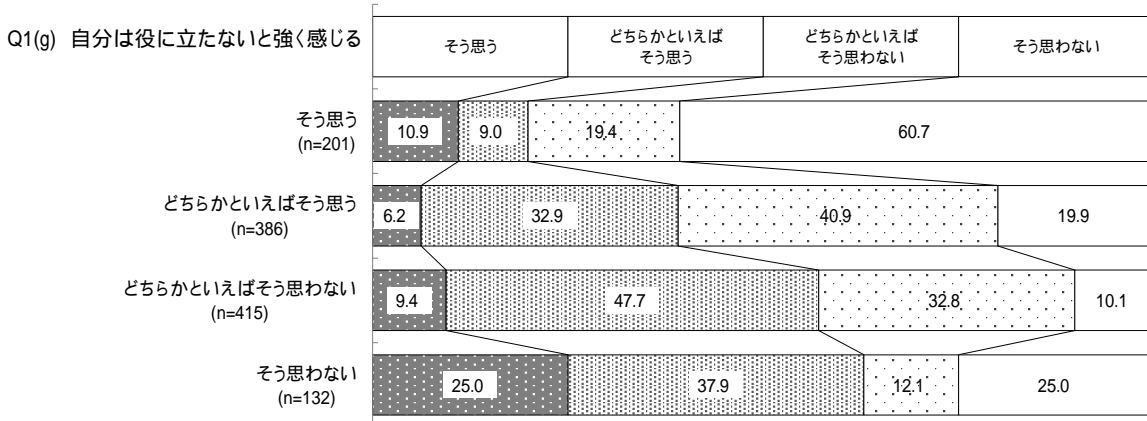


Q1(a) 私は、自分自身に満足している





Q1(a) 私は、自分自身に満足している



日本の若者は、「Q1(d) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」や「Q1(e) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に『そう思う』と回答した場合は、「自分自身に満足している」に『そう思う』と回答している割合が高い。

一方で、「Q1(g) 自分は役に立たないと強く感じる」に『そう思う』と回答した場合は、「自分自身に満足している」に『そう思う』と回答している者の割合が低い。

次に、「自分についてのイメージ」(Q1)と「自分についての誇り」(Q2)の項目との相関分析を行う。まず「自分についてのイメージ」との項目について、各国で相関をみる。

「自分への満足感」と「自分についてのイメージ」との相関関係

	日本	韓国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
Q1(b)自分には長所があると感じている	.61 **	.62 **	.42 **	.49 **	.41 **	.50 **	.56 **
Q1(c)自分の親から愛されている(大切にされている)と思う	.31 **	.46 **	.29 **	.24 **	.24 **	.22 **	.20 **
Q1(d)自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	.45 **	.48 **	.41 **	.43 **	.37 **	.31 **	.42 **
Q1(e)うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	.45 **	.53 **	.46 **	.48 **	.26 **	.29 **	.43 **
Q1(f)今が楽しければよいと思う	.22 **	.50 **	.24 **	.33 **	.23 **	.32 **	.37 **
Q1(g)自分は役に立たないと強く感じる	-.32 **	-.18 **	.06	.00	-.08 *	.00	-.07 *
Q1(h)人は信用できないと思う	-.21 **	-.21 **	-.06	-.06 *	-.06	-.02	-.01
Q1(i)よくぞをつく	-.06	-.12 **	.04	.05	-.01	.08 **	.08 **
Q1(j)早く結婚して自分の家族を持ちたい	.25 **	.27 **	.12 **	.13 **	.08 *	.13 **	.14 **
Q1(k)早く仕事をして稼ぎたい	.10 **	.12 **	.05	-.01	.03	.06	.03

有意水準5%で有意のものは\*、有意水準1%で有意のものは\*\*で示している。

この項目の中では、日本のみならず諸外国でも「Q1(b)自分には長所があると感じている」の相関が高い。この項目と『自分への満足感』は、ともに自己を肯定している項目であるという観点から考えると相関が高いのは自然だと思われるが、自分の長所を理解できず、自己肯定ができない可能性を示唆している。

次に、「Q1(d) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」や「Q1(e) うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」が、日本では「自分への満足感」と相関が高い。

また他国とは異なる関係性として、「Q1(g) 自分は役に立たないと強く感じる」の負の相関が強いことがわかる。平成25年度調査報告書に掲載されている加藤弘通氏の分析(「自尊感情とその関連要因の比較：日本の青年は自尊感情が低いのか?」)でも、日本の若者のみ、「自己有用感」と「自分への満足感」の相関が指摘されており、平成30年度調査結果でも同じ特徴が継続している。

## 「自分への満足感」と「自分についての誇り」との相関関係

	日本	韓国	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
Q2(a) 明るさ	.50 **	.49 **	.41 **	.49 **	.36 **	.47 **	.46 **
Q2(b) やさしさ	.42 **	.43 **	.24 **	.20 **	.21 **	.24 **	.23 **
Q2(c) 忍耐力, 努力家	.39 **	.38 **	.34 **	.29 **	.32 **	.29 **	.32 **
Q2(d) 慎み深さ	.38 **	.37 **	.28 **	.19 **	.16 **	.17 **	.24 **
Q2(e) 賢さ, 頭の良さ	.40 **	.46 **	.32 **	.32 **	.28 **	.23 **	.34 **
Q2(f) まじめさ	.28 **	.41 **	.27 **	.29 **	.24 **	.25 **	.26 **
Q2(g) 正義感	.36 **	.38 **	.27 **	.27 **	.21 **	.27 **	.22 **
Q2(h) 決断力, 意志力	.48 **	.44 **	.38 **	.43 **	.32 **	.35 **	.35 **
Q2(i) 体力, 運動能力	.36 **	.36 **	.48 **	.43 **	.37 **	.37 **	.46 **
Q2(j) 容姿	.46 **	.42 **	.45 **	.45 **	.42 **	.39 **	.45 **

有意水準 5% で有意のものは\*、有意水準 1% で有意のものは\*\*で示している。

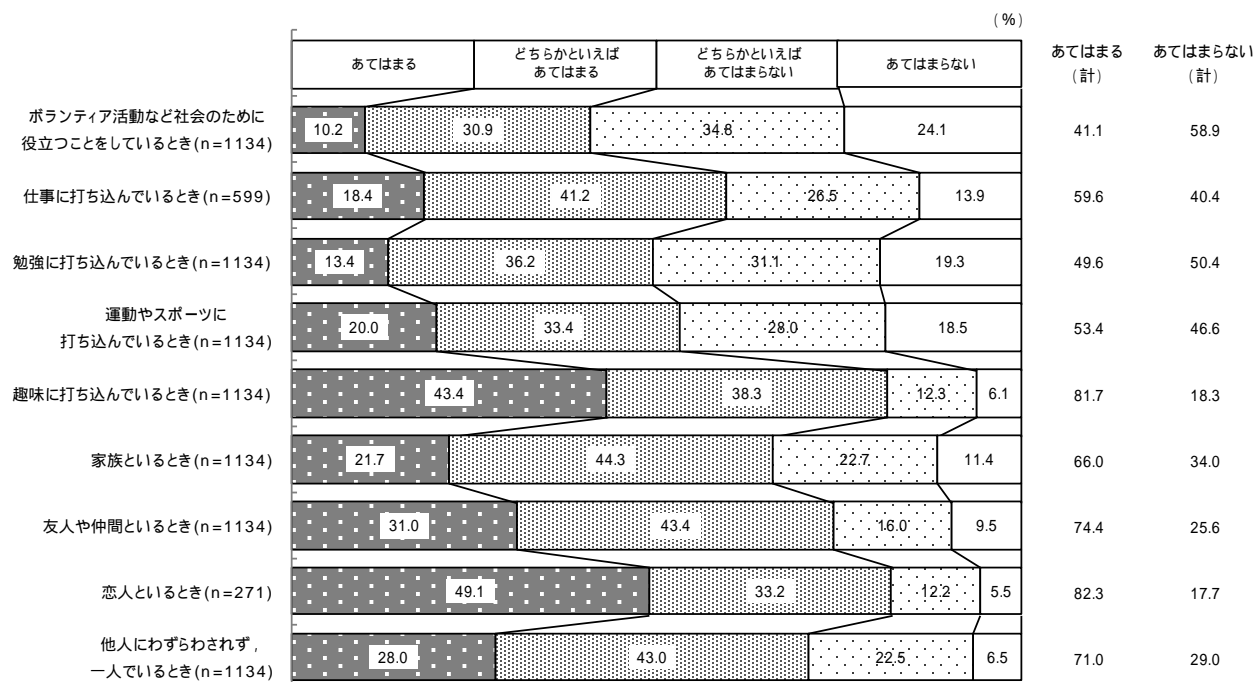
次に「自分についての誇り」との項目について、各国で相関をみる。この項目ではすべての項目で有意に正の相関がある。日本では「Q2(a) 明るさ」との相関が比較的強い。次いで「Q2(h) 決断力、意志力」や「Q2(j) 容姿」も相関が強い。

他の国の特徴として、「Q2(a) 明るさ」の相関が強い傾向は日本と同様だが、アメリカでは、「Q2(i) 体力、運動能力」の相関がこれらの項目の中で一番強い。またイギリス、ドイツ、フランスでは、「Q2(d) 慎み深さ」の相関が、有意ではあるが弱い傾向がある。

(3) 充実感

Q3 あなたは、どんなときに充実していると感じますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

充実感について日本の若者に聞いたところ、『あてはまる』(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)と答えた割合は「恋人といるとき」(82.3%)が最も高い。次いで、「趣味に打ち込んでいるとき」(81.7%)、「友人や仲間といるとき」(74.4%)となっている。

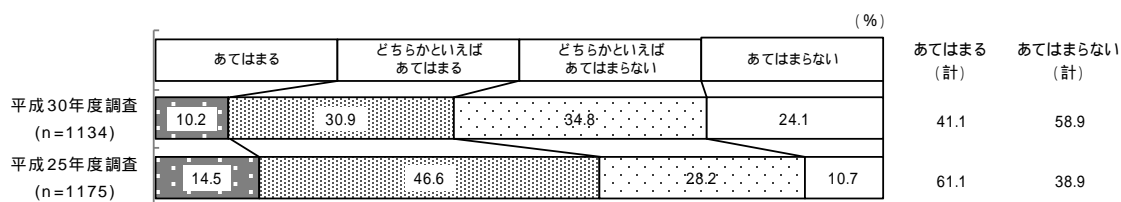


「仕事に打ち込んでいるとき」は就労者が対象

「恋人といるとき」は事実婚、離死別、未婚で恋人がいる人が対象

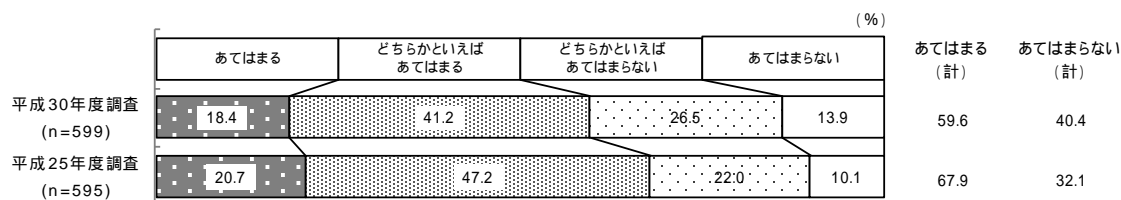
日本について平成25年度調査と比較すると、『あてはまる』と答えた割合は、「仕事に打ち込んでいるとき」で8.3ポイント、「恋人といるとき」で7.5ポイント、「運動やスポーツに打ち込んでいるとき」で6.4ポイント、「趣味に打ち込んでいるとき」で5.9ポイント、「友人や仲間といるとき」で5.9ポイント低くなっている。

Q3(a) ボランティア活動など社会のために役立つことをしているとき

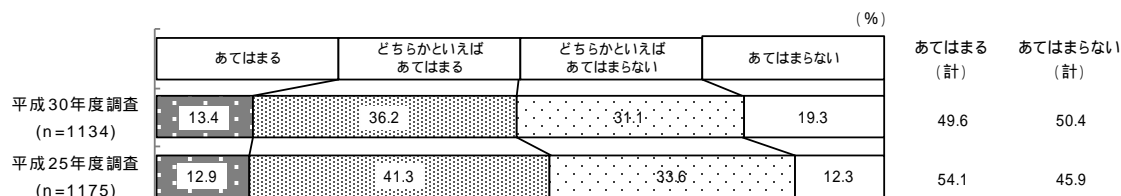


平成25年度調査は、「社会のために役立つことをしているとき」への回答

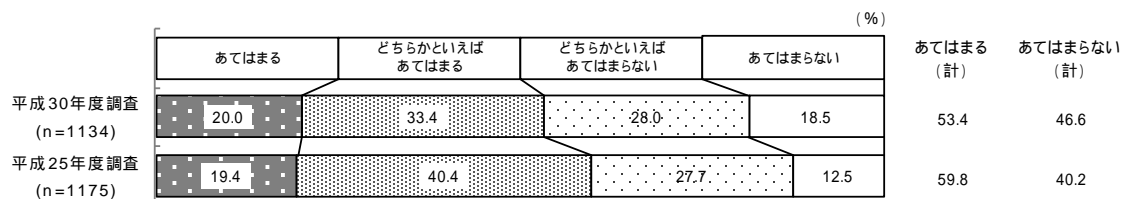
### Q3 (b) 仕事に打ち込んでいるとき



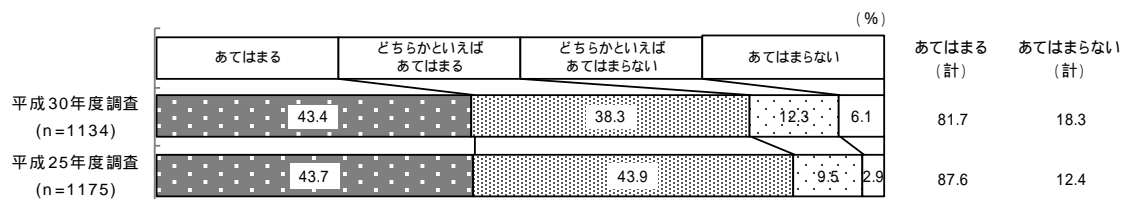
### Q3 (c) 勉強に打ち込んでいるとき



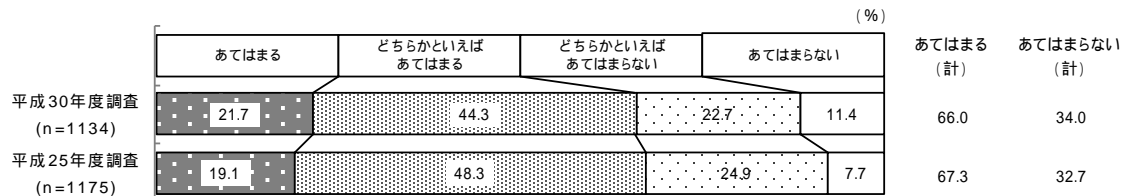
### Q3 (d) 運動やスポーツに打ち込んでいるとき



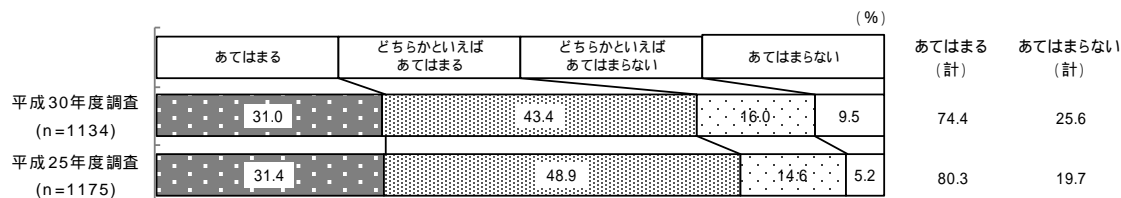
### Q3 (e) 趣味に打ち込んでいるとき



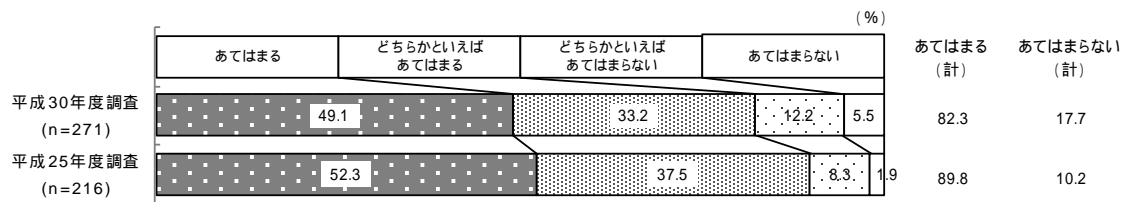
### Q3 (f) 家族といるとき



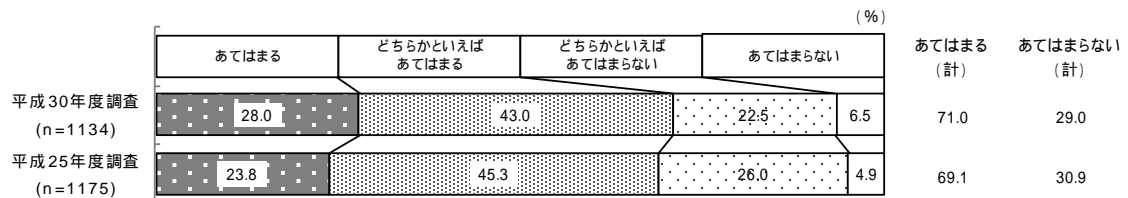
### Q3 (g) 友人や仲間といるとき



### Q3 (h) 恋人といるとき

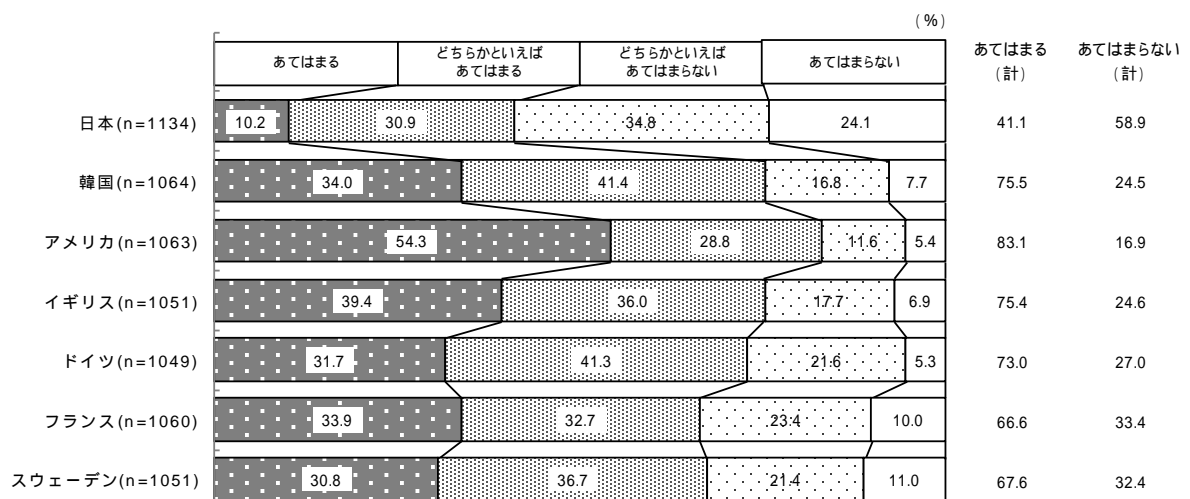


### Q3 (i) 他人にわずらわされず、一人にいるとき

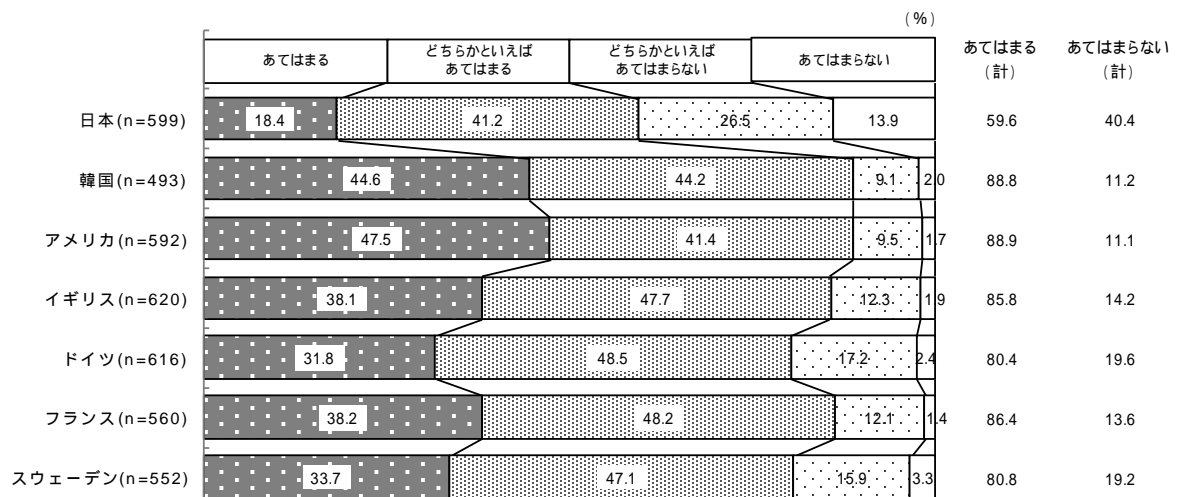


## 【国別】

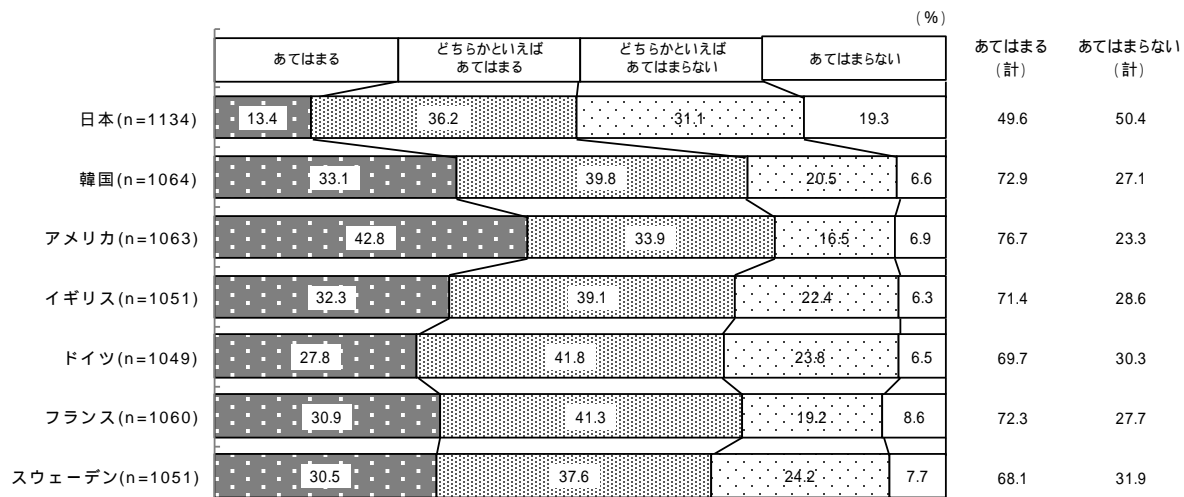
### Q3 (a) ボランティア活動など社会のために役立つことをしているとき



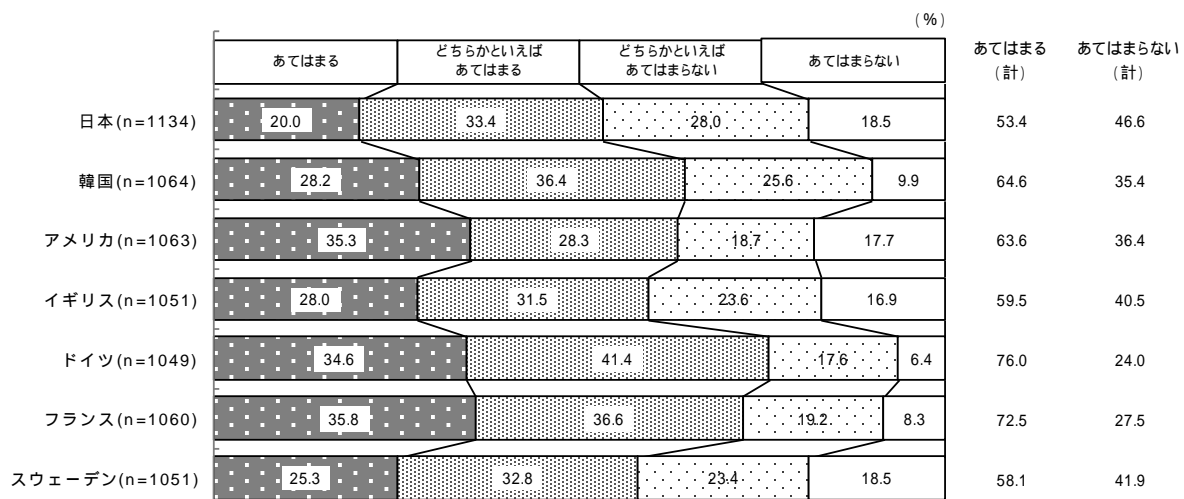
### Q3 (b) 仕事に打ち込んでいるとき



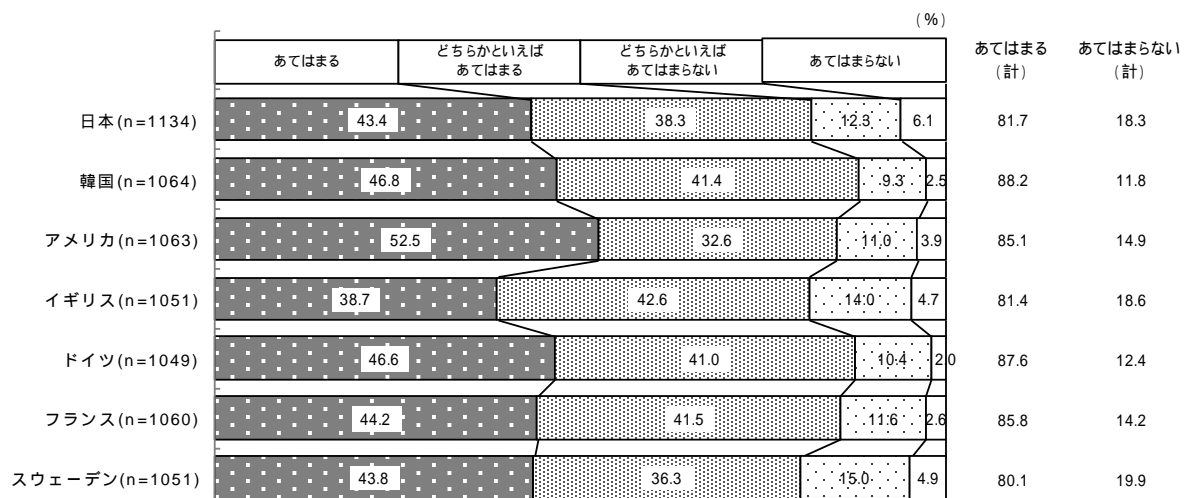
### Q3 (c) 勉強に打ち込んでいるとき



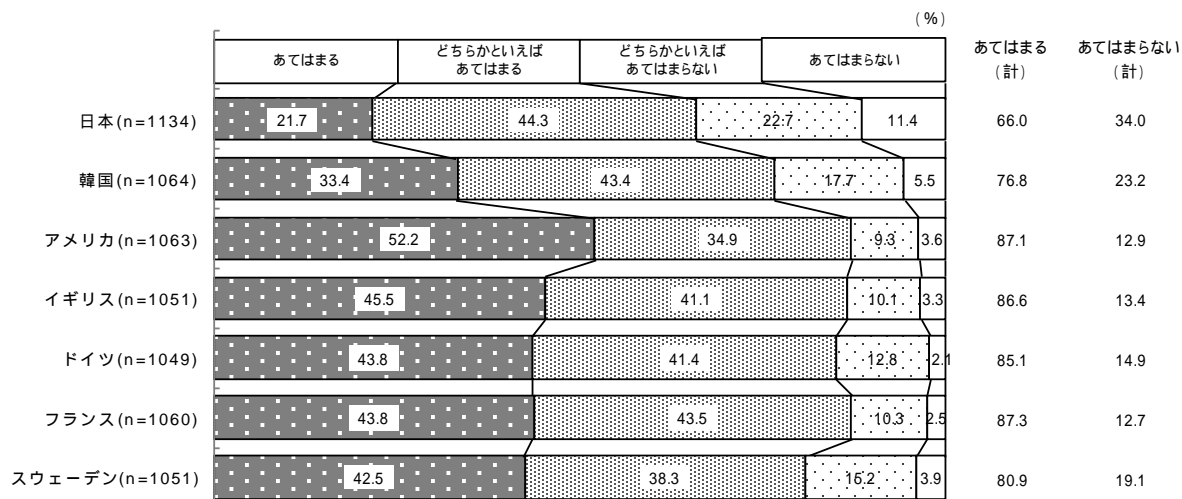
### Q3 (d) 運動やスポーツに打ち込んでいるとき



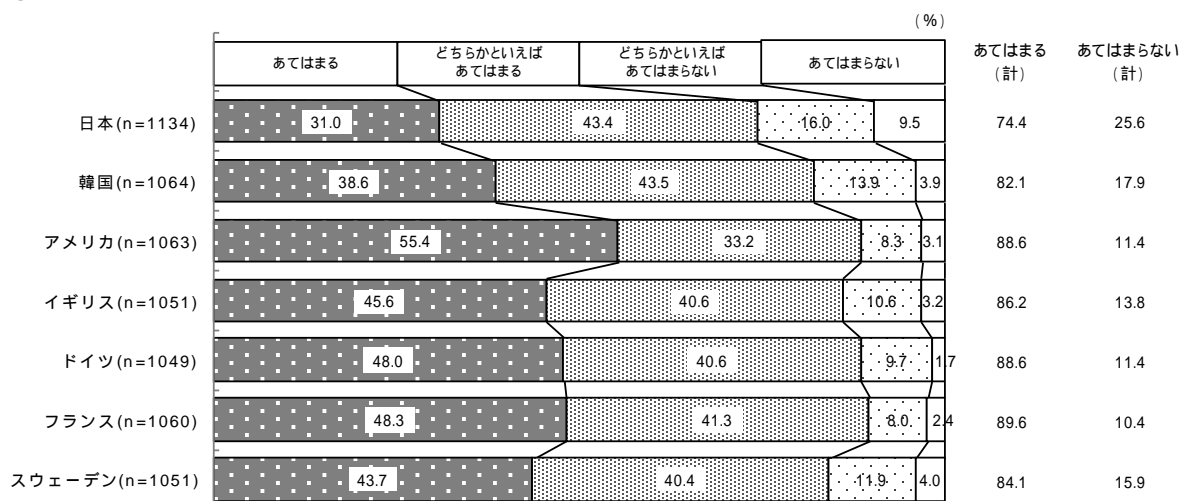
### Q3 (e) 趣味に打ち込んでいるとき



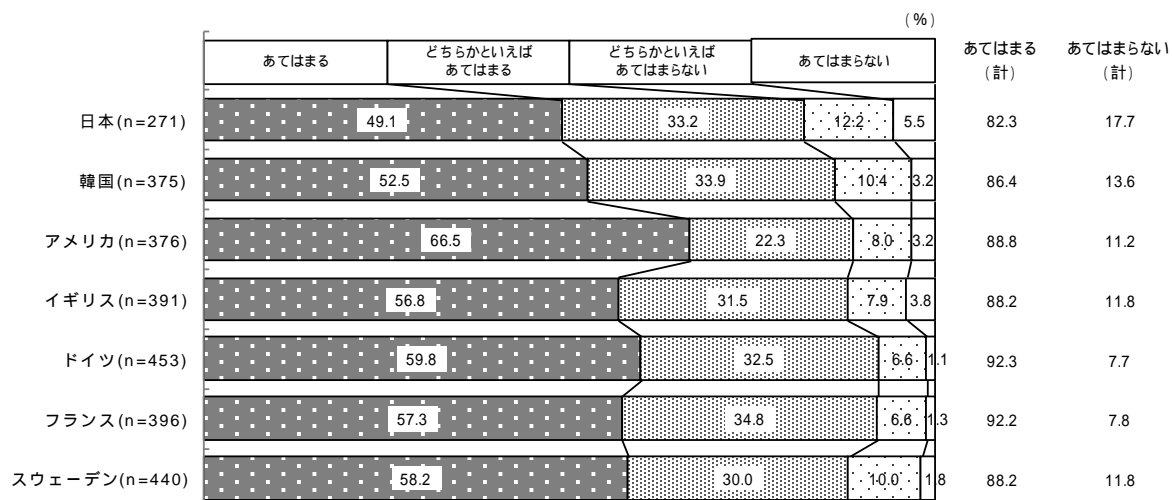
### Q3 (f) 家族といるとき



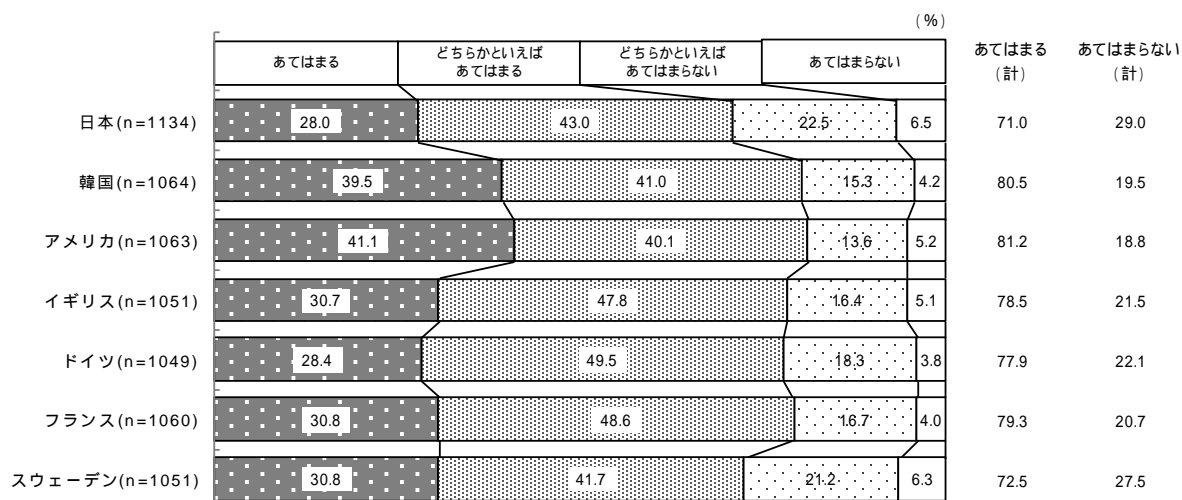
### Q3 (g) 友人や仲間といるとき



### Q3 (h) 恋人といるとき



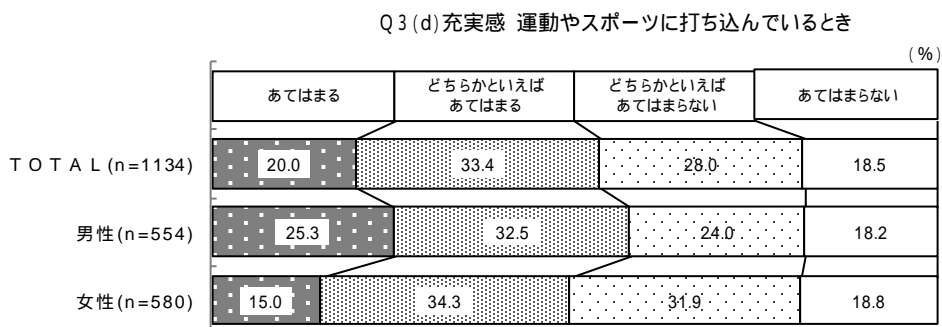
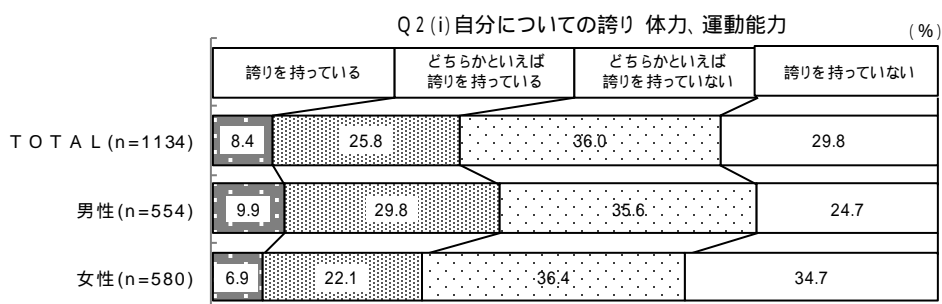
Q3 (i) 他人にわずらわされず、一人でいるとき



【分析】 スポーツ・運動の効用

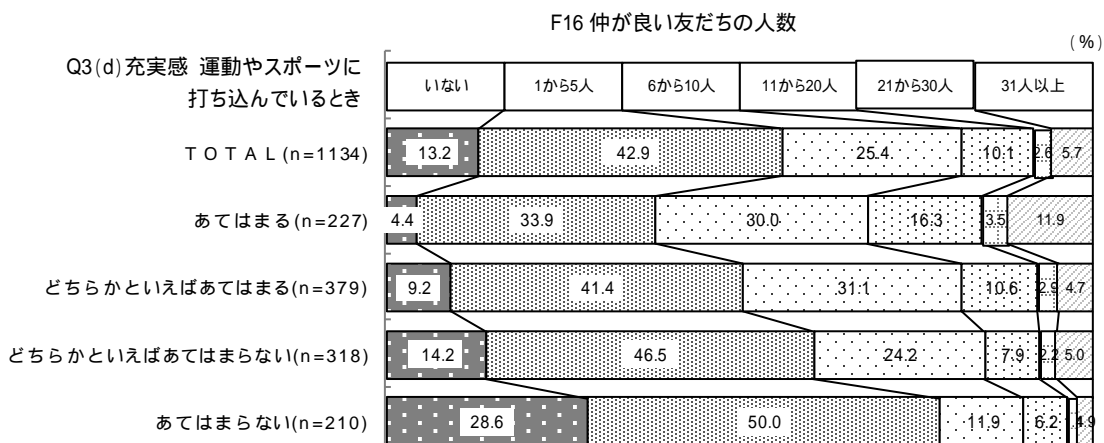
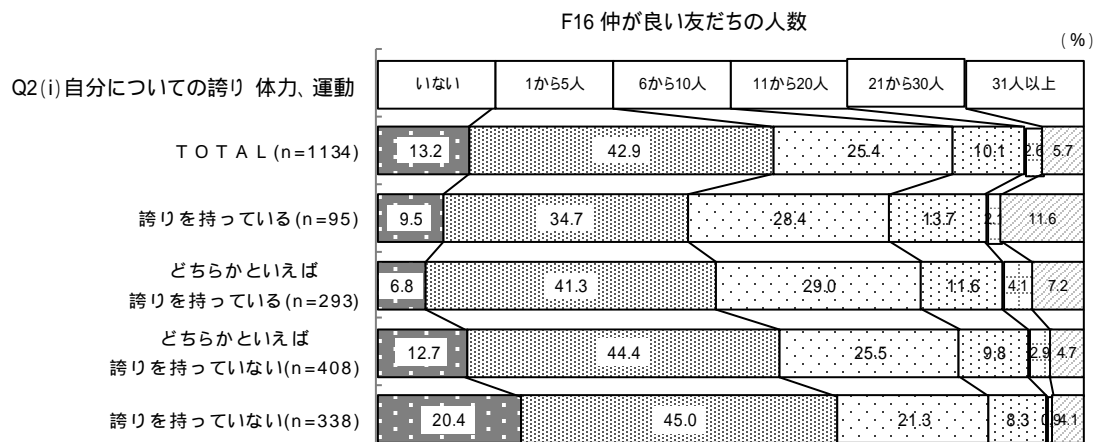
日本の若者について、スポーツ・運動が友人関係や自己肯定感に関係するか検証を行う。スポーツ・運動に関連した質問として、「Q2 (i) 自分についての誇り 体力、運動能力」と「Q3 (d) 充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」がある。

男女別にみると、「Q2 自分についての誇り (i) 体力、運動能力」で『誇りを持っている』(「誇りを持っている」と「どちらかといえば誇りを持っている」の合計)と回答した割合は、男性の方が高い。「Q3 (d) 充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」も『あてはまる』(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)と回答とした割合は、男性の方が高い。

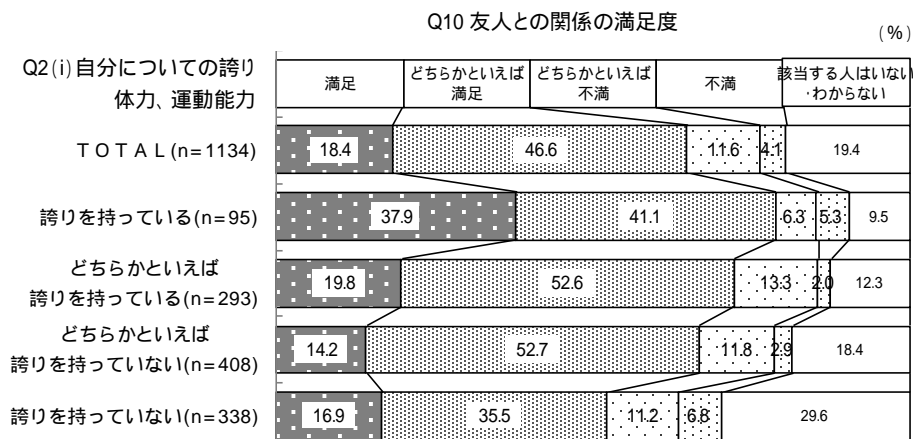


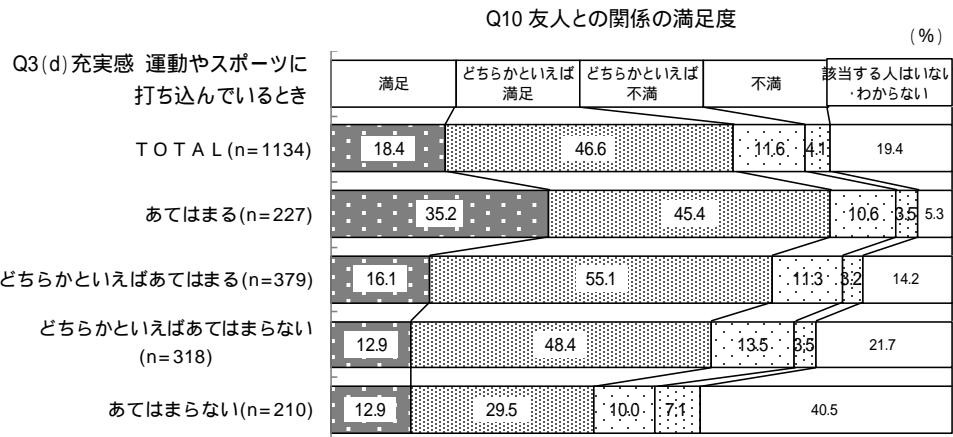


仲が良い友だちの人数に関して、「Q2(i)自分についての誇り 体力、運動能力」で、『誇りを持っている』、及び「Q3(d)充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」に『あてはまる』と回答した場合は、仲の良い友だちの人数が多い傾向にある。

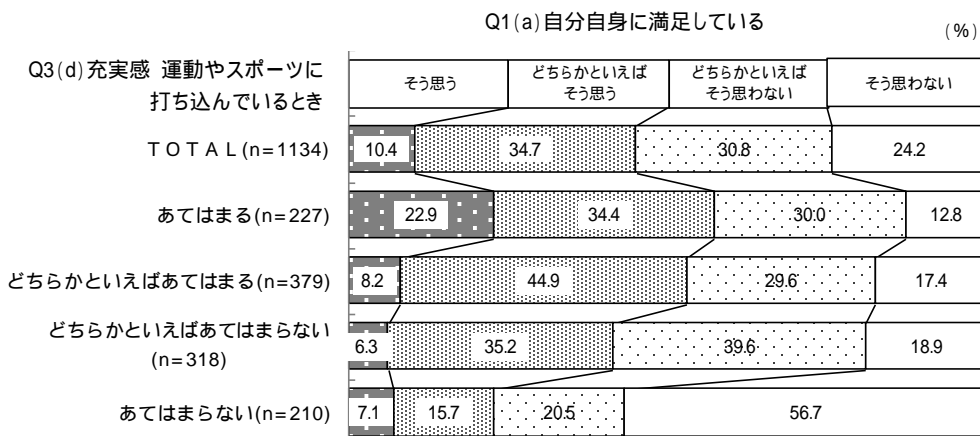
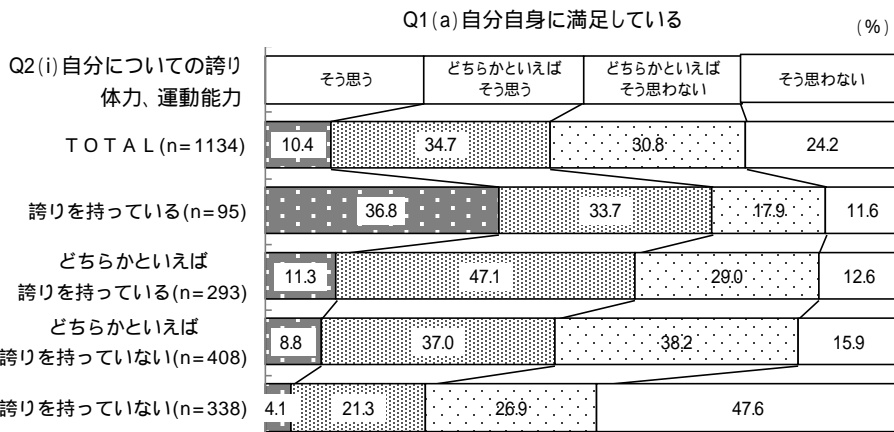


友人との関係の満足度に関して、「Q2自分についての誇り(i) 体力、運動能力」で『誇りを持っている』、及び「Q3充実感(d) 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」で『あてはまる』と回答した場合は、「Q10 友人との関係の満足度」で『満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と回答している割合が高い。



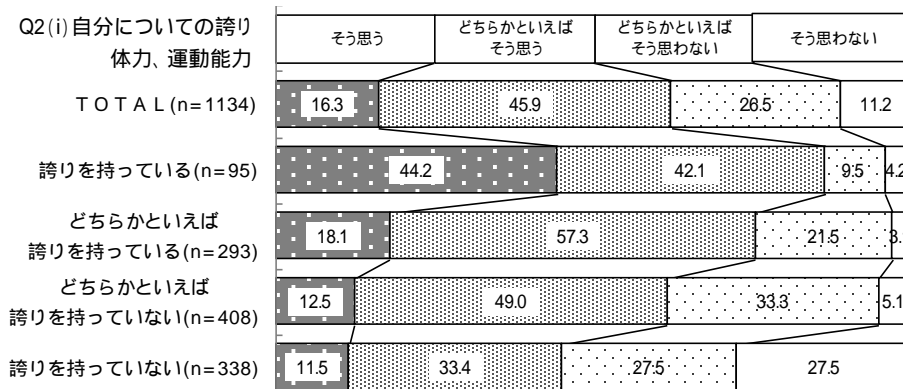


次にスポーツ・運動と自分肯定感の関係性をみる。「Q2(i)自分についての誇り 体力、運動能力」で『誇りを持っている』及び「Q3(d)充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」で『あてはまる』と回答した場合は、「Q1(a)自分自身に満足している」で『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と回答した割合が高くなる。また同様に「Q1(b)自分には長所がある」で『そう思う』と回答した割合が高くなる。



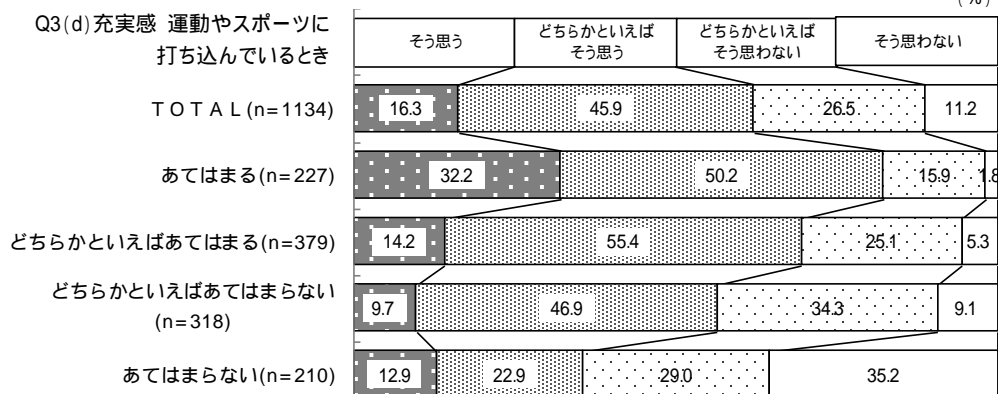
Q1(b)自分には長所があると感じている

(%)



Q1(b)自分には長所があると感じている

(%)



<参考>

「F16 仲が良い友だちの人数」、「Q10 友人との関係の満足度」、「Q1(a)自分自身に満足している」及び「Q1(b)自分には長所があると感じている」を被説明変数とし、スポーツ・運動との関係性をみるために、「Q2(i)自分についての誇り 体力、運動能力」及び「Q3(d)充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」を説明変数とした回帰分析の結果を以下に示す。

【スポーツ・運動と友人関係や自己肯定との関連(1,134 サンプル)】

説明変数	被説明変数: F16仲が良い友だちの人数			
	係数推定値	標準誤差	t値	p値
Q2 (i)自分についての誇り 体力、運動能力	0.047	0.045	1.058	0.290
Q3 充実感 (d)運動やスポーツに打ち込んでいるとき	0.312 **	0.042	7.488	0.000
自由度調整済み決定係数 F値	0.074 45.970 (0.000)			

説明変数	被説明変数: Q10友人との関係の満足度			
	係数推定値	標準誤差	t値	p値
Q2 (i)自分についての誇り 体力、運動能力	0.038	0.031	1.228	0.220
Q3 充実感 (d)運動やスポーツに打ち込んでいるとき	0.100 **	0.029	3.453	0.001
自由度調整済み決定係数 F値	0.025 12.580 (0.000)			

説明変数	被説明変数: Q1(a)自分自身に満足している			
	係数推定値	標準誤差	t値	p値
Q2 (i)自分についての誇り 体力、運動能力	0.282 **	0.033	8.519	0.000
Q3 充実感 (d)運動やスポーツに打ち込んでいるとき	0.149 **	0.031	4.856	0.000
自由度調整済み決定係数 F値	0.147 98.294 (0.000)			

説明変数	被説明変数: Q1(b)自分には長所があると感じている			
	係数推定値	標準誤差	t値	p値
Q2 (i)自分についての誇り 体力、運動能力	0.183 **	0.030	6.042	0.000
Q3 充実感 (d)運動やスポーツに打ち込んでいるとき	0.223 **	0.028	7.939	0.000
自由度調整済み決定係数 F値	0.156 105.595 (0.000)			

有意水準5%で有意のものは\*、有意水準1%で有意のものは\*\*で示している。  
 それぞれの質問にわからないがあるため、ペアごとに除外して算出している。  
 自由度調整済み決定係数...説明変数が被説明変数のどれくらいを説明できるかを表す値。0から1の間の値を取り、1に近いほど説明できる割合(説明力)が高い。  
 F値...説明変数で被説明変数を説明することの妥当性を示す値。

4つの分析のうち、「Q3(d)充実感 運動やスポーツに打ち込んでいるとき」は有意水準1%で有意で、いずれも係数の値は正である。スポーツや運動に打ち込んでいることに充実感のある若者は、友人関係が良好で自己肯定感も高い傾向にあることがうかがえる。

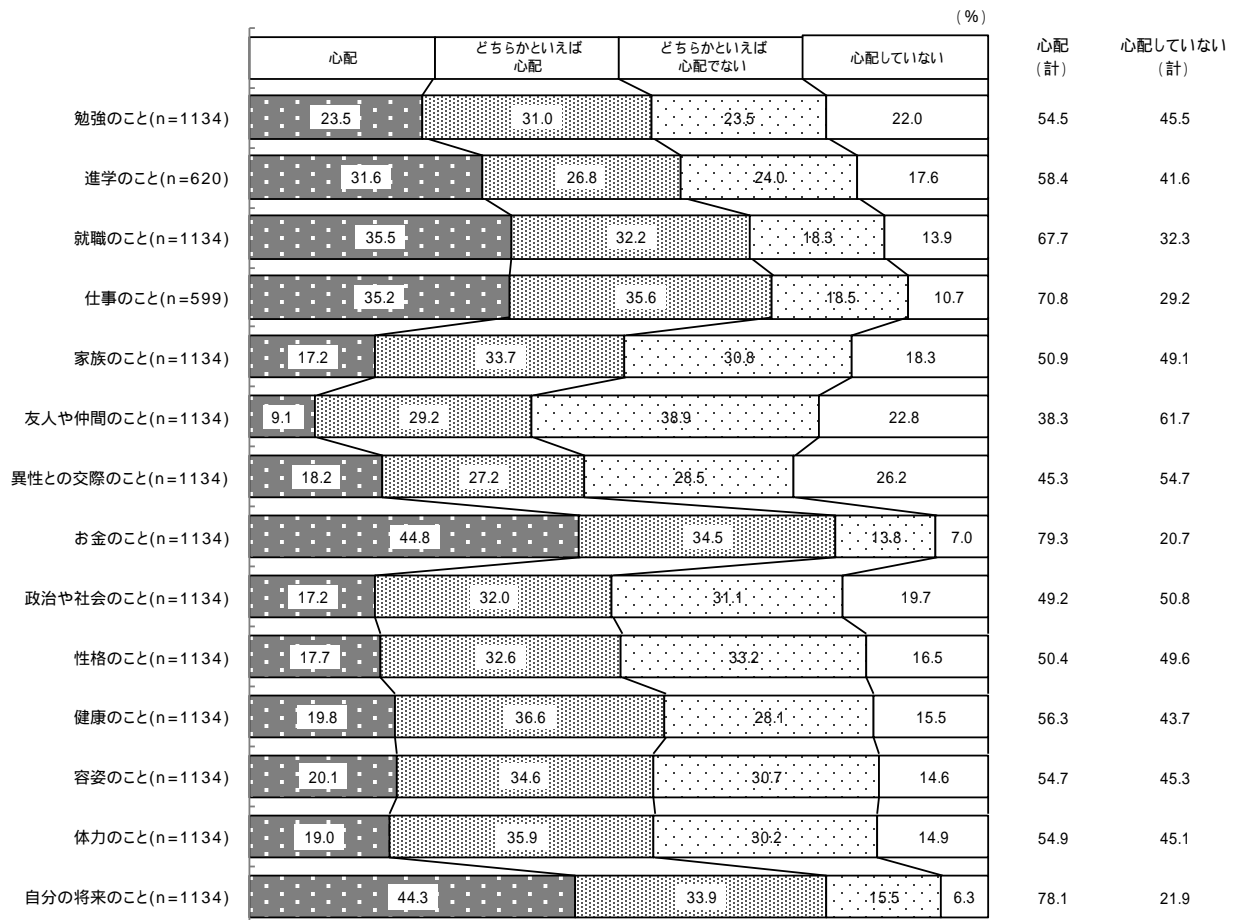
なお、いずれも決定係数の値が低いため、参考値とする。

## 2 悩みや心配事

### (1) 悩みや心配事の有無

Q4 現在のあなたの悩みや心配ごとについてうかがいます。あなたは、以下のそれぞれについて、どれくらい心配ですか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。  
(回答はそれぞれ1つずつ)

現在の悩みや心配事の有無を日本の若者に聞いたところ、『心配』(「心配」と「どちらかといえば心配」の合計)と答えた割合は「お金のこと」(79.3%)が最も高い。次いで、「自分の将来のこと」(78.1%)、「仕事のこと」(70.8%)となっている。一方、『心配』と答えた割合が低いのは「友人や仲間のこと」(38.3%)である。

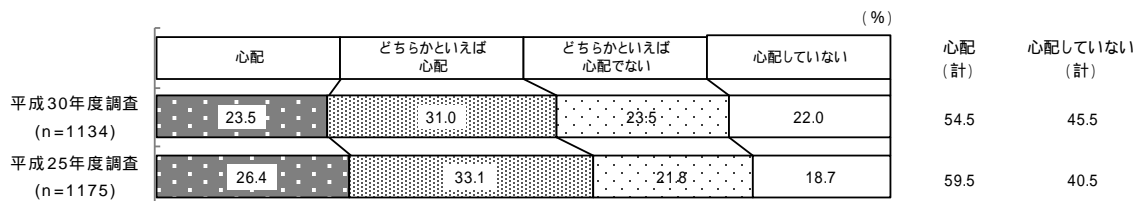


「進学のこと」は在学中の人が対象

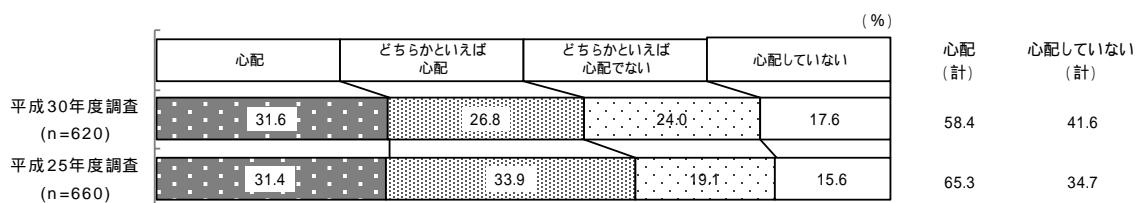
「仕事のこと」は就労者が対象

日本について平成 25 年度調査と比較すると、『心配』と答えた割合は、「進学のこと」で 6.9 ポイント、「勉強のこと」で 5.0 ポイント低くなっている。

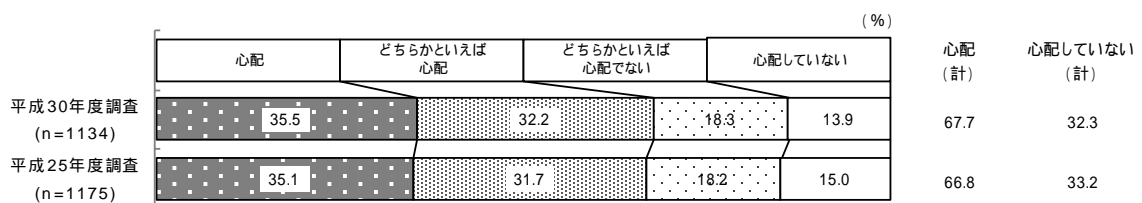
#### Q4 (a) 勉強のこと



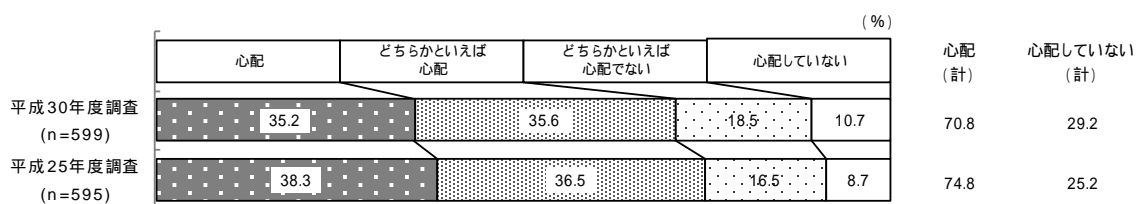
#### Q4 (b) 進学のこと



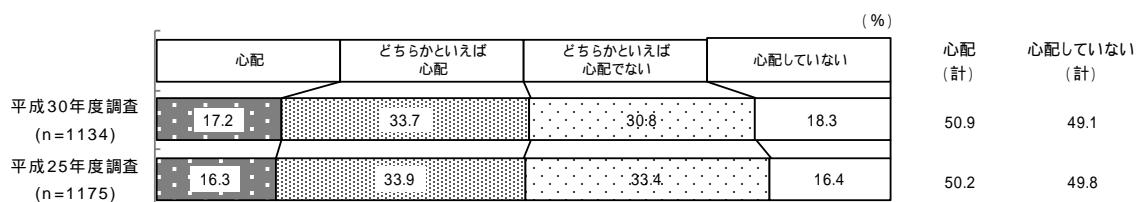
#### Q4 (c) 就職のこと



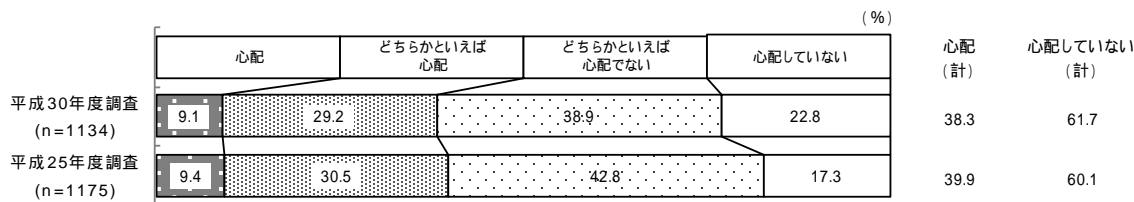
#### Q4 (d) 仕事のこと



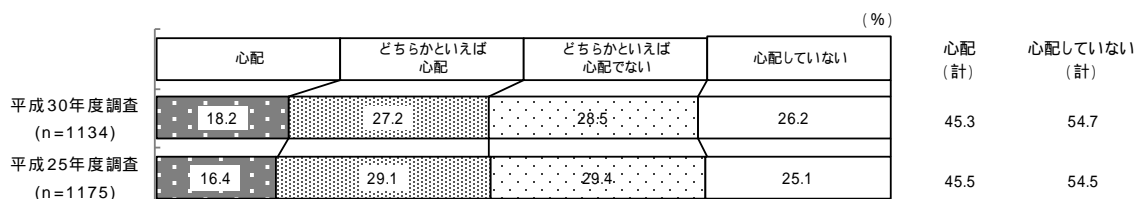
#### Q4 (e) 家族のこと



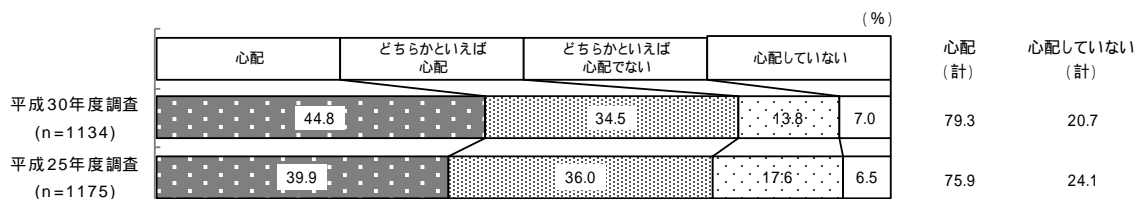
### Q4 (f) 友人や仲間のこと



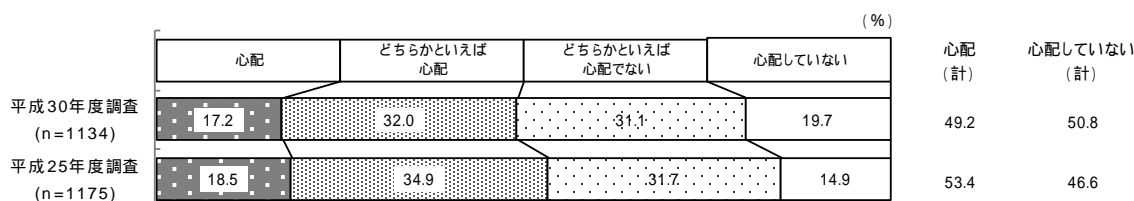
### Q4 (g) 異性との交際のこと



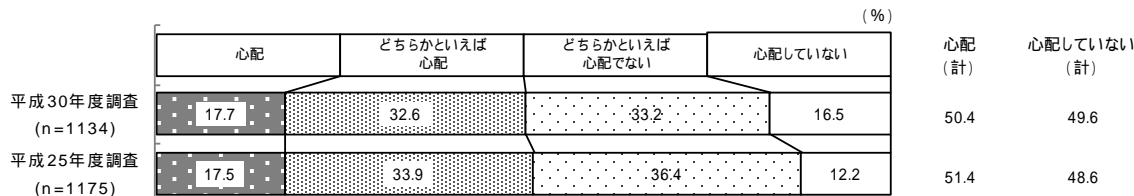
### Q4 (h) お金のこと



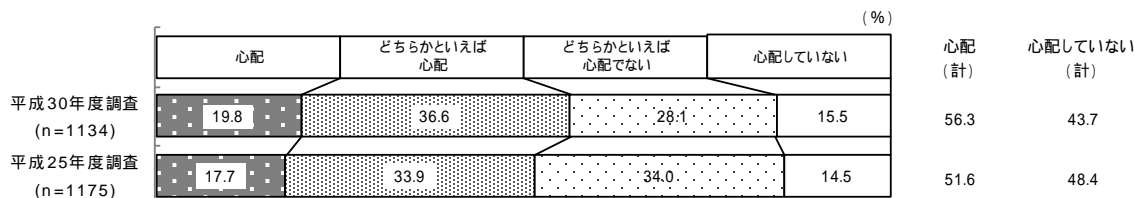
### Q4 (i) 政治や社会のこと



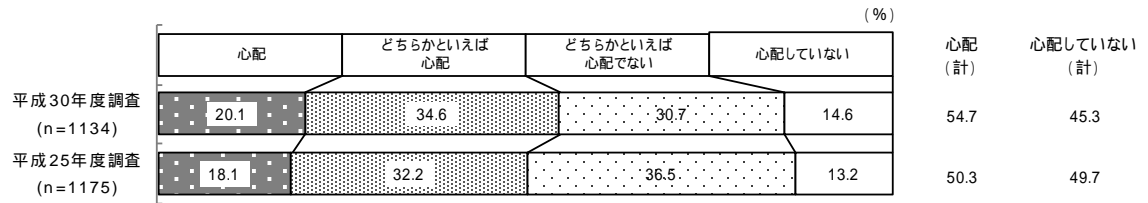
### Q4 (j) 性格のこと



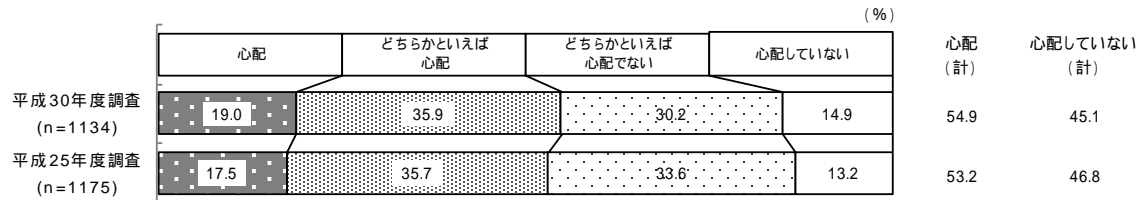
### Q4 (k) 健康のこと



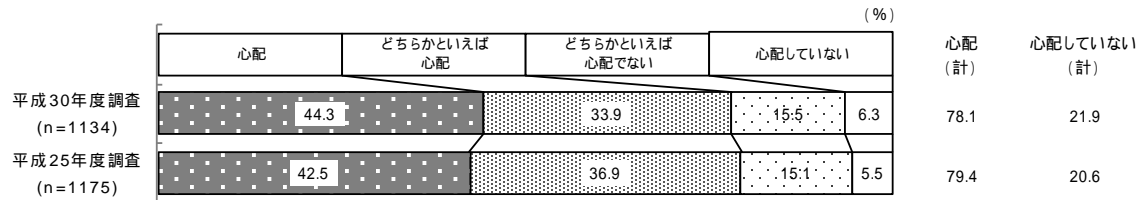
### Q4 (l) 容姿のこと



### Q4 (m) 体力のこと



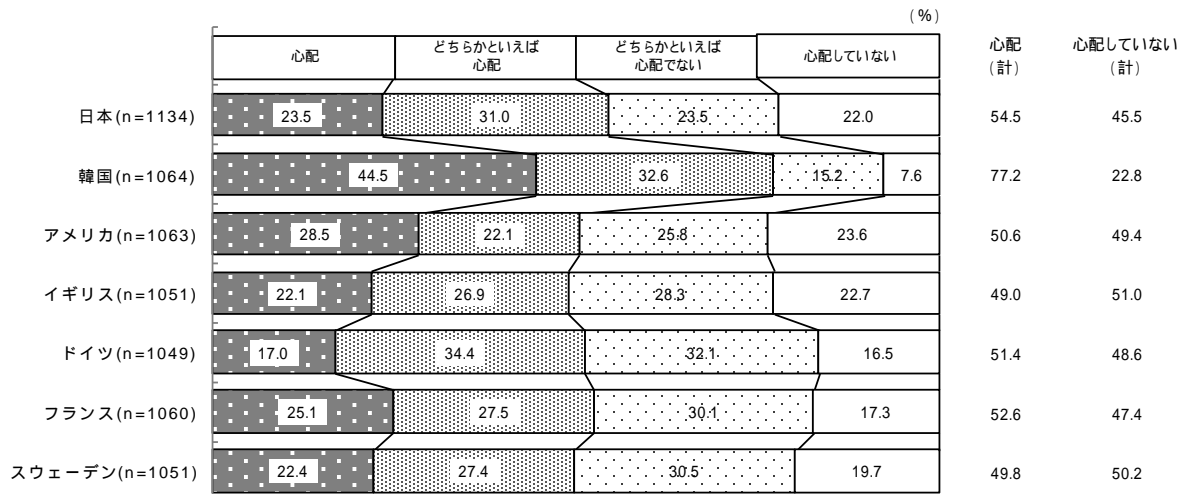
### Q4 (n) 自分の将来のこと



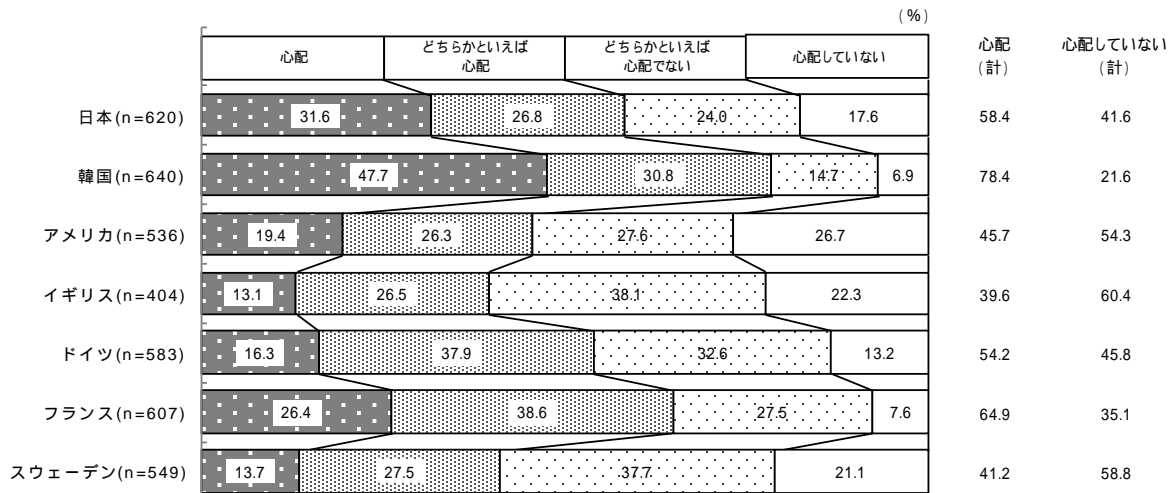


【国別】

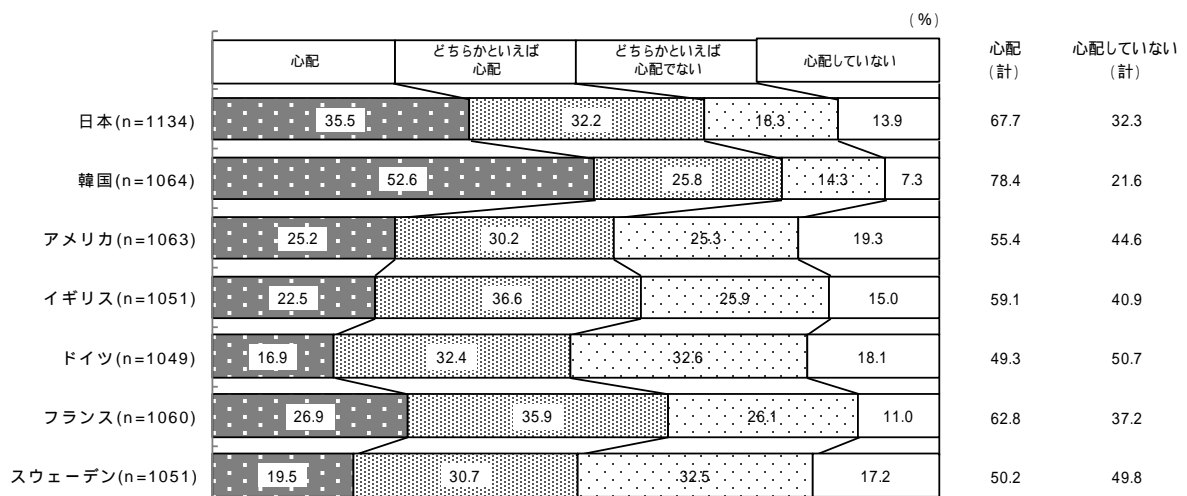
Q4 (a) 勉強のこと



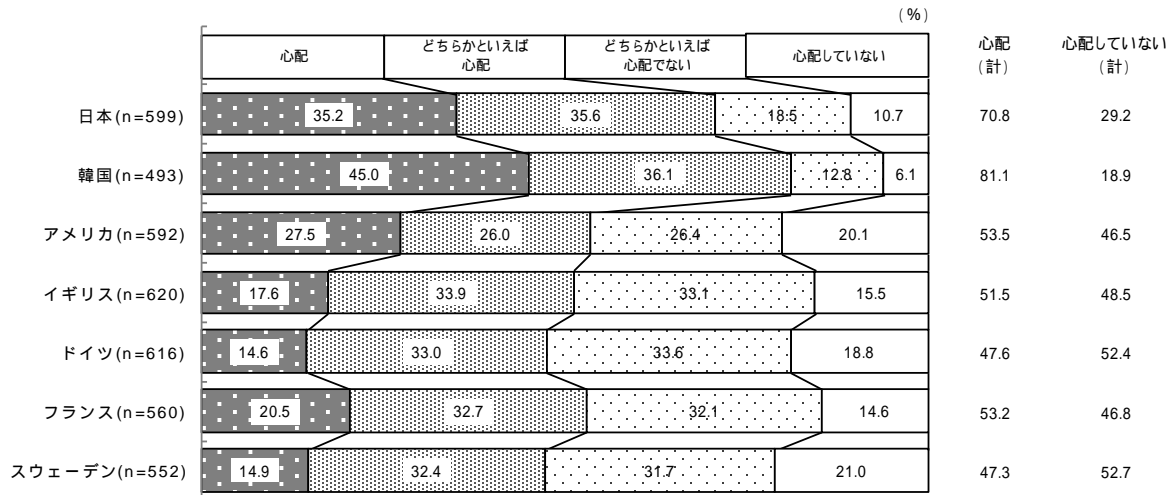
Q4 (b) 進学のこと



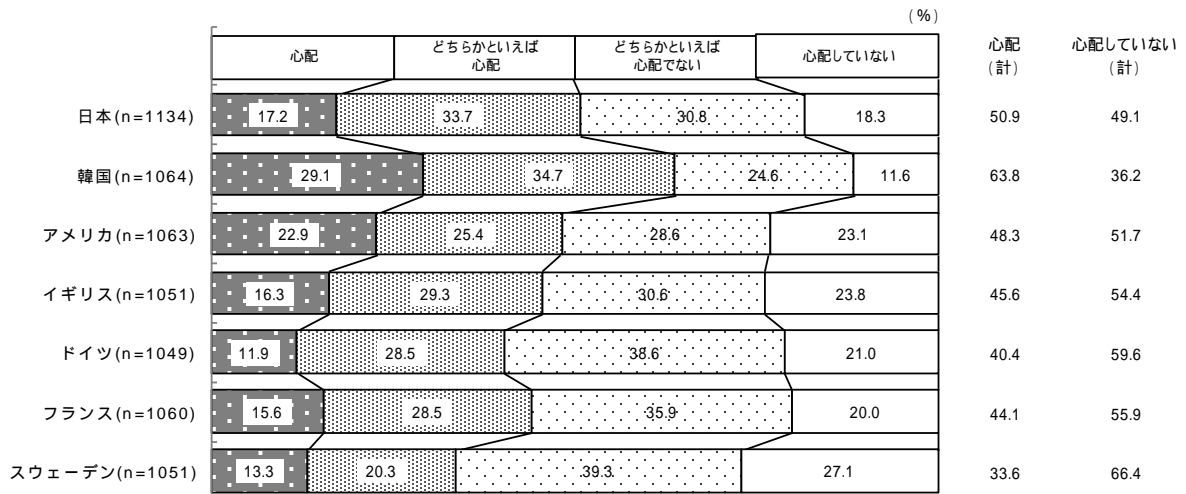
Q4 (c) 就職のこと



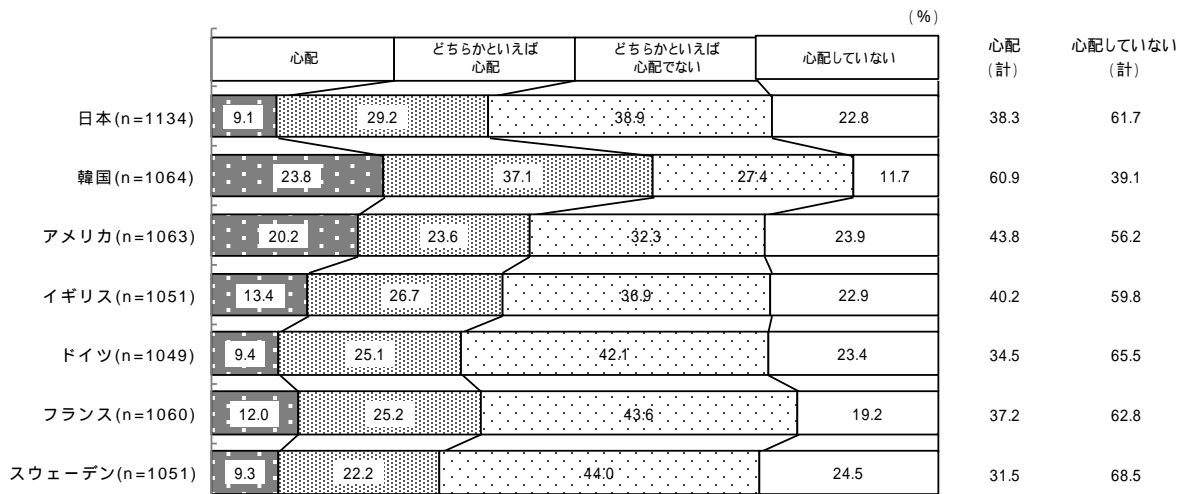
### Q4 (d) 仕事のこと



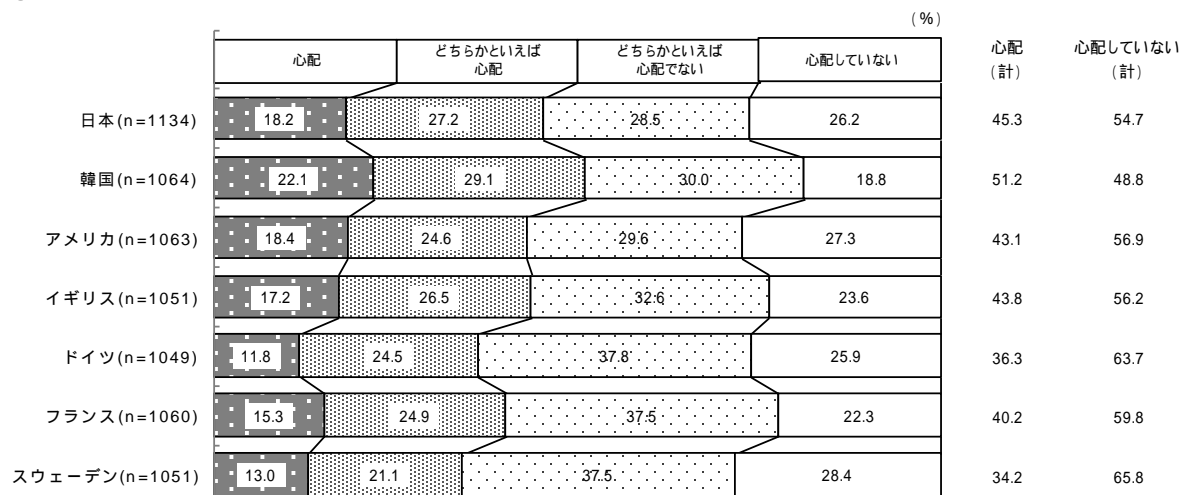
### Q4 (e) 家族のこと



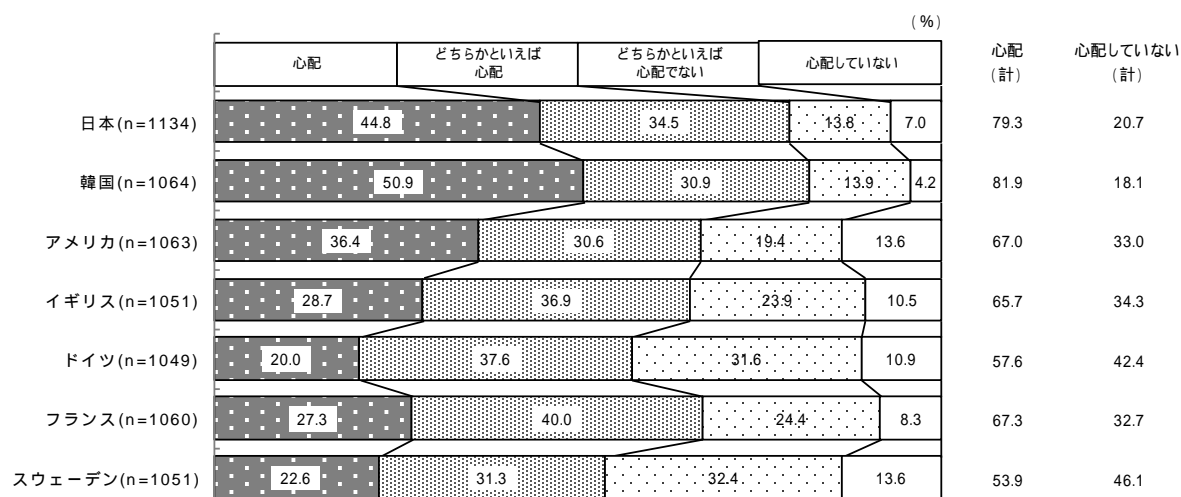
### Q4 (f) 友人や仲間のこと



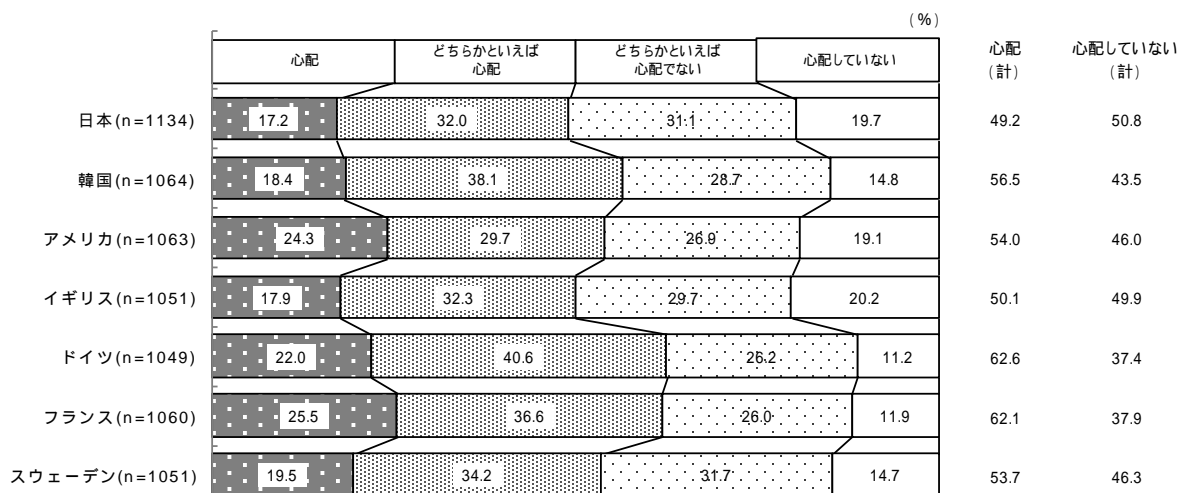
### Q4 (g) 異性との交際のこと



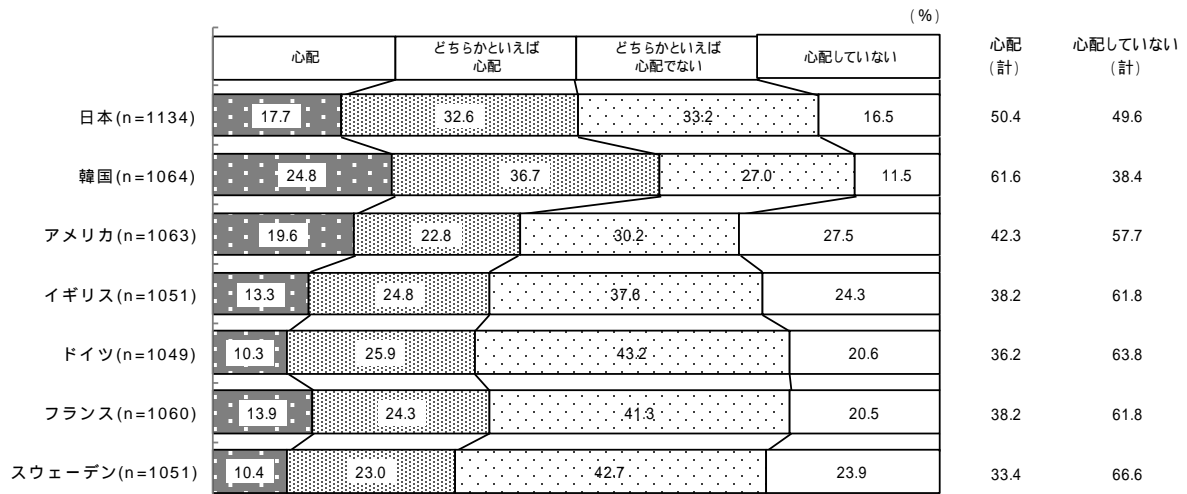
### Q4 (h) お金のこと



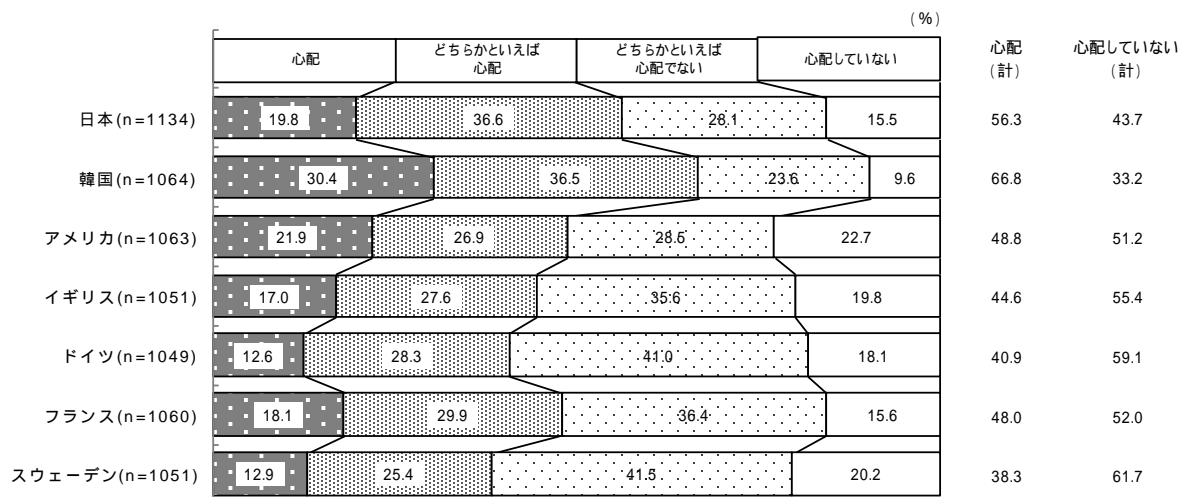
### Q4 (i) 政治や社会のこと



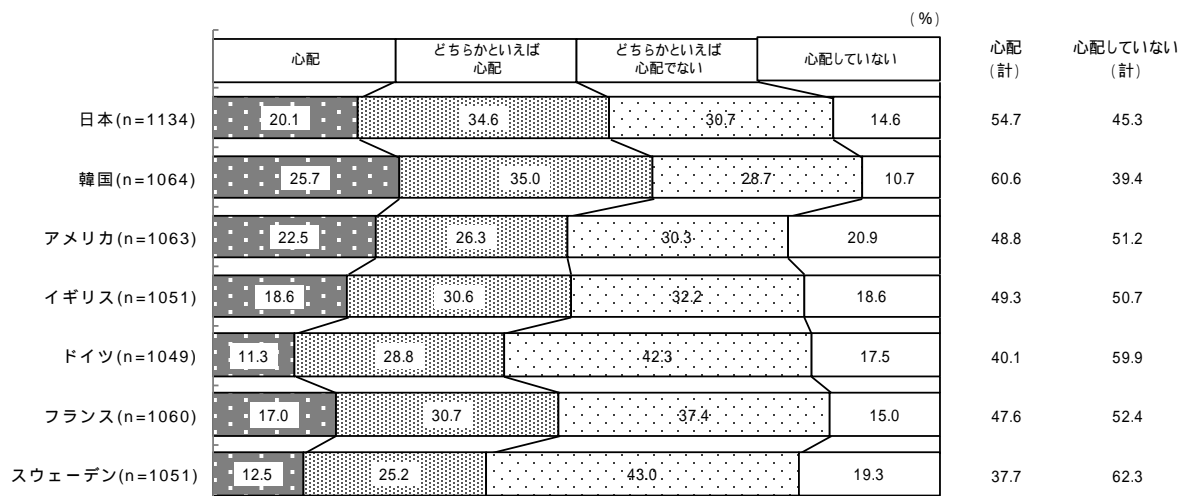
### Q4 (j) 性格のこと



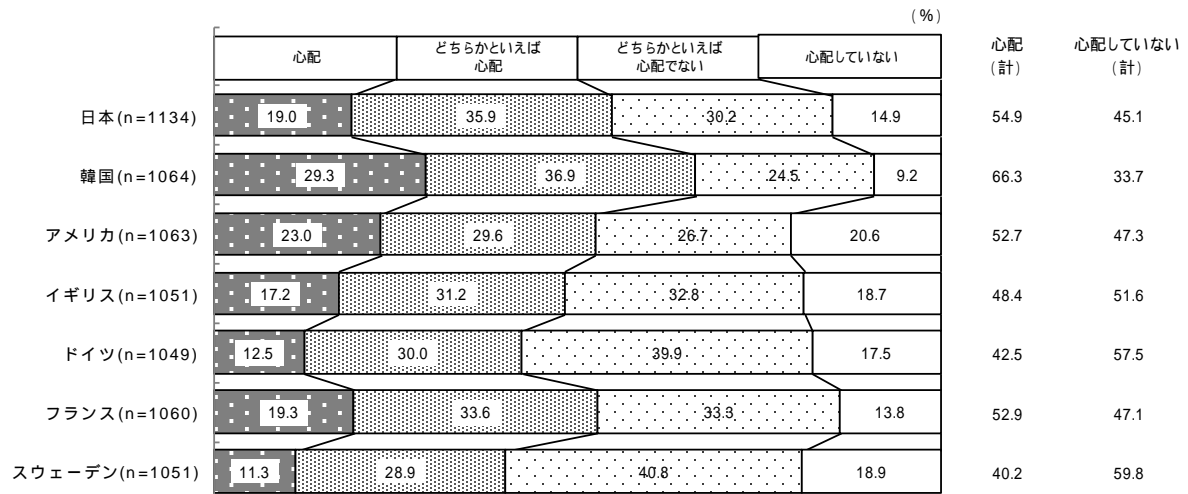
### Q4 (k) 健康のこと



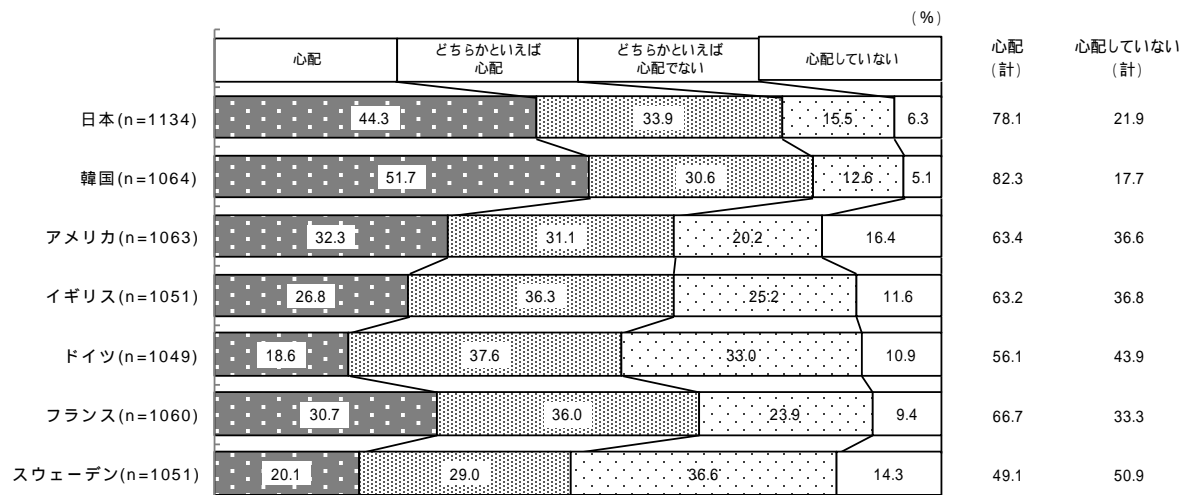
### Q4 (l) 容姿のこと



### Q4 (m) 体力のこと



### Q4 (n) 自分の将来のこと



## (2) 悩みや心配事の相談相手

Q5 あなたは、悩みや心配ごとがあった場合、だれに相談したいと思いますか。この中からあてはまるものを、いくつでも選んでください。(回答はいくつでも)

悩みや心配事の相談相手について日本の若者に聞いたところ、「母」(46.4%)が最も高く、次いで、「近所や学校の友だち」(31.8%)、「父」(21.3%)、「きょうだい」(14.6%)となっている。「だれにも相談しない」は19.9%である。

7か国比較で見ると、日本以外の6か国も「母」「父」「きょうだい」といった家族が相談相手となっている割合が高い。ただし、「父」は日本では21.3%に対し、日本以外の6か国は3割～3割半程度と差がある。

他の相談相手としては、「近所や学校の友だち」(韓国31.7%、ドイツ27.2%)、「恋人」(韓国19.4%、アメリカ19.0%、イギリス17.5%)、「配偶者」(ドイツ20.7%、スウェーデン18.7%、フランス16.8%)が上位に挙げられている。また、スウェーデン、アメリカ、イギリスでは「SNS上の友だち・知人(実際に会ったことがある)」(スウェーデン23.8%、アメリカ22.8%、イギリス21.6%)が2割台である。

なお、「だれにも相談しない」は日本が19.9%であるのに対し、日本以外の6か国では概ね1割前後である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「近所や学校の友だち」で6.2ポイント低くなっている。

	日本 (n=1,134)	韓国 (n=1,064)	アメリカ (n=1,063)	イギリス (n=1,051)	ドイツ (n=1,049)	フランス (n=1,060)	スウェーデン (n=1,051)	平成25年度調査 (n=1,175)
父	21.3	28.1	35.3	34.5	36.5	30.4	37.5	20.7
母	46.4	44.6	51.6	52.2	53.8	50.5	54.2	47.3
きょうだい	14.6	23.9	22.2	18.9	24.4	25.7	27.4	17.5
祖父母・親類	3.4	3.4	16.1	10.6	11.3	12.2	10.5	3.7
配偶者	9.0	3.9	13.2	10.7	20.7	16.8	18.7	8.5
先生	5.9	14.7	6.8	7.9	3.5	5.0	7.2	7.7
近所や学校の友だち	31.8	31.7	13.2	10.8	27.2	8.1	8.3	38.0
SNS上の友だち・知人 (実際に会ったことがある)	6.3	10.2	22.8	21.6	15.9	15.9	23.8	
SNS上の友だち・知人 (実際に会ったことはない)	5.5	5.1	8.3	5.6	5.7	9.8	7.3	
職場の同僚	3.7	6.9	5.4	6.7	5.6	3.9	6.8	7.2
団体・グループなどの 仲間	3.5	5.7	7.1	4.4	3.7	4.5	3.4	7.1
学校の先輩	4.4	9.8	2.7	3.0	1.9	3.1	2.4	5.5
職場の上役や先輩	2.1	4.4	2.1	2.9	1.8	2.0	1.9	3.7
恋人	11.5	19.4	19.0	17.5	15.8	10.5	9.8	11.6
カウンセラー、相談員	5.3	5.7	8.4	4.9	2.3	5.2	8.7	3.7
宗教関係者	0.4	3.0	5.1	2.2	3.0	1.5	2.9	0.6
テレビ番組・ラジオ番組	0.2	1.2	3.5	2.6	1.3	0.5	3.1	0.4
インターネットのサイト	2.3	4.9	5.9	5.4	2.8	1.6	8.0	4.1
雑誌	-	0.2	1.7	1.4	1.0	0.7	1.8	-
その他	1.4	3.4	2.1	1.3	2.4	1.8	3.8	2.0
だれにも相談しない	19.9	12.2	7.5	8.9	8.8	10.8	6.9	15.7
わからない	6.1	4.2	4.2	3.2	2.2	3.1	3.3	8.3

(%)

「SNS上の友だち・知人（実際に会ったことがある）」「SNS上の友だち・知人（実際に会ったことはない）」は平成30年度調査からの新規項目のため、平成25年度調査との比較はない

### 3 将来像

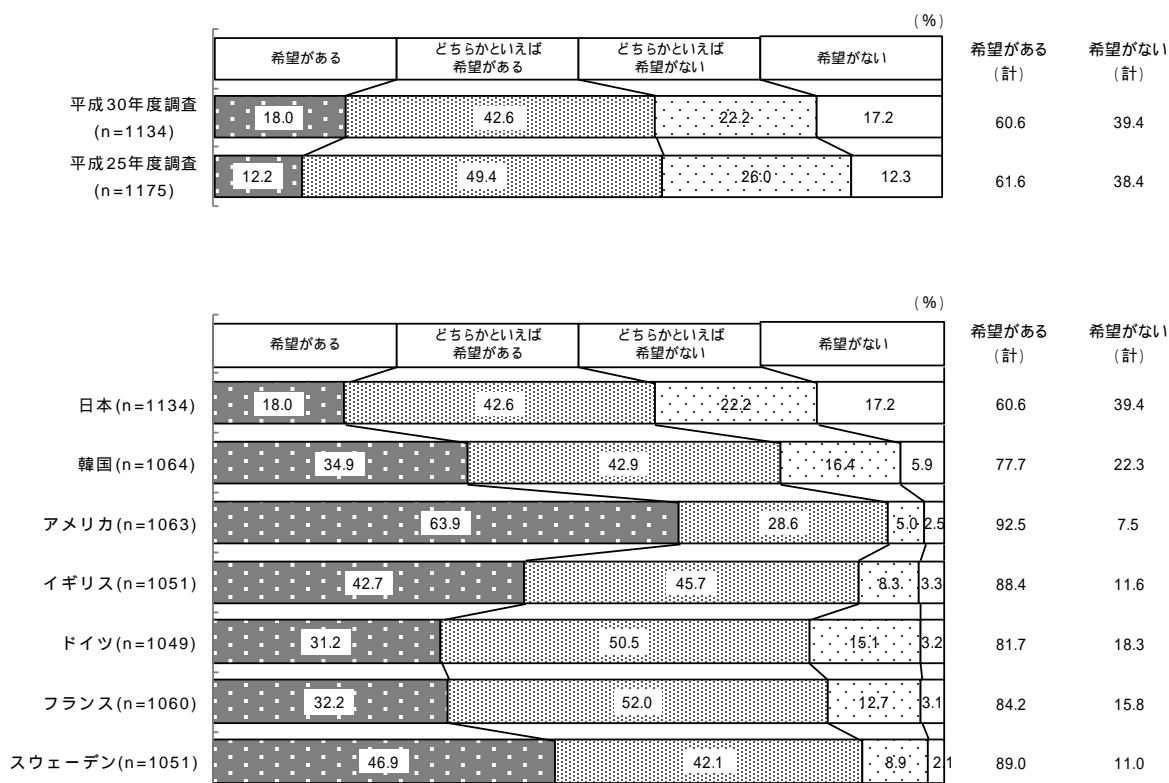
#### (1) 将来への希望

Q6 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

将来への希望を日本の若者に聞いたところ、『希望がある』(「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の合計)と答えた割合は60.6%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較で見ると、『希望がある』と答えた割合が最も高いのはアメリカ(92.5%)で、次いでスウェーデン(89.0%)、イギリス(88.4%)、フランス(84.2%)、ドイツ(81.7%)、韓国(77.7%)、日本(60.6%)となっている。

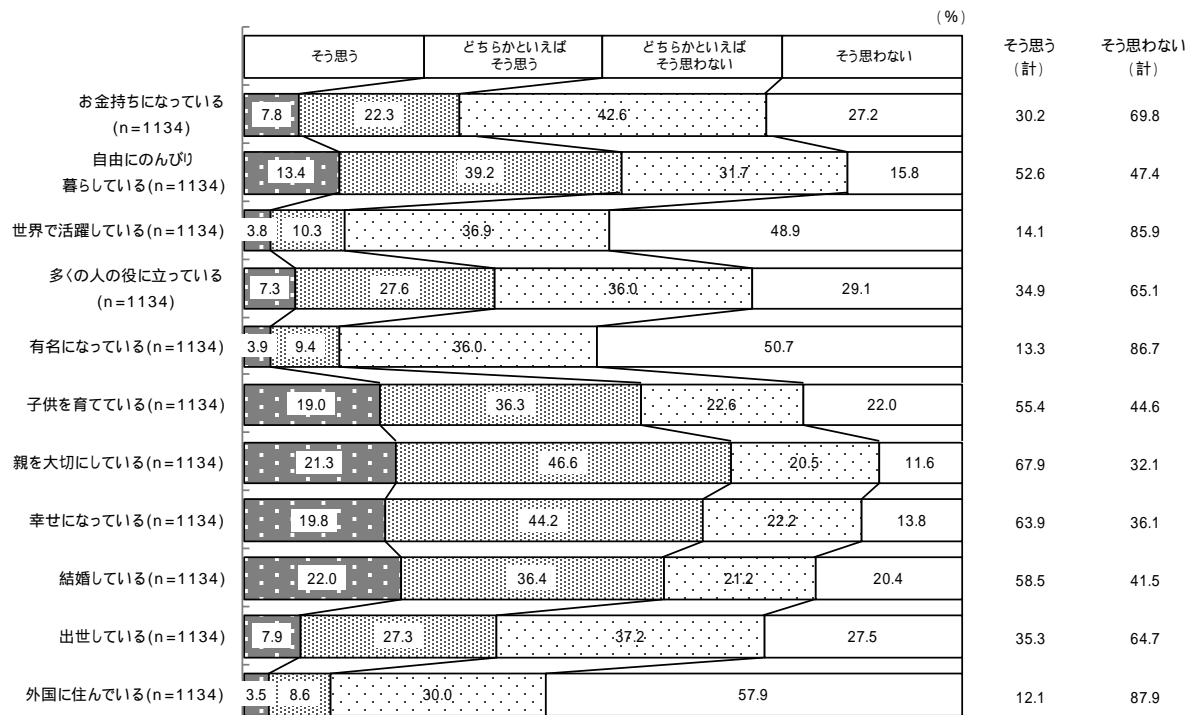




(2) 将来イメージ

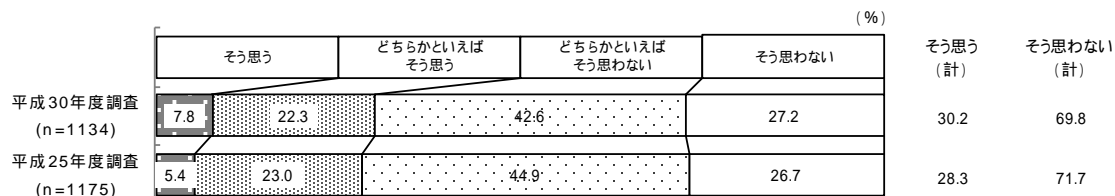
Q7 あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

将来のイメージを日本の若者に聞いたところ、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と答えた割合は「親を大切にしている」(67.9%)が最も高い。次いで、「幸せになっている」(63.9%)、「結婚している」(58.5%)となっている。

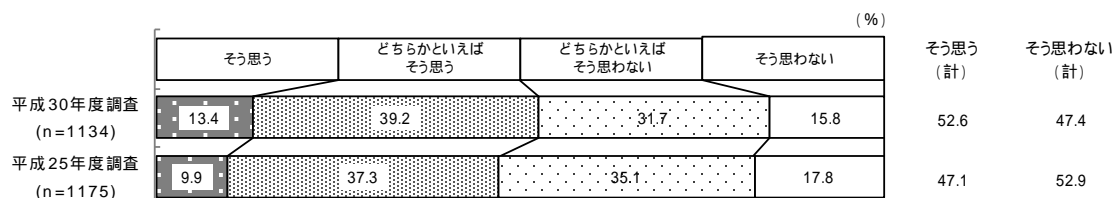


日本について平成25年度調査と比較すると、「自由にのんびり暮らしている」では『そう思う』と答えた割合が5.5ポイント高くなっている。一方、「結婚している」では6.5ポイント、「子供を育てている」では6.3ポイント低くなっている。

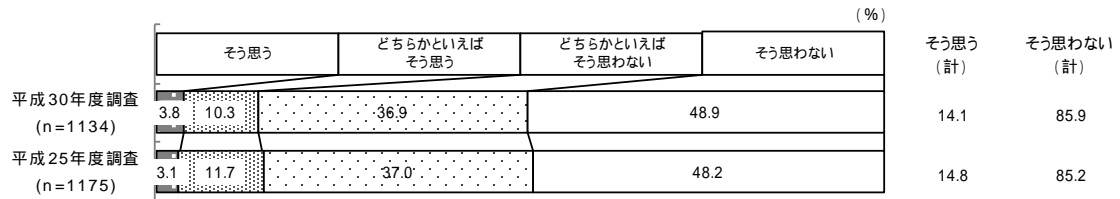
Q7(a) お金持ちになっている



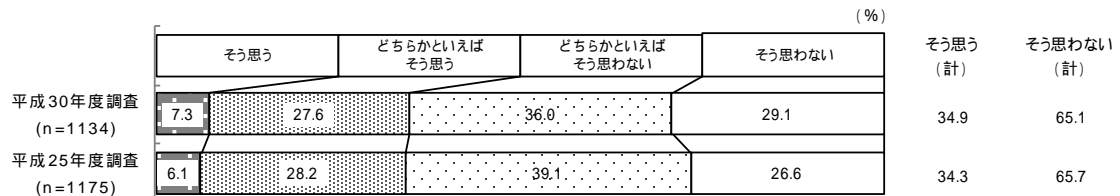
Q7(b) 自由にのんびり暮らしている



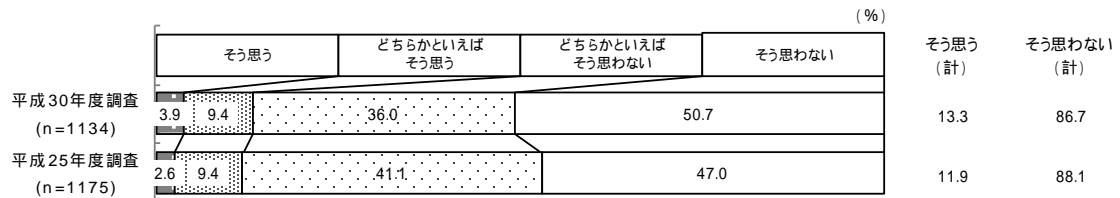
### Q7(c) 世界で活躍している



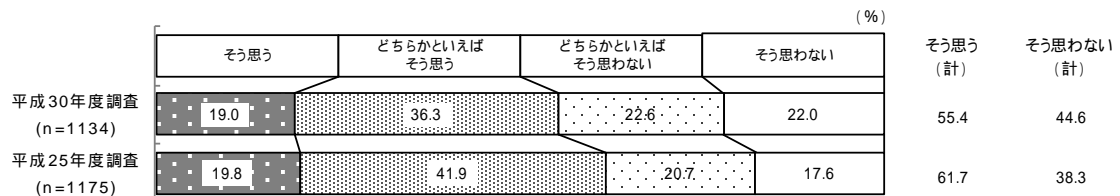
### Q7(d) 多くの人の役に立っている



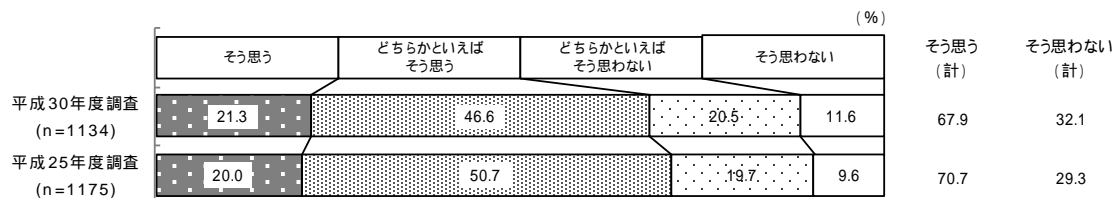
### Q7(e) 有名になっている



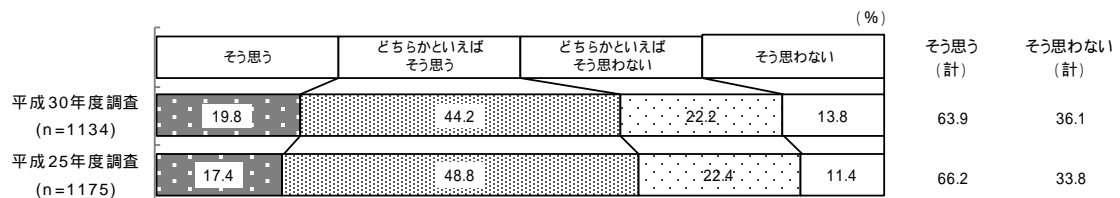
### Q7(f) 子供を育てている



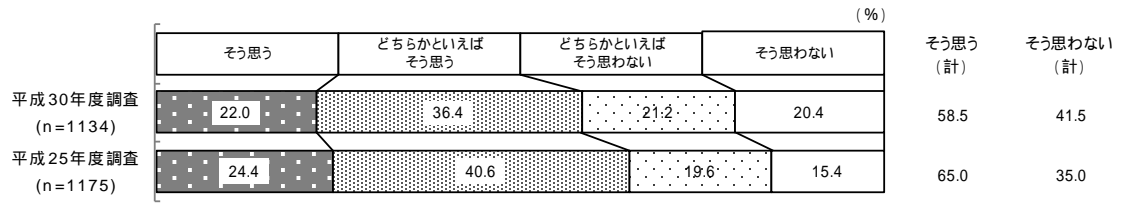
### Q7(g) 親を大切にしている



### Q7(h) 幸せになっている



Q7(i) 結婚している



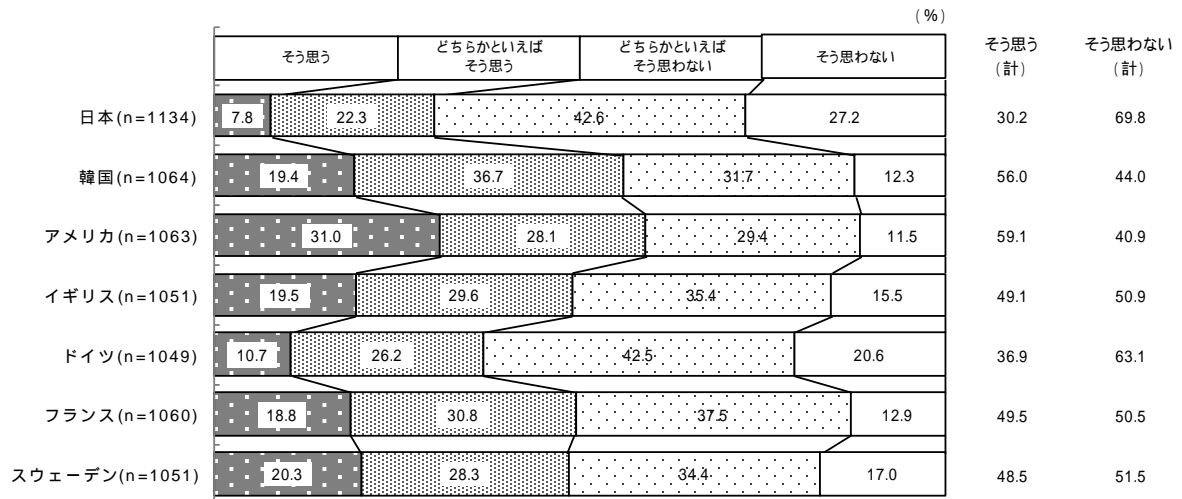
Q7(j) 出世している



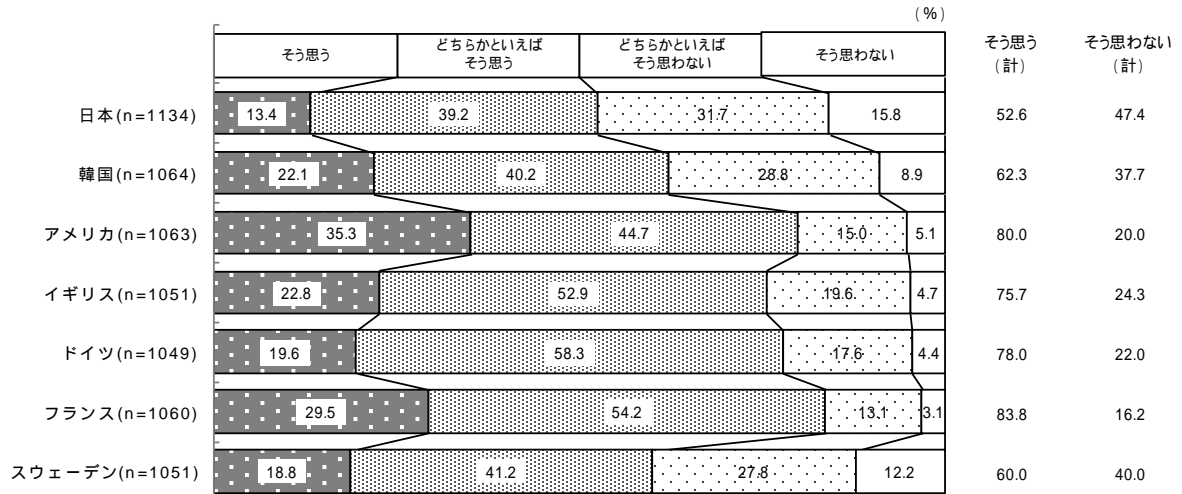
「Q7(k) 外国に住んでいる」は平成30年度調査からの新規項目のため、平成25年度調査との比較はない

【国別】

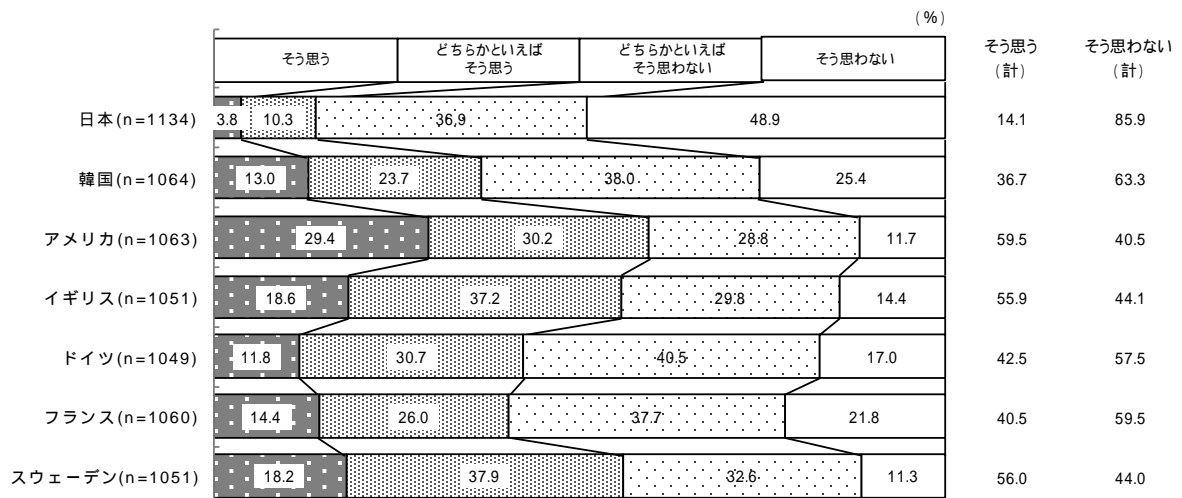
Q7(a) お金持ちになっている



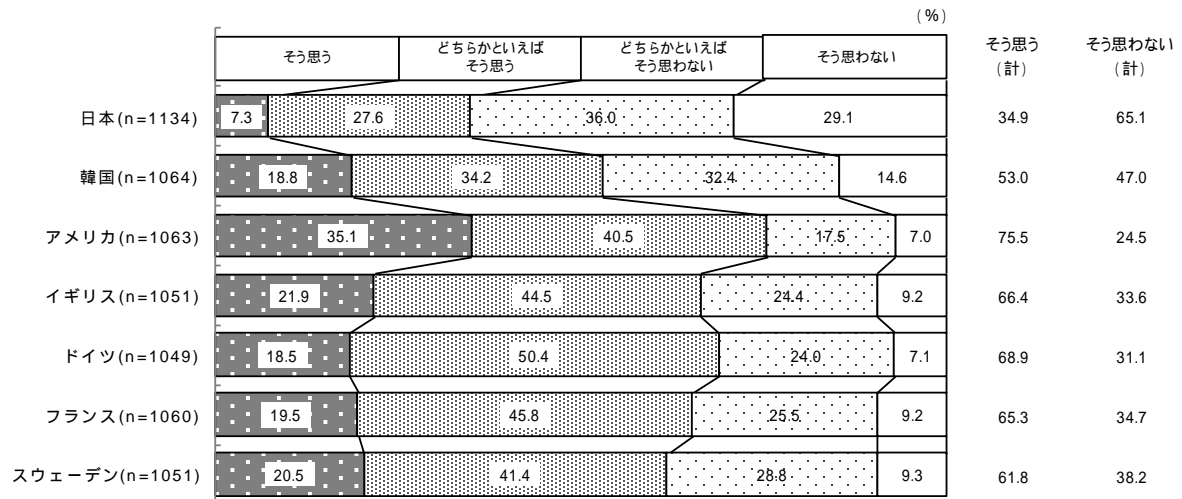
Q7(b) 自由にのんびり暮らしている



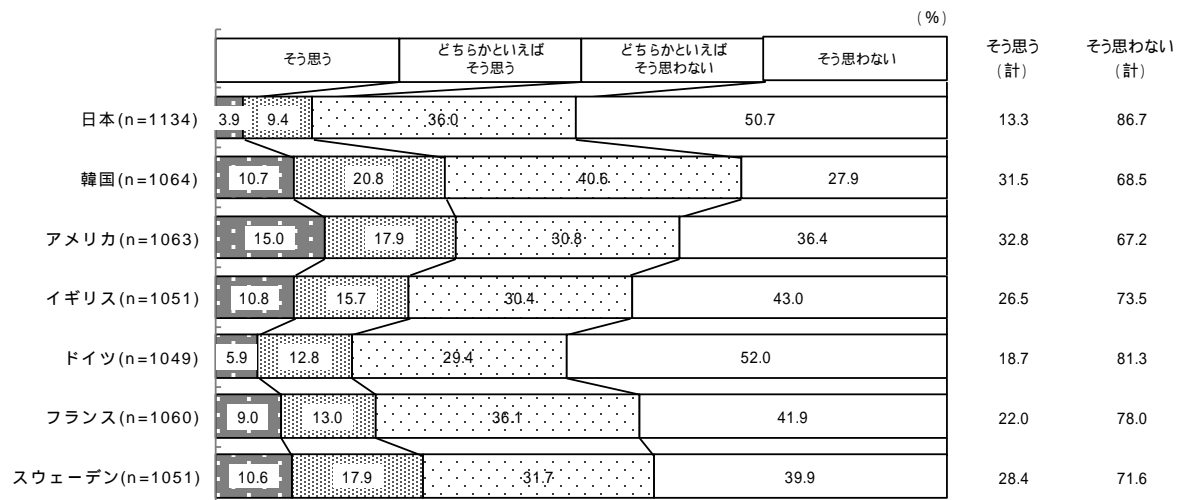
Q7(c) 世界で活躍している



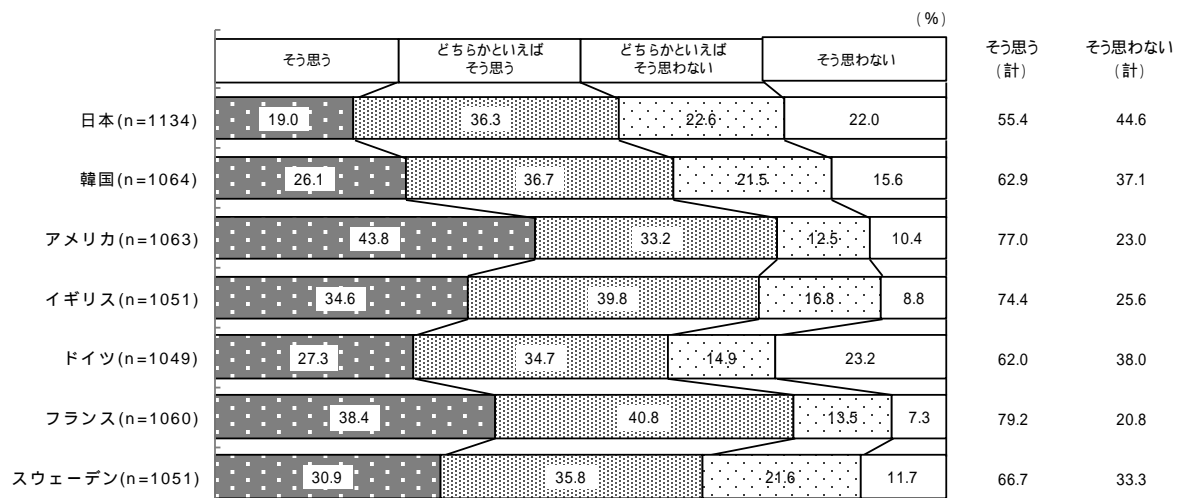
Q7 (d) 多くの人の役に立っている



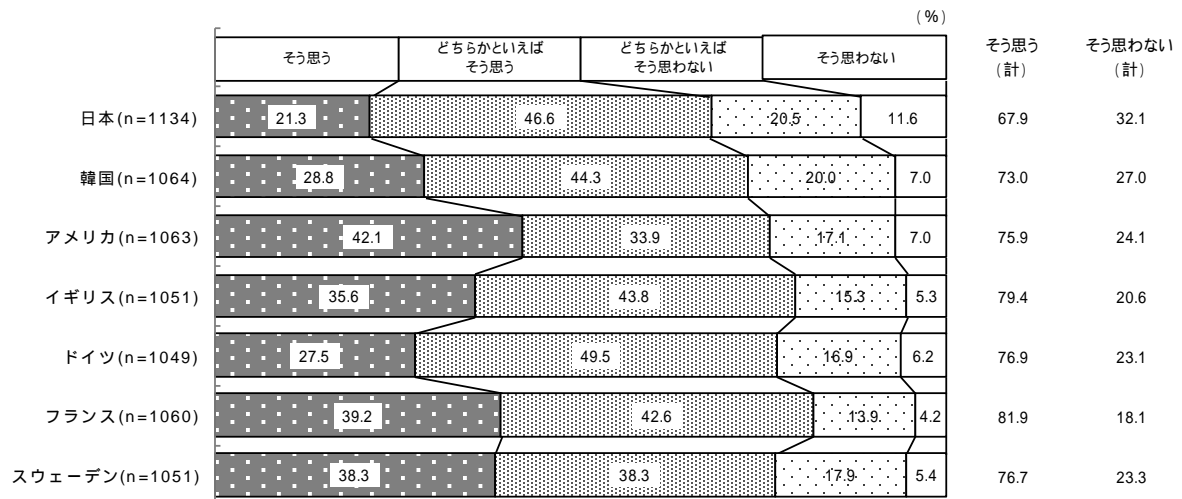
Q7 (e) 有名になっている



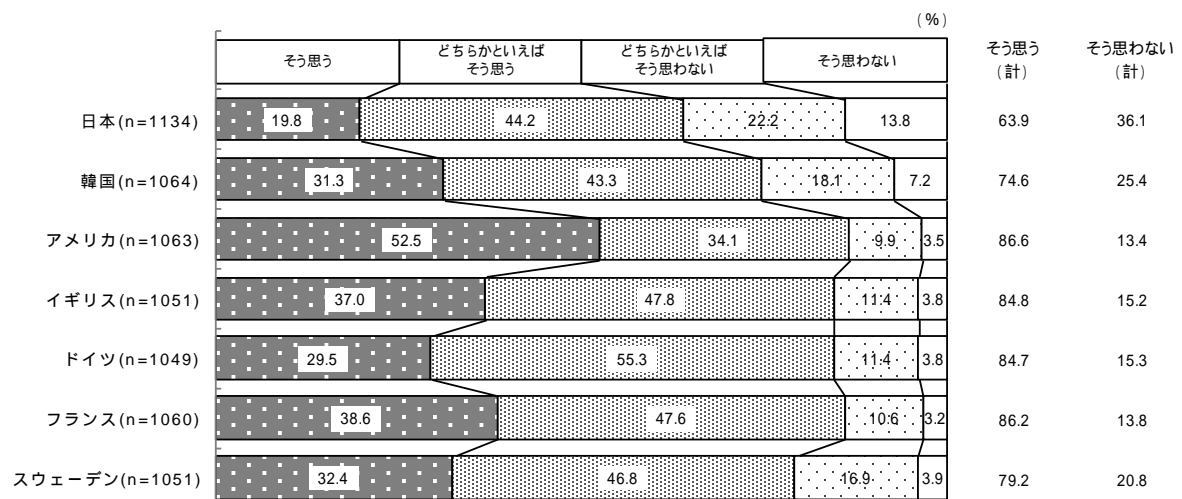
Q7 (f) 子供を育てている



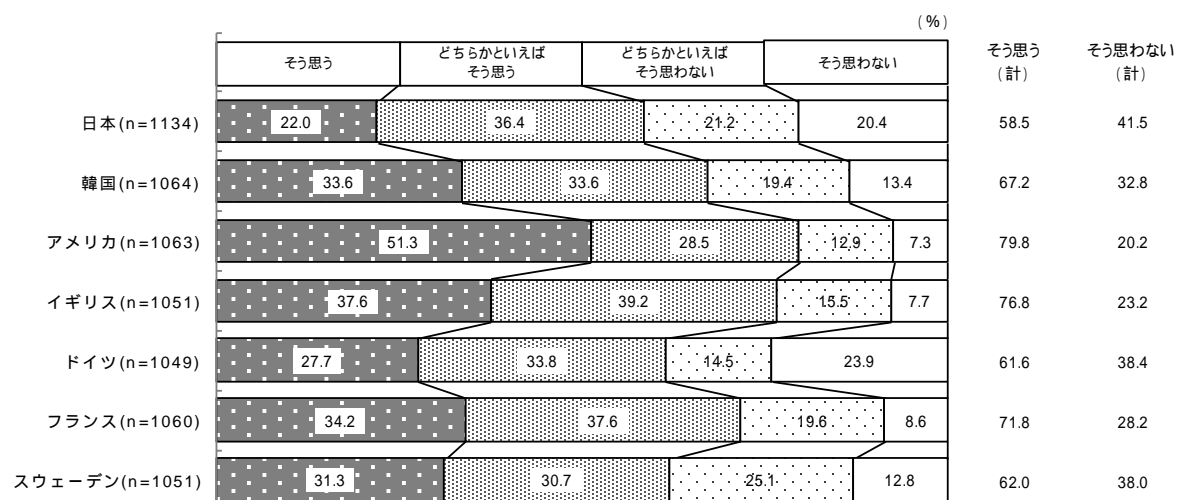
### Q7 (g) 親を大切にしている



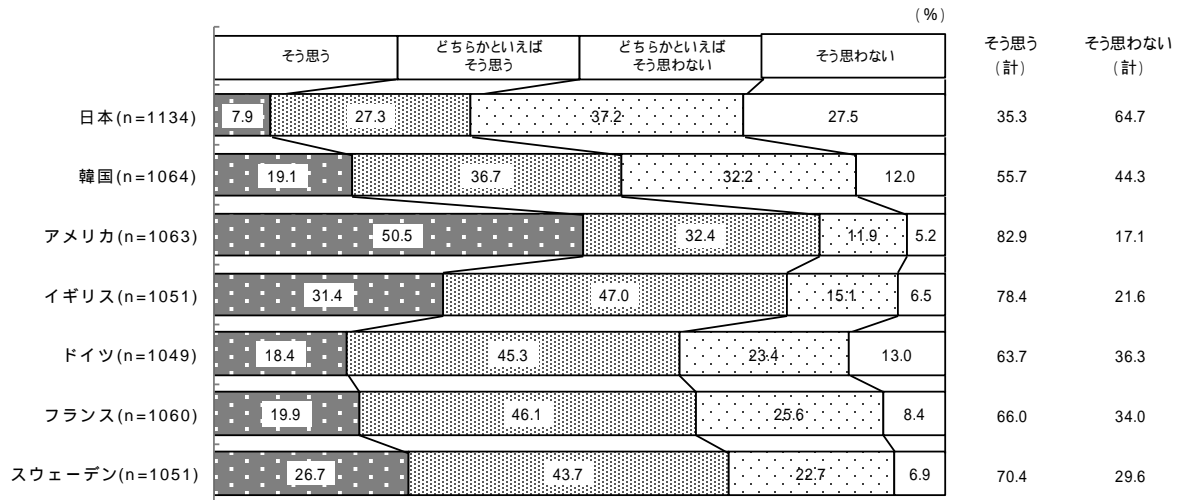
### Q7 (h) 幸せになっている



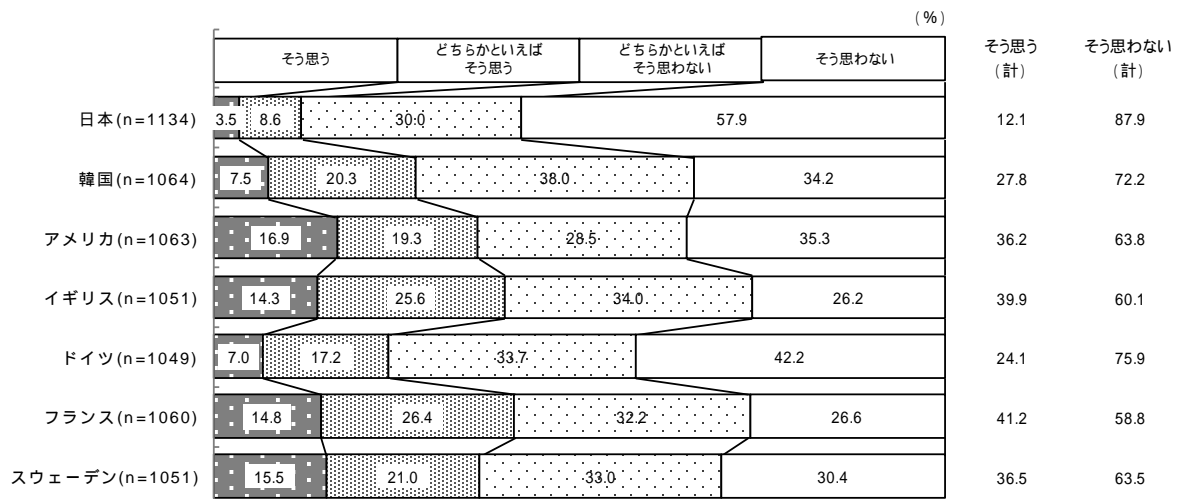
### Q7 (i) 結婚している



### Q7(j) 出世している



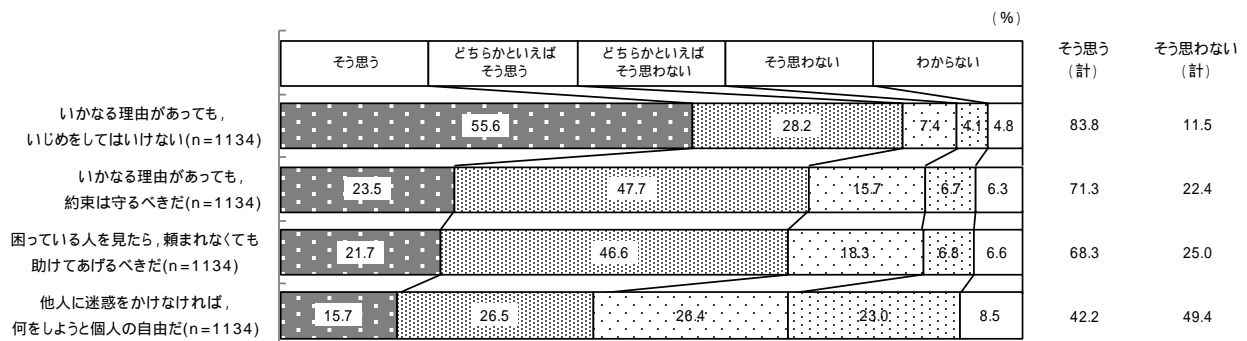
### Q7(k) 外国に住んでいる



#### 4 社会規範

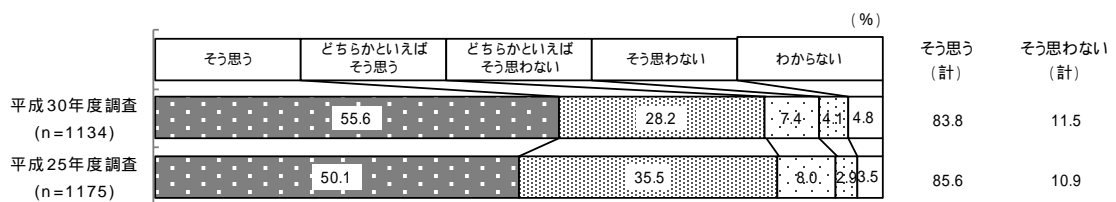
Q8 あなたは次のことについてどう思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。  
(回答はそれぞれ1つずつ)

社会規範について日本の若者に聞いたところ、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と答えた割合は「いかなる理由があっても、いじめをしてはいけない」(83.8%)が最も高い。次いで、「いかなる理由があっても、約束は守るべきだ」(71.3%)、「困っている人を見たら、頼まれなくても助けてあげるべきだ」(68.3%)、「他人に迷惑をかけなければ、何をしようとする個人の自由だ」(42.2%)となっている。

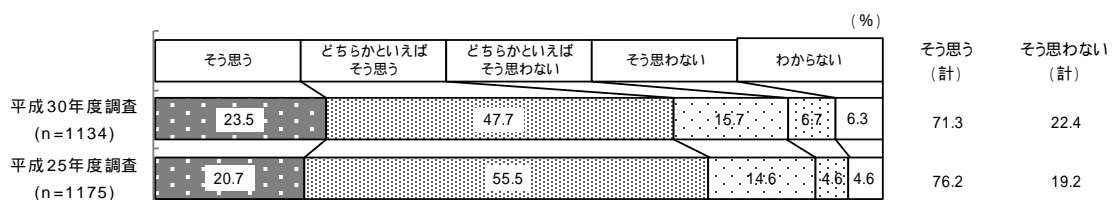


日本について平成25年度調査と比較すると、「困っている人を見たら、頼まれなくても助けてあげるべきだ」では『そう思う』と答えた割合が5.7ポイント低くなっている。

#### Q8(a) いかなる理由があっても、いじめをしてはいけない

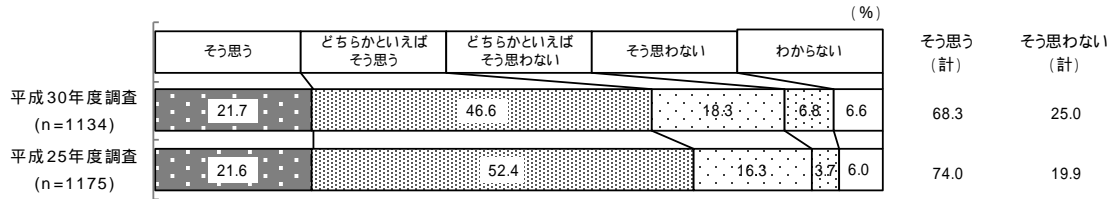


#### Q8(b) いかなる理由があっても、約束は守るべきだ

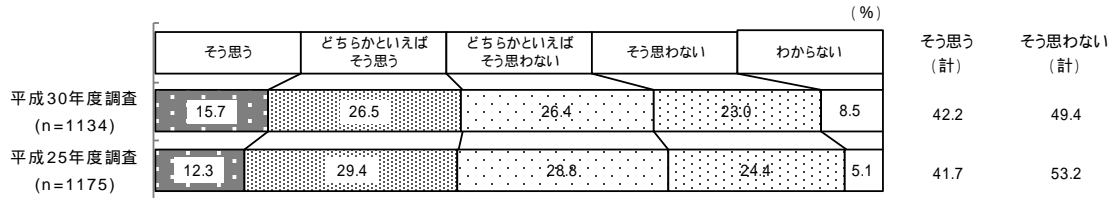




Q8(c) 困っている人を見たら、頼まれなくても助けてあげるべきだ

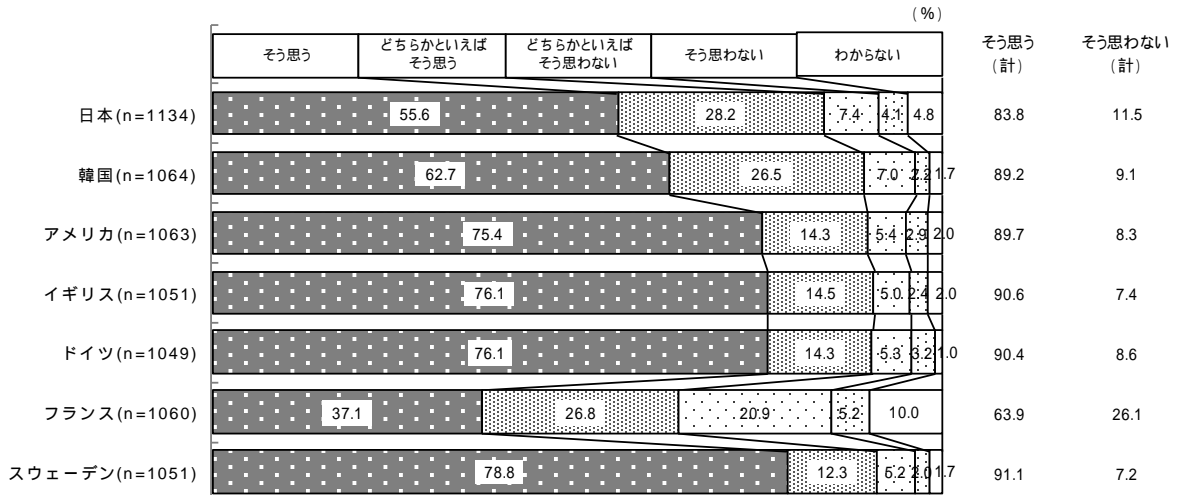


Q8(d) 他人に迷惑をかけなければ、何をしようと個人の自由だ

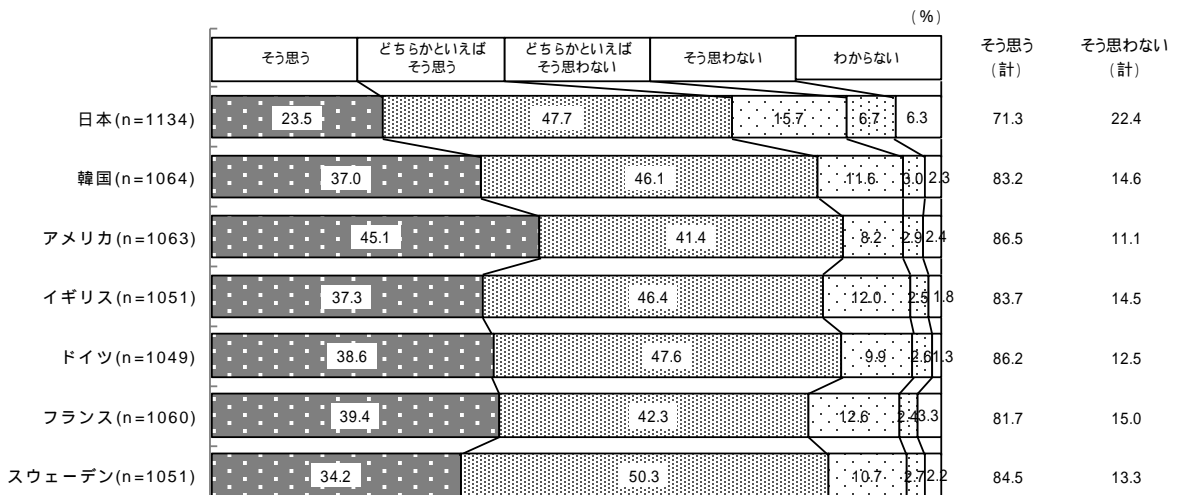


【国別】

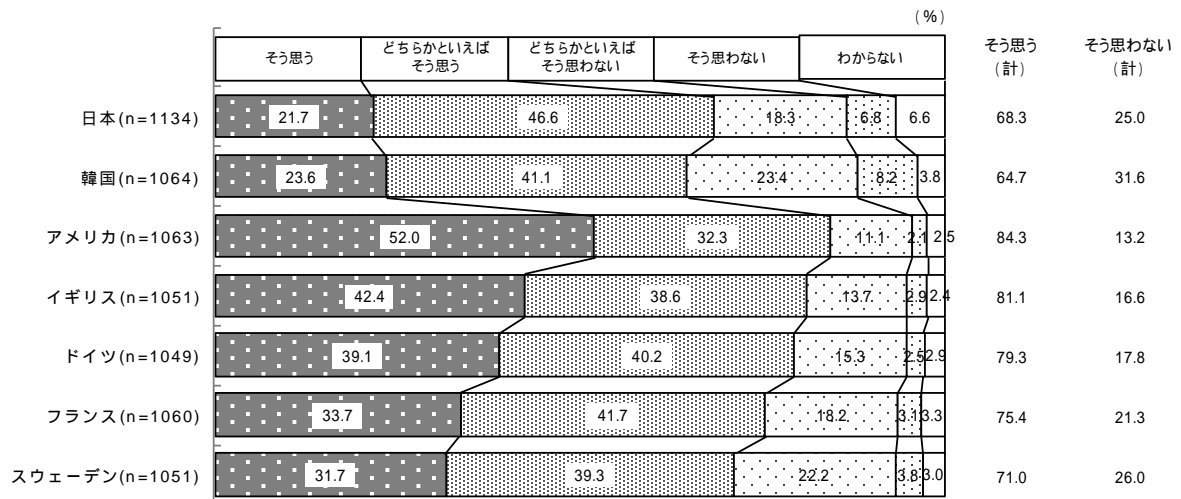
Q8(a) いかなる理由があっても、いじめをしてはいけない



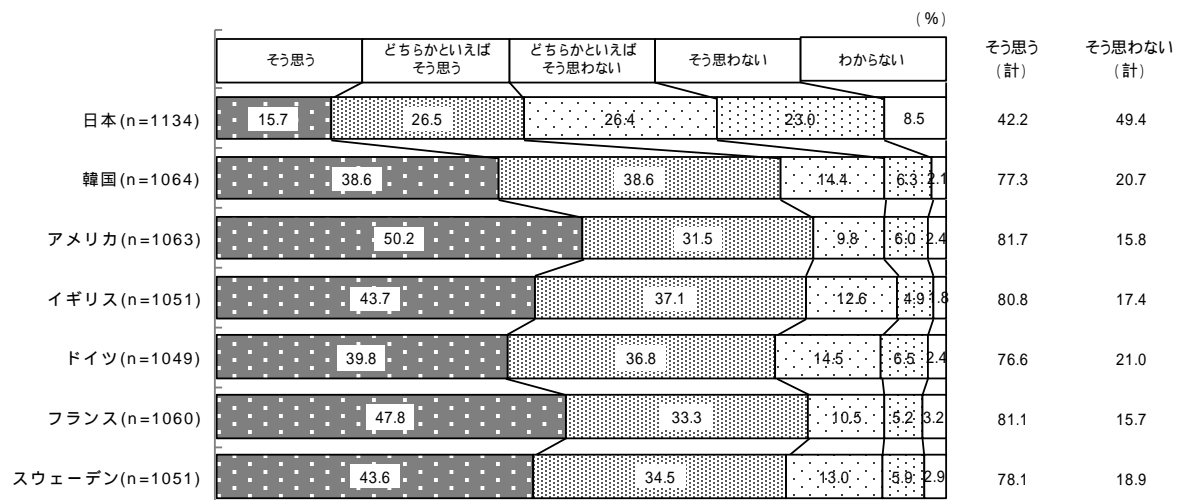
Q8(b) いかなる理由があっても、約束は守るべきだ



Q8(c) 困っている人を見たら、頼まれなくても助けてあげるべきだ



Q8(d) 他人に迷惑をかけなければ、何をしようと個人の自由だ



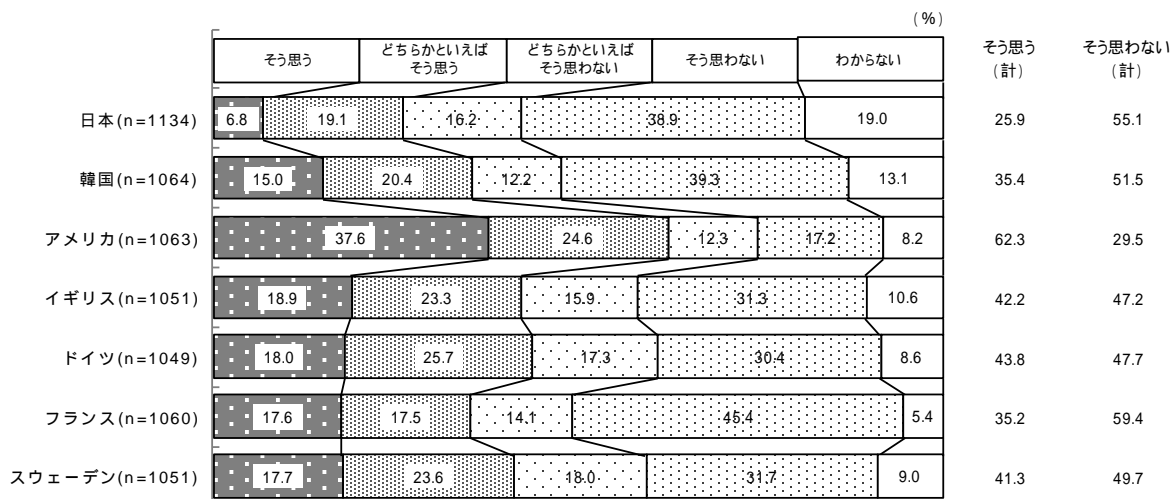
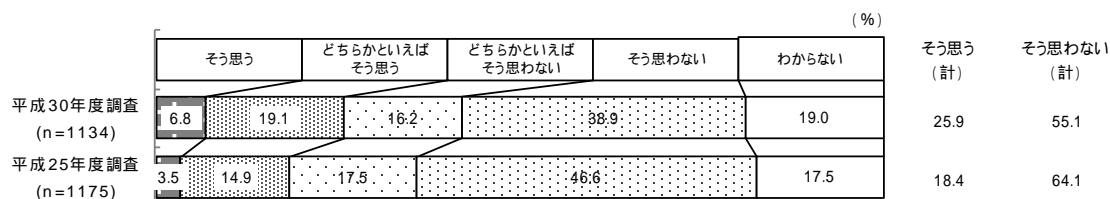
## 5 宗教観

Q9 あなたにとって宗教は、日々の暮らしのなかで、心の支えや態度・行動のよりどころになると  
 思いますか。(回答は1つ)

宗教が日々の暮らしのなかで心の支えや態度・行動のよりどころになると思うか、日本の若者に聞いたところ、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と答えた割合は 25.9% である。

日本について平成 25 年度調査と比較すると、『そう思う』と答えた割合は 7.5 ポイント高くなっている。

7 개국比較で見ると、『そう思う』と答えた割合はアメリカ(62.3%)で最も高い。次いでドイツ(43.8%)、イギリス(42.2%)、スウェーデン(41.3%)、韓国(35.4%)、フランス(35.2%)、日本(25.9%)となっている。



## 6 友人関係

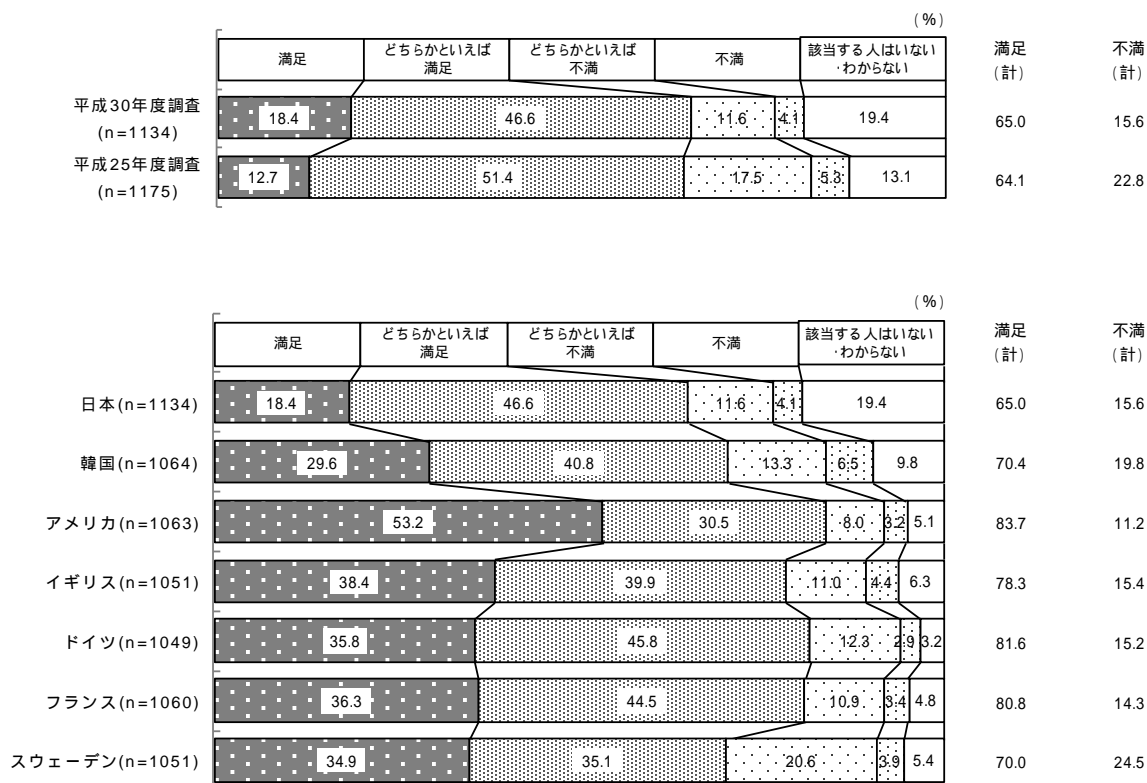
### (1) 友人

Q10 あなたは、友人との関係に満足を感じていますか、それとも不満を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)

友人関係の満足感について日本の若者に聞いたところ、『満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と答えた割合は65.0%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、『満足』と答えた割合は変わらないが、「該当する人はいない・わからない」と答えた割合は6.3ポイント高くなっている。

7か国比較で見ると、『満足』と答えた割合はアメリカ(83.7%)で最も高い。次いで、ドイツ(81.6%)、フランス(80.8%)も8割以上が『満足』と答えている。以下、イギリス(78.3%)、韓国(70.4%)、スウェーデン(70.0%)、日本(65.0%)となっている。



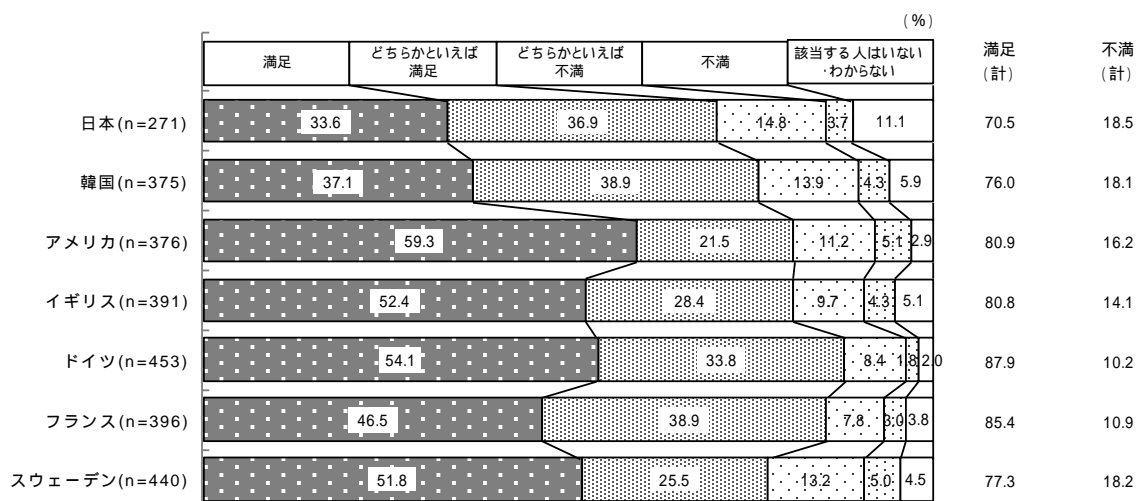
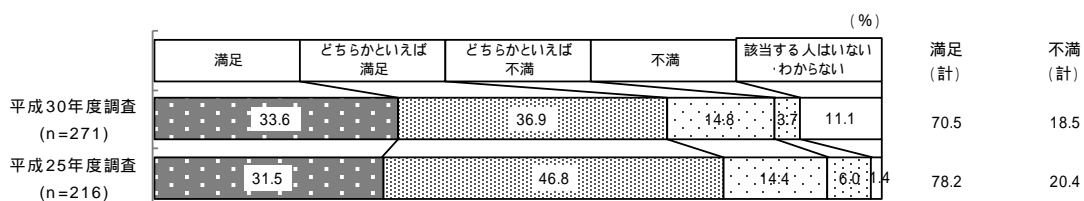
(2) 恋人

Q11 あなたは、恋人との関係に満足を感じていますか、それとも不満を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ)  
 事実婚、離死別、未婚で恋人有の人が対象

恋人との関係の満足感について日本の若者に聞いたところ、『満足』(「満足」と「どちらかといえば満足」の合計)と答えた割合は70.5%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、『満足』と答えた割合は7.7ポイント低くなっている。

7か国比較で見ると、『満足』と答えた割合はドイツ(87.9%)で最も高い。次いで、フランス(85.4%)、アメリカ(80.9%)、イギリス(80.8%)も8割以上が『満足』と答えている。以下、スウェーデン(77.3%)、韓国(76.0%)、日本(70.5%)となっている。



## 7 男女関係

### (1) 男女の役割観

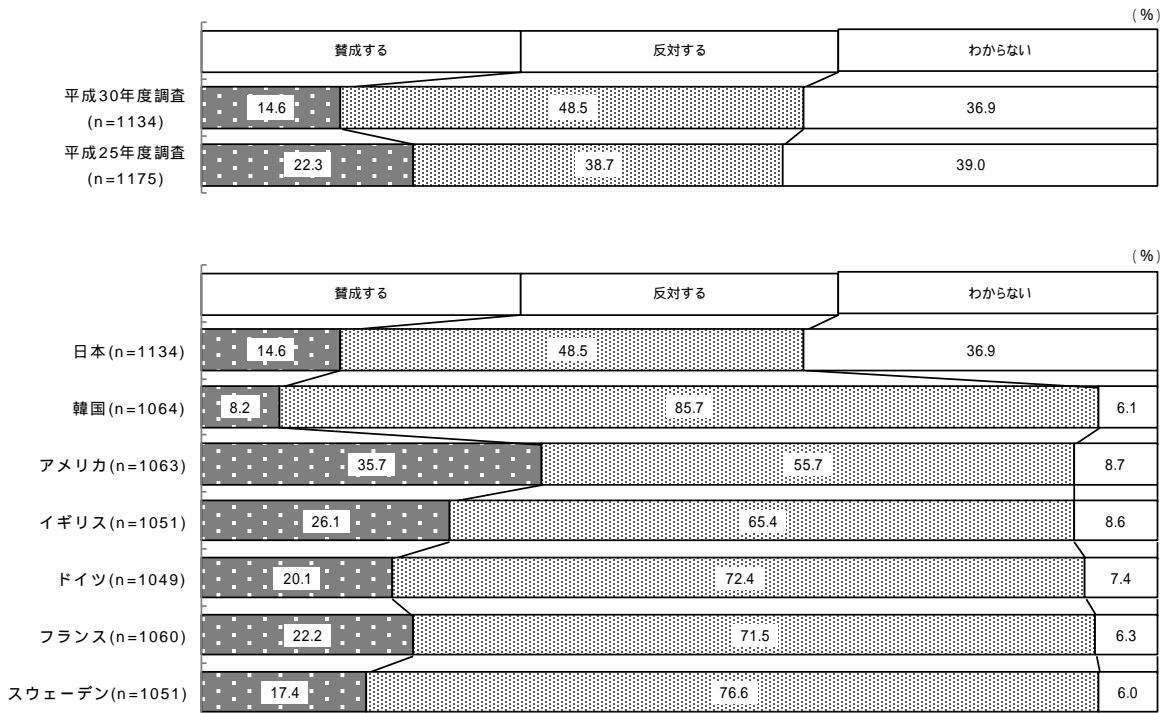
Q12 次のような意見にあなたは賛成ですか、反対ですか。(回答はそれぞれ1つずつ)

#### a) 男は外で働き、女は家庭を守るべきだ

日本の若者は、「賛成する」と答えた割合が14.6%、「反対する」と答えた割合が48.5%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「賛成する」と答えた割合は7.7ポイント低くなっている。

7か国比較で見ると、「賛成する」と答えた割合は、アメリカ(35.7%)で最も高い。次いで、イギリス(26.1%)、フランス(22.2%)、ドイツ(20.1%)、スウェーデン(17.4%)、日本(14.6%)、韓国(8.2%)となっている。

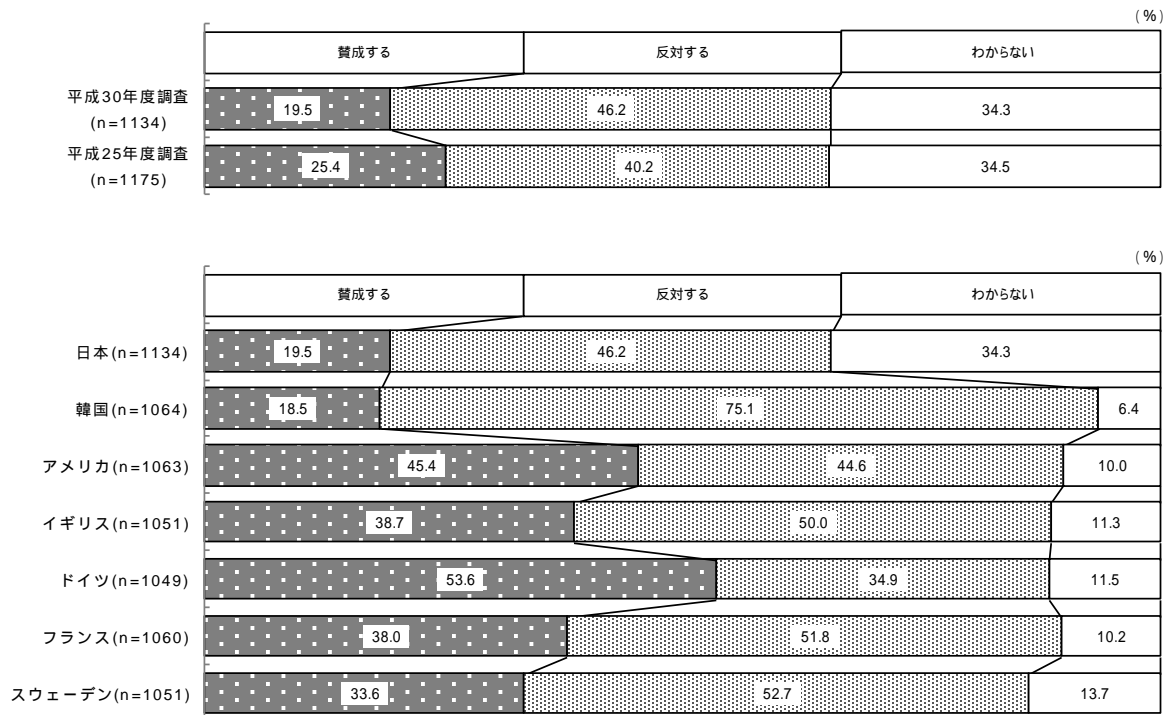


b) 子供が小さいときは、子供の世話は母親がするべきだ

日本の若者は、「賛成する」と答えた割合が 19.5%、「反対する」と答えた割合が 46.2%である。

日本について平成 25 年度調査と比較すると、「賛成する」と答えた割合は 5.9 ポイント低くなっている。

7 か国比較で見ると、「賛成する」と答えた割合は、ドイツ (53.6%) で最も高い。次いで、アメリカ (45.4%)、イギリス (38.7%)、フランス (38.0%)、スウェーデン (33.6%)、日本 (19.5%)、韓国 (18.5%) となっている。



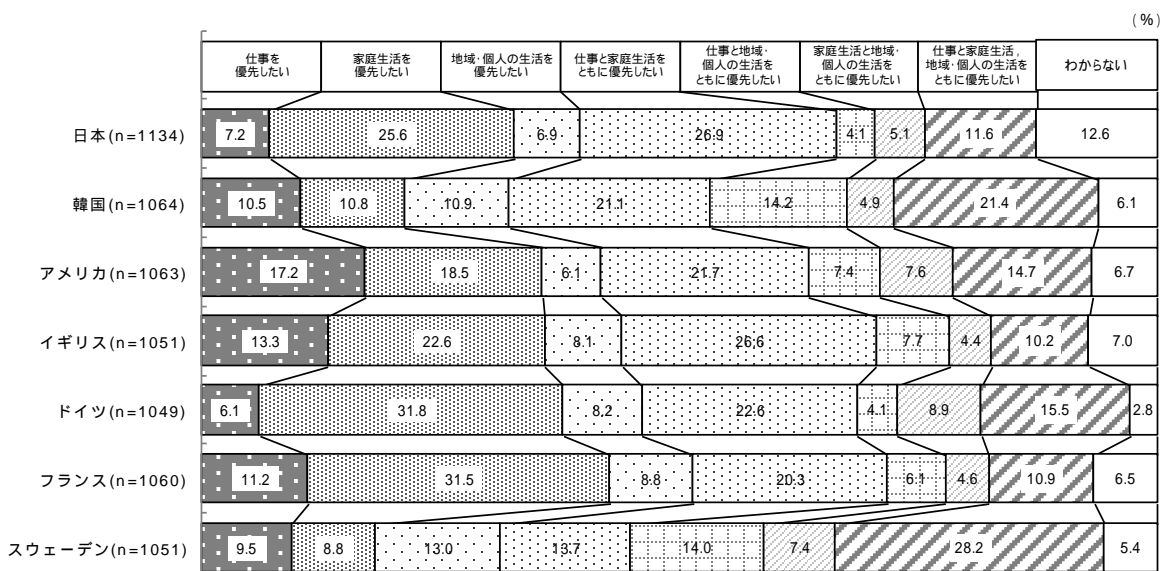
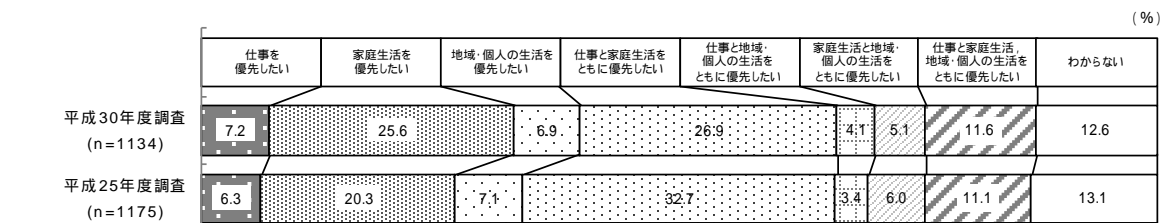
(2) 仕事と家庭の優先度

Q13 あなたの希望に最も近いものを、この中から1つだけ選んでください。(回答は1つ)

仕事と家庭の優先度を日本の若者に聞いたところ、「仕事と家庭生活をともに優先したい」(26.9%)が最も高い。次いで「家庭生活を優先したい」(25.6%)である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「仕事と家庭生活をともに優先したい」と答えた割合は5.8ポイント低くなっている。一方、「家庭生活を優先したい」と答えた割合は5.3ポイント高くなっている。

7か国比較で見ると、イギリスとアメリカでは日本と同様、「仕事と家庭生活をともに優先したい」(イギリス26.6%、アメリカ21.7%)と答えた割合が最も高い。ドイツとフランスでは「家庭生活を優先したい」(ドイツ31.8%、フランス31.5%)と答えた割合が最も高く、スウェーデンと韓国では「仕事と家庭生活、地域・個人の生活をともに優先したい」(スウェーデン28.2%、韓国21.4%)と答えた割合が最も高い。

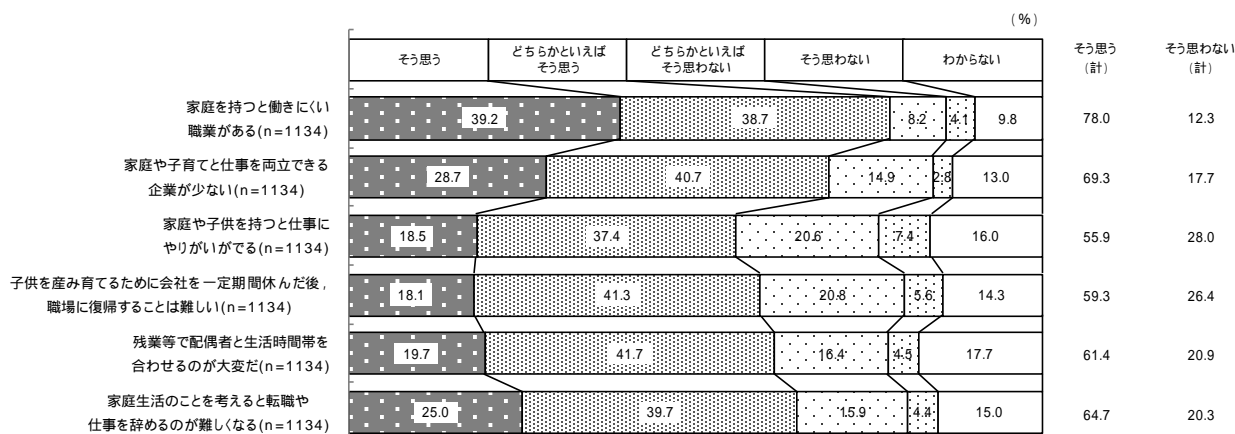




### (3) 仕事と家庭の関係

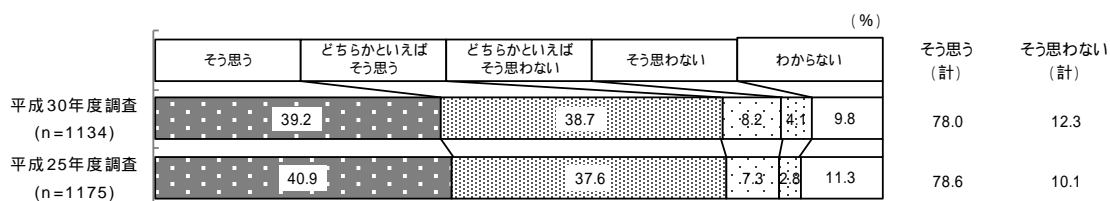
Q14 仕事と家庭との関係についてどう思いますか。それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください。(回答はそれぞれ1つずつ)

仕事と家庭との関係について日本の若者に聞いたところ、『そう思う』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)と答えた割合は「家庭を持つと働きにくい職業がある」(78.0%)が最も高い。次いで、「家庭や子育てと仕事を両立できる企業が少ない」(69.3%)、「家庭生活を考えると転職や仕事を辞めるのが難しくなる」(64.7%)、「残業等で配偶者と生活時間帯を合わせるのが大変だ」(61.4%)の項目で、6割を超えている。

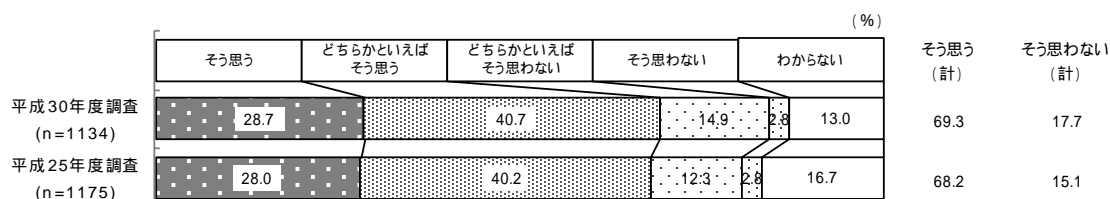


日本について平成25年度調査と比較すると、「子供を産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい」で『そう思う』と答えた割合は5.6ポイント低くなっている。

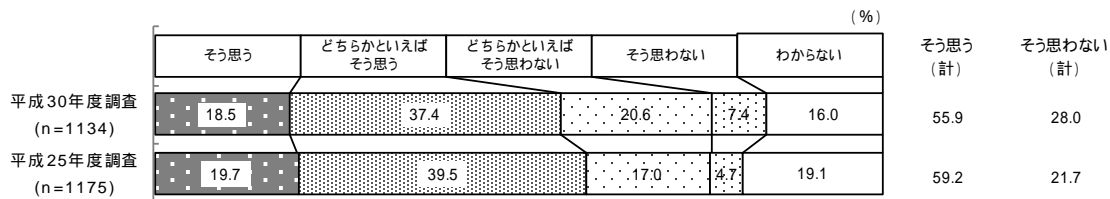
#### Q14(a) 家庭を持つと働きにくい職業がある



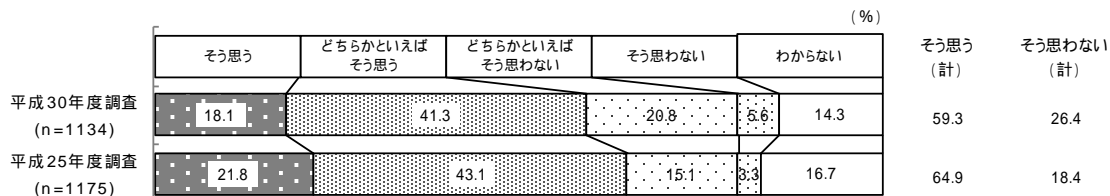
#### Q14(b) 家庭や子育てと仕事を両立できる企業が少ない



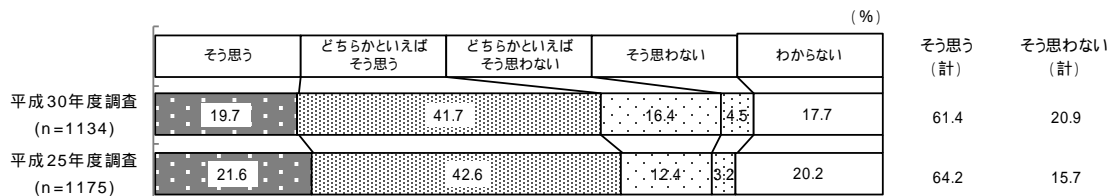
Q14(c) 家庭や子供を持つと仕事にやりがいがある



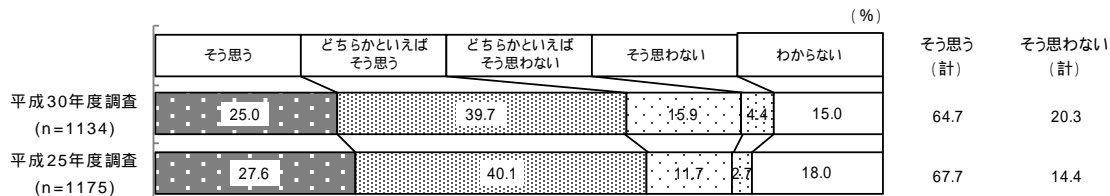
Q14(d) 子供を産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい



Q14(e) 残業等で配偶者(妻や夫のこと、事実婚のパートナーを含む)と生活時間帯を合わせるのが大変だ

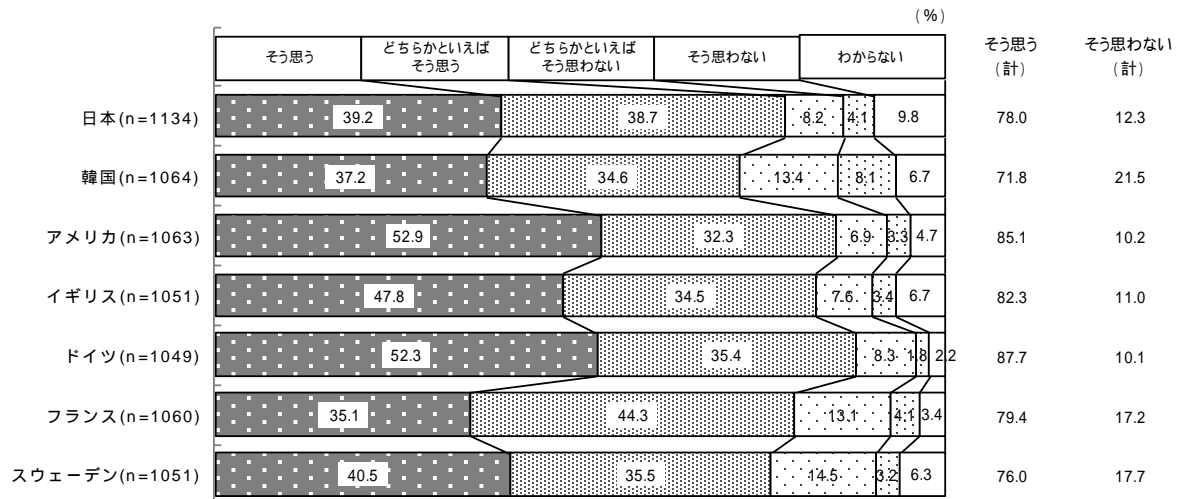


Q14(f) 家庭生活のことを考えると転職や仕事を辞めるのが難しくなる

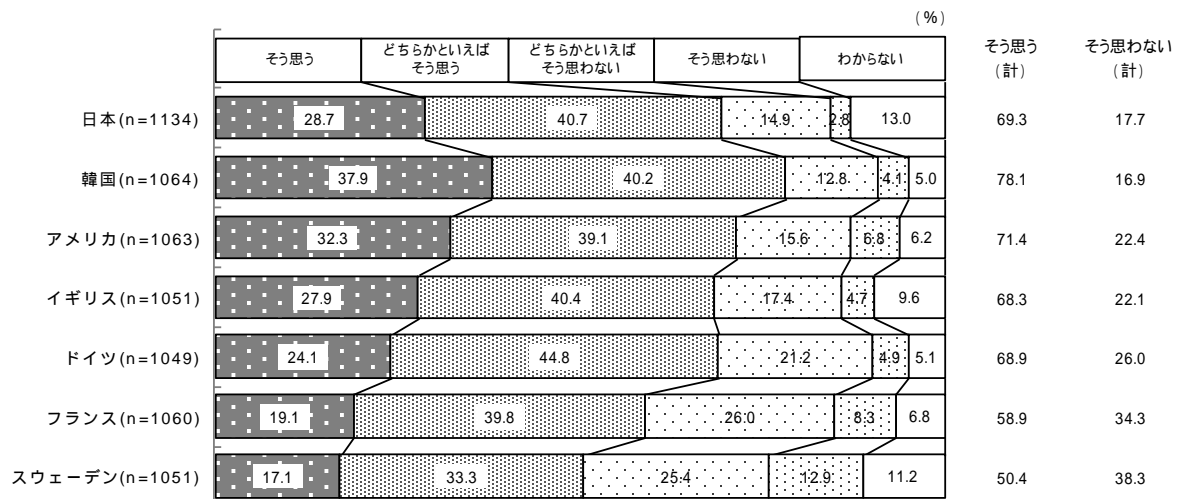


【国別】

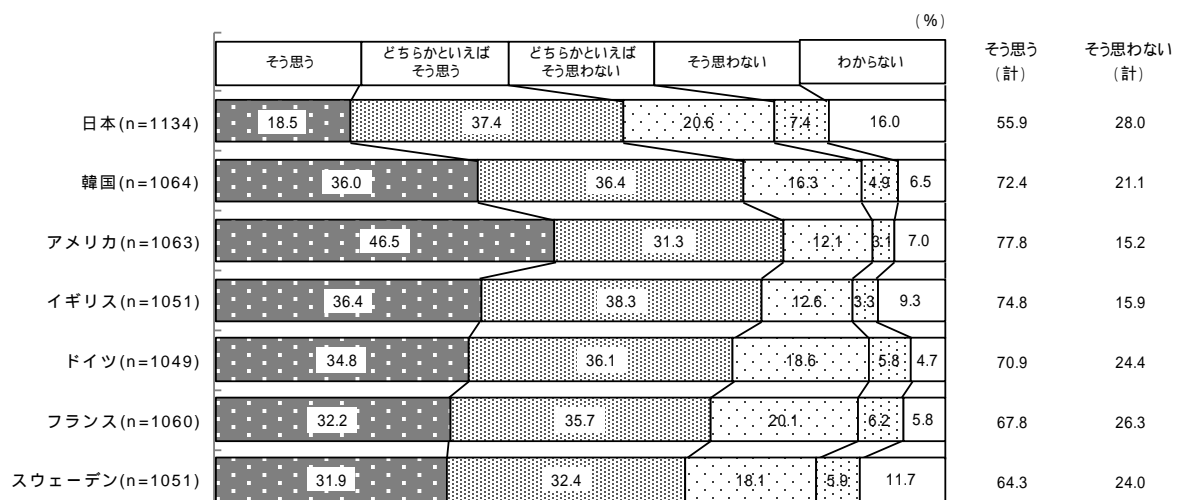
Q14 (a) 家庭を持つと働きにくい職業がある



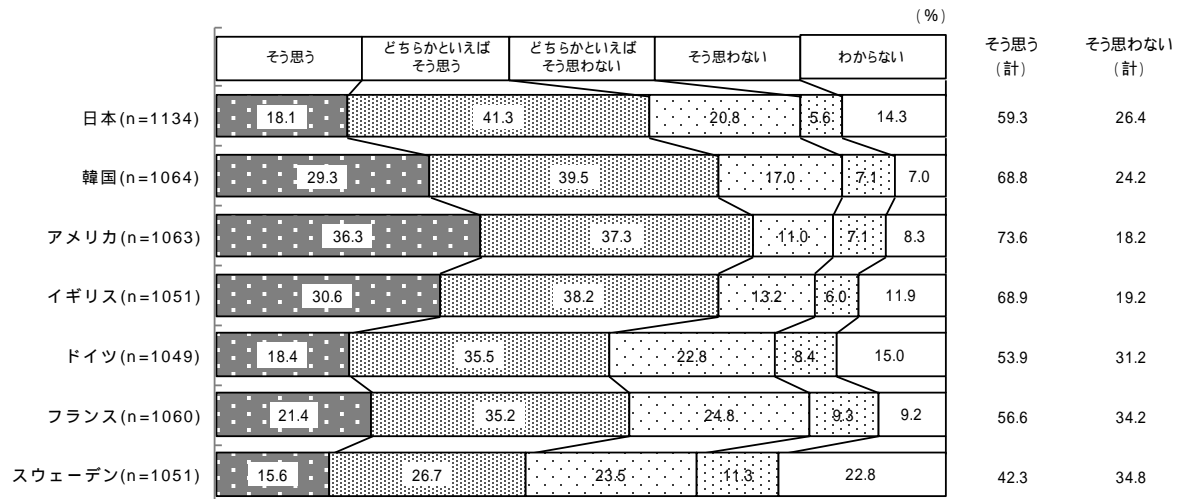
Q14 (b) 家庭や子育てと仕事を両立できる企業が少ない



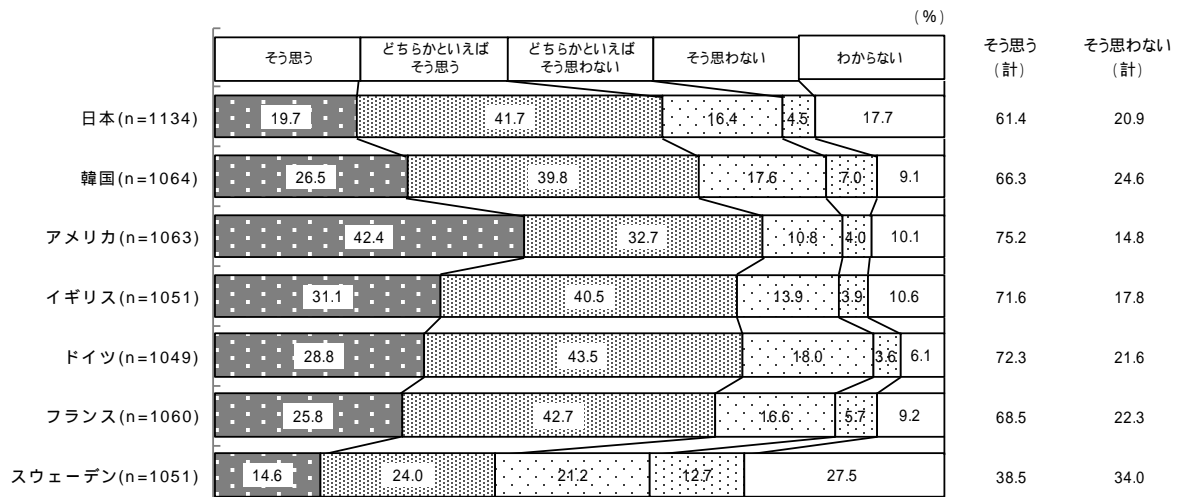
Q14 (c) 家庭や子供を持つと仕事にやりがいがある



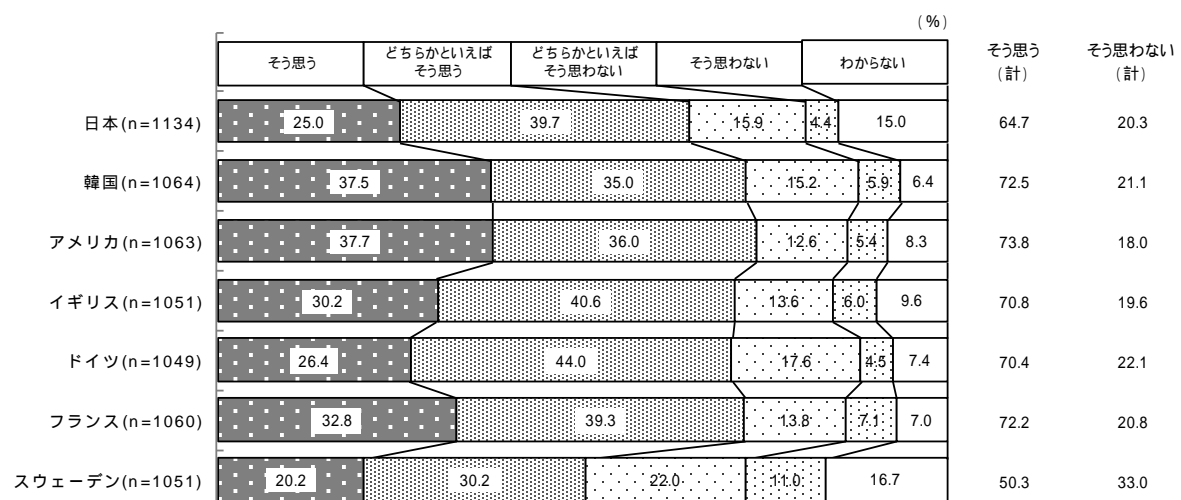
Q14 (d) 子供を産み育てるために会社を一定期間休んだ後、職場に復帰することは難しい



Q14 (e) 残業等で配偶者（妻や夫のこと、事実婚のパートナーを含む）と生活時間帯を合わせるのが大変だ



Q14 (f) 家庭生活のことを考えると転職や仕事を辞めるのが難しくなる



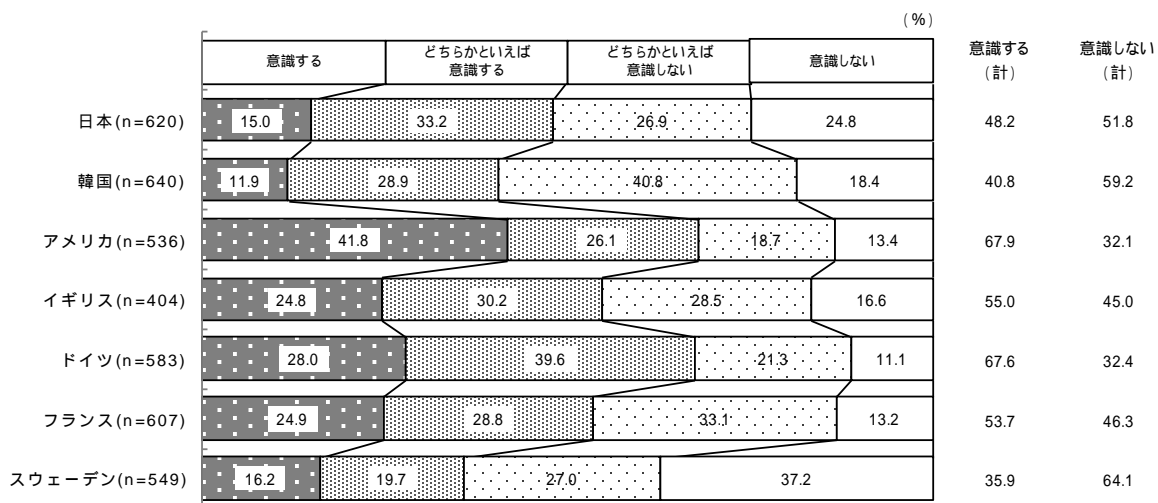
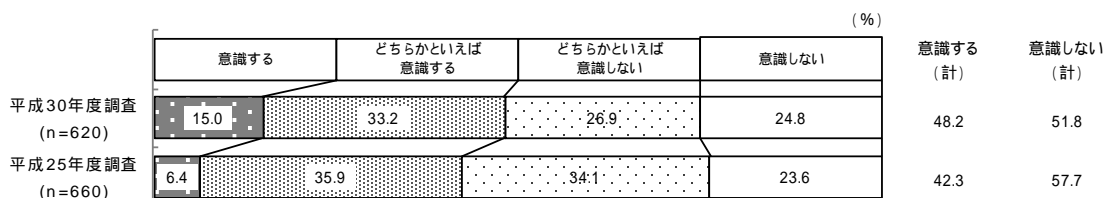
(4) 性別と進路選択の関係

Q15 あなたは進路や職業を考える際に性別を意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。(回答は1つ) 在学中の人が対象

進路や職業を考える際に性別を意識するか、日本の若者に聞いたところ、『意識する』(「意識する」と「どちらかといえば意識する」の合計)と答えた割合は48.2%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、『意識する』と答えた割合は5.9ポイント高くなっている。

7か国比較で見ると、アメリカ(67.9%)とドイツ(67.6%)では7割近くが『意識する』と答えている。一方スウェーデンでは『意識する』と答えた割合は35.9%である。



## 8 結婚観

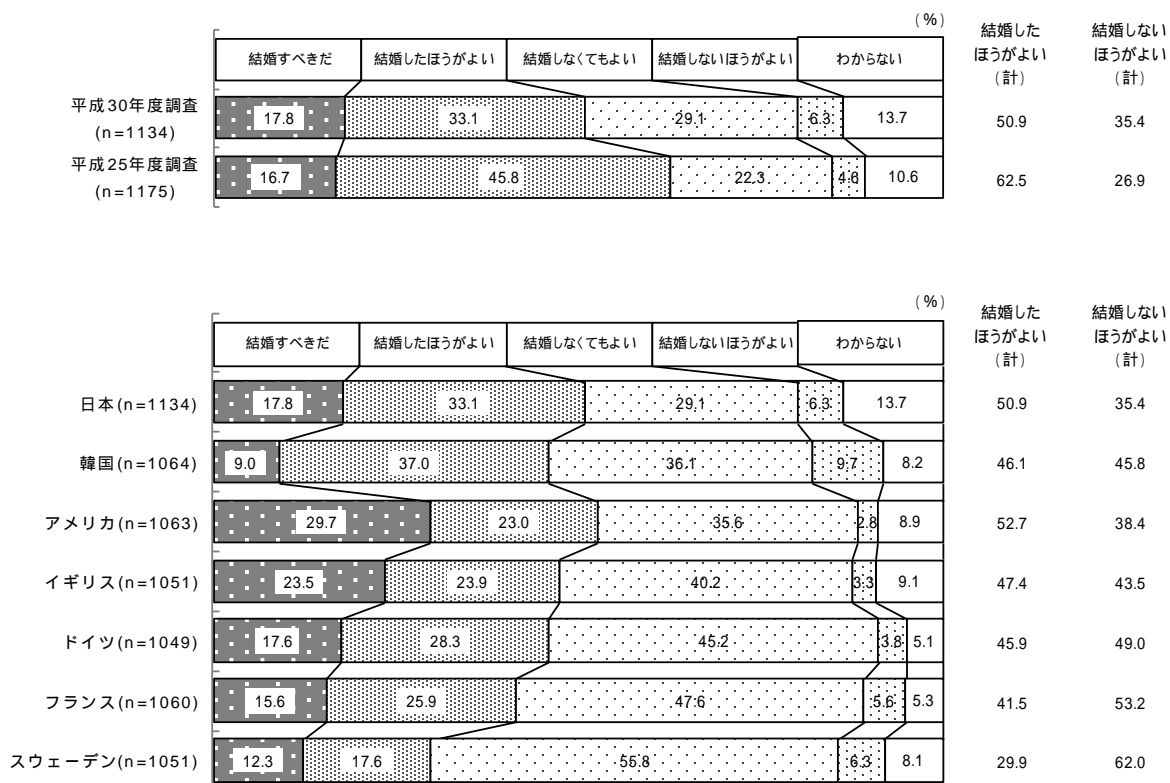
### (1) 結婚観

Q16 あなたは、結婚（事実婚を含む）についてどうお考えですか。この中からあなたの考えに近いものを、1つだけ選んでください。（回答は1つ）

結婚観について、日本の若者に聞いたところ、『結婚したほうがよい』（「結婚すべきだ」と「結婚したほうがよい」の合計）と答えた割合は50.9%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、『結婚したほうがよい』と答えた割合は、11.6ポイント低くなっている。

7か国比較で見ると、『結婚したほうがよい』と答えた割合はアメリカ（52.7%）が最も高い。次いで、日本（50.9%）、イギリス（47.4%）、韓国（46.1%）、ドイツ（45.9%）、フランス（41.5%）、スウェーデン（29.9%）となっている。



(2) 結婚したほうがよい理由

Q17 あなたが、結婚(事実婚を含む)すべきだ、結婚したほうがよいと考える理由にあてはまるものを、この中からいくつでも選んでください。(回答はいくつでも)

Q16で「結婚すべきだ」「結婚したほうがよい」と回答した人が対象

結婚したほうがよい理由を、日本の若者に聞いたところ、「自分の子供や家族をもてる」(63.8%)と答えた割合が最も高い。次いで「愛情を感じている人と暮らせる」(57.7%)、「精神的な安らぎの場が得られる」(54.4%)となっている。

7か国比較で見ると、各国とも共通して「精神的な安らぎの場が得られる」、「愛情を感じている人と暮らせる」、「自分の子供や家族をもてる」と答えた割合が高い。

他の理由としては、アメリカ、スウェーデン、イギリス、フランスでは「社会的信用を得たり、周囲と対等になれる」(アメリカ43.4%、スウェーデン40.8%、イギリス39.6%、フランス37.3%)、日本と韓国では「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」(日本25.8%、韓国23.5%)と答えた割合が高い。

日本について平成25年度調査と比較すると、「自分の子供や家族をもてる」と答えた割合が9.2ポイント、「精神的な安らぎの場が得られる」と答えた割合が5.4ポイント、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」と答えた割合が5.1ポイント低くなっている。

	日本 (n=577)	韓国 (n=490)	アメリカ (n=560)	イギリス (n=498)	ドイツ (n=482)	フランス (n=440)	スウェーデン (n=314)	平成25年度調査 (n=734)
社会的信用を得たり、 周囲と対等になれる	23.2	32.4	43.4	39.6	24.7	37.3	40.8	21.4
精神的な安らぎの 場が得られる	54.4	63.9	46.1	43.4	49.6	43.0	40.8	59.8
愛情を感じている人と 暮らせる	57.7	67.3	49.1	48.2	48.8	35.9	42.0	59.9
自分の子供や 家族をもてる	63.8	58.0	43.9	35.5	37.6	40.0	34.1	73.0
生活上便利になる	15.1	18.2	27.7	22.7	27.6	16.8	29.9	13.6
親から独立できる	14.4	15.5	19.3	17.1	10.4	9.1	11.5	13.5
経済的に余裕のある 暮らしができる	18.9	12.2	21.1	22.3	19.9	14.3	17.5	14.3
親を安心させたり周囲の 期待にこたえられる	25.8	23.5	13.0	15.1	9.3	12.5	8.9	30.9
その他	1.6	1.6	2.9	1.4	2.9	3.0	4.1	2.6
わからない	3.6	2.2	4.1	2.6	2.1	3.0	4.1	2.9

(%)

(3) 結婚しないほうがよい理由

Q18 あなたが、結婚(事実婚を含む)しなくてもよい、結婚しないほうがよいと考える理由にあてはまるものを、この中からいくつでも選んでください。(回答はいくつでも)

Q16で「結婚しなくてもよい」「結婚しないほうがよい」と回答した人が対象

結婚しないほうがよい理由を、日本の若者に聞いたところ、「自分の趣味や娯楽を楽しむことができる」(53.2%)と答えた割合が最も高い。次いで「1人でも不便を感じない」(45.5%)、「経済的に余裕のある暮らしができる」(37.3%)、「家族を持つと責任が重くなる」(34.8%)となっている。

7か国比較で見ると、各国とも共通して「自分の趣味や娯楽を楽しむことができる」「1人でも不便を感じない」「経済的余裕のある暮らしができる」と答えた割合が高い。特に韓国ではこれらの項目がいずれも6割を超えている。また、韓国では「家族を持つと責任が重くなる」(48.3%)、「周囲の人やマスコミから、結婚や出産、子育てはたいへんだと聞くことが多い」(46.0%)も4割を超えている。

アメリカと韓国では、「仕事に打ち込むことができる」(アメリカ38.7%、韓国37.2%)と答えた割合が高い。また、韓国と日本では「配偶者の親や親戚とのつきあいが大変」(韓国29.4%、日本28.9%)も高い。

日本について平成25年度調査と比較すると、「家族を持つと責任が重くなる」が7.9ポイント、「周囲の人やマスコミから、結婚や出産、子育てはたいへんだと聞くことが多い」が5.0ポイント高くなっている。一方、「仕事に打ち込むことができる」が9.8ポイント低くなっている。

	日本 (n=402)	韓国 (n=487)	アメリカ (n=408)	イギリス (n=457)	ドイツ (n=514)	フランス (n=564)	スウェーデン (n=652)	平成25年度調査 (n=316)
仕事に打ち込むことができる	23.1	37.2	38.7	22.1	15.2	9.6	17.2	32.9
経済的に余裕のある暮らしができる	37.3	64.7	43.9	30.4	14.2	13.8	19.3	41.1
自分の趣味や娯楽を楽しむことができる	53.2	69.0	51.0	34.4	25.9	15.6	35.1	55.4
1人でも不便を感じない	45.5	60.2	39.0	29.3	27.4	32.1	33.3	50.3
異性とうまくつきあえない	23.4	11.3	7.8	5.9	6.6	4.4	4.3	23.7
家族を持つと責任が重くなる	34.8	48.3	32.6	21.2	27.2	14.9	17.8	26.9
結婚までのみちのりが面倒くさい	24.9	29.6	19.6	16.4	17.5	12.9	15.0	27.8
周囲の人やマスコミから、結婚や出産、子育てはたいへんだと聞くことが多い	16.4	46.0	21.3	18.2	18.5	11.3	15.5	11.4
配偶者の親や親戚とのつきあいが大変	28.9	29.4	14.2	9.4	9.1	5.9	10.4	26.9
その他	8.7	4.1	12.5	17.1	22.2	19.0	25.8	8.9
わからない	7.0	4.5	9.8	14.7	13.8	20.6	12.9	8.9

(%)



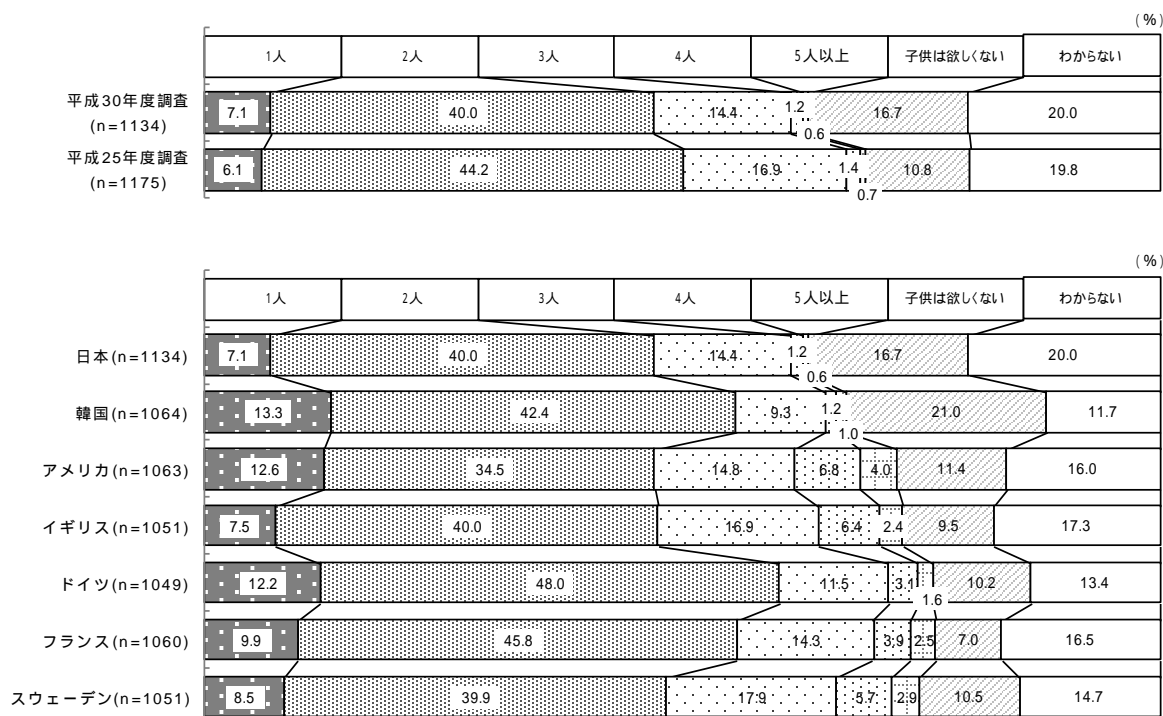
(4) 欲しい子供の人数

Q19 あなたは、全部で何人の子供が欲しいですか。すでにお子さんがある場合には、そのお子さんも含めてお答えください。(回答は1つ)

欲しい子供の人数を日本の若者に聞いたところ、「2人」と答えた割合が最も高く、40.0%を占めている。「子供は欲しくない」は16.7%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、「子供は欲しくない」が5.9ポイント高くなっている。

7か国比較で見ると、いずれの国も「2人」と答えた割合が最も高く、3割半～5割弱を占めている。韓国、アメリカ、ドイツでは「1人」(韓国13.3%、アメリカ12.6%、ドイツ12.2%)が1割を超えている。また、韓国では「子供は欲しくない」(21.0%)と答えた割合も他国に比べて高い。



(5) 離婚観

Q20 あなたは、離婚についてどうお考えですか。この中からあなたの考えに近いものを1つだけ選んでください。(回答は1つ)

離婚観について日本の若者に聞いたところ、「子供がいれば離婚すべきではないが、いなければ、事情によってはやむをえない」(33.0%)と答えた割合が最も高く、次いで「子供の有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない」は31.8%である。

日本について平成25年度調査と比較すると、大きな差はみられない。

7か国比較で見ると、「子供の有無にかかわらず、事情によっては離婚もやむをえない」と答えた割合は韓国(39.3%)、スウェーデン(38.7%)で高い。「いったん結婚したら、いかなる理由があっても離婚すべきではない」と答えた割合はアメリカ(25.1%)で他国よりも高い。「互いに愛情がなくなれば、離婚すべきである」と答えた割合はスウェーデン(27.5%)で最も高い。

